

取扱説明書

詳細版

Qua tab 02



au

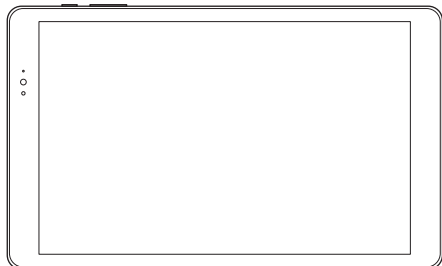
ごあいさつ

このたびは、「Qua tab 02」(以下、「本製品」もしくは「本体」と表記します)をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に本製品に付属する『ご利用にあたっての注意事項』『設定ガイド』『取扱説明書』または本書をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元大切に保管してください。紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。



本体

- 取扱説明書
- ご利用にあたっての注意事項
- 設定ガイド
- 保証書(本体)

以下のものは同梱されていません。

・ACアダプタ ・microSDメモ리카ード ・microUSBケーブル
・イヤホン

memo

- 指定の充電用機器(別売)をお買い求めください。
- 電池は本製品に内蔵されています。
- 本文中で使用しているイラストはイメージです。実際の製品と違う場合があります。

操作説明について

■『取扱説明書』／『設定ガイド』

主な機能の主な操作のみ説明しています。

さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書』アプリやauホームページより『取扱説明書(詳細版)』(本書)をご参照ください。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

- ・ 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■『取扱説明書アプリケーション』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』をご利用できます。

また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

ホーム画面→[その他アプリ]→[取扱説明書]

- ・ 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリをダウンロードして、インストールする必要があります。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual

英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).

『取扱説明書(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。

Download URL:

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/guide/manual/>

本製品をご利用いただくにあたって

- 本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
<http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair>
- 通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。
- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください(ただし、LTE/WiMAX 2+方式は通信上の高い秘話・秘匿機能を備えています)。
- 本製品は国内でのご利用を前提としています。国外に持ち出での使用はできません。
(This Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.)
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受けられる場合があります。また、本製品を一時的に検査のために提供いただく場合がございます。
- 「本製品の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている本製品のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料を問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影などした写真/動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元: KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
輸入元: 華為技術日本(株)
製造元: HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.

お知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

マナーも携帯する

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています(自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります)。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

■ 周りの人への配慮も大切

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、通知音などで周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まるとの操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。
- カメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

目次

ごあいさつ	ii
同梱品一覧	ii
操作説明について	ii
本製品をご利用いただくにあたって	1
マナーも携帯する	1
目次	2
安全上のご注意	5
本書の表記方法について	6
安全上のご注意(必ずお守りください)	6
取り扱い上のお願ひ	9
ご利用いただく各種暗証番号について	10
PINコードについて	11
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について	11
2.4GHz帯ご使用上の注意	11
5GHz帯ご使用上の注意	12
パケット通信料についてのご注意	12
アプリケーションについて	12
ご利用の準備	13
ご利用の準備	14
各部の名称と機能	14
au Nano IC Card O4 LEについて	14
au Nano IC Card O4 LEを取り付ける	15
au Nano IC Card O4 LEを取り外す	15
充電する	15
ACアダプタを使って充電する	16
パソコンを使って充電する	16
電源を入れる/切る	17
電源を入れる	17
電源を切る	17
強制的に電源を切り再起動する	17
ロック画面について	17
ロック画面からホーム画面を表示する	17
スリープモードについて	17
初期設定を行う	17
Googleアカウントをセットアップする	17
au IDを設定する	17
基本操作	19
基本操作	20
タッチパネルの使いかた	20
ナビゲーションバーの使いかた	20
ホーム画面を利用する	20
ホーム画面の壁紙を変更する	20
ホーム画面のアイコンを移動する	21
ホーム画面にウィジェット/フォルダを追加する	21
ホーム画面の設定を行う	21
アプリを利用する	21
本製品の状態を知る	22
アイコンの見かた	22
通知パネルについて	23
通知ランプについて	23
最近使用したアプリを起動する	23
縦/横画面表示を切り替える	23
メニューを表示する	24
スクリーンショットを撮影する	24
文字入力	24
文字を入力する	24
iWnn IMEメニューを表示する	24
キーボードを切り替える	24

キーボードで入力する	24
文字入力の便利な機能を利用する	25
絵文字/記号/顔文字を入力する	25
文字列の選択/コピー/切り取り/貼り付けをする	25
iWnn IMEの各種設定を行う	26
ユーザー辞書に登録する	26

メール

メール	27
メールについて	28
Eメールを利用する	28
Eメールの表示モードを切り替える	28
フォルダモードでの画面の見かた	29
会話モードでの画面の見かた	30
Eメールを送信する	31
宛先を追加・削除する	32
送信予約をする	32
Eメールにデータを添付する	32
D絵文字を利用する	32
コミコミを利用する	33
本文入力中にできること	33
フォルダモードで本文を装飾する	33
Eメールを受信する	34
添付データを受信・再生する	34
添付画像を保存する	34
差出人/宛先/件名/電話番号/メールアドレス/URLを利用する	34
新着メールを問い合わせで受信する	35
Eメールを検索する	35
Eメールをフォルダモードで確認する	35
フォルダモード画面でできること	36
Eメール詳細表示画面でできること	36
フォルダを作成/編集する	36
Eメールを会話モードで確認する	38
会話モード画面でできること	38
Eメールを個別に操作する	38
Eメールを設定する	38
受信・表示に関する設定をする	39
送信・作成に関する設定をする	39
通知に関する設定をする	40
個別の通知に関する設定をする	40
アドレスの変更やその他の設定をする	40
Eメールをバックアップ/復元する	41
メールデータをバックアップする	41
メールデータを復元する	41
Eメールをまるごとバックアップする	41
まるごとバックアップデータを復元する	41
迷惑メールフィルターを設定する	41
SMSを利用する	43
SMSを送信する	43
SMSを受信する	43
SMSを返信/転送する	43
電話番号/メールアドレス/URLを利用する	43
SMSを保護/保護解除する	44
SMSの電話番号を連絡先に登録する	44
SMSを検索する	44
SMSを削除する	44
SMSを設定する	44
受信フィルターを設定する	44
Gmailを利用する	45
Gmailを起動する	45
Gmailを更新する	45
Gmailを送信する	45
Gmailを受信する	45
Gmailを返信/転送する	45
Gmailのメニューを利用する	45

インターネット.....47

インターネットに接続する.....	48
パケット通信を利用する.....	48
Chromeを利用する.....	48
Webページを表示する.....	48
Webページを移動する.....	48
Webページのメニューを利用する.....	48
ブックマーク/履歴を利用する.....	49
ブックマークを利用する.....	49
ブックマークに登録する.....	49
履歴を利用する.....	49

ツール・アプリケーション.....51

連絡先.....	52
連絡先を登録する.....	52
連絡先を開く.....	52
連絡先を編集/削除する.....	52
連絡先を編集する.....	52
連絡先を削除する.....	52
グループを設定する.....	52
連絡先をインポート/エクスポートする.....	52
インポートする.....	52
エクスポートする.....	53
連絡先のメニューを利用する.....	53
カメラ.....	53
カメラを利用する.....	53
カメラをご利用になる前に.....	53
撮影画面の見かた.....	54
撮影前の設定をする.....	54
静止画/動画を撮影する.....	55
QR・バーコードリーダーを利用する.....	55
ギャラリーでファイルを表示する.....	55
データを再生する.....	55
ギャラリーのメニューを利用する.....	55
静止画を編集する.....	56
音楽を聴く.....	56
音楽データを再生する.....	56
音楽を再生する.....	56
曲や曲に関連する情報を検索する.....	56
プレイリストを作成する.....	56
ビデオを再生する.....	56
Androidアプリ.....	56
Google Playを利用する.....	56
Google Playをご利用になる前に.....	56
アプリを検索し、インストールする.....	57
アプリを管理する.....	57
提供元不明のアプリのダウンロード.....	57
インストールされたアプリを削除する.....	57
YouTube.....	57
YouTubeを利用する.....	57
Facebookを利用する.....	57
Googleサービス.....	58
ハンガアウトを利用する.....	58
ハンガアウトにログインする.....	58
Googleマップを利用する.....	58
ストリートビューを表示する.....	58
興味のある場所を検索する.....	58
周辺のスポットを確認する.....	58
道案内を取得する.....	58
カレンダーを利用する.....	59
カレンダーのメニューを利用する.....	59
予定を新規登録する.....	59
カレンダーを設定する.....	59

時計を利用する.....	59
アラームを利用する.....	59
アラームを削除する.....	59
タイマーを利用する.....	60
ストップウォッチを利用する.....	60
世界時計を利用する.....	60
電卓を利用する.....	60
メモ帳を利用する.....	60
レコーダーを利用する.....	61
懐中電灯を利用する.....	61
スクリーンショットシェアを利用する.....	61
スクリーンショットを撮る.....	61
画像を編集する.....	61
画像やテキストを他のアプリへ送る.....	61
auお客さまサポートを利用する.....	62
auスマートサポートを利用する.....	62
auスマートサポートでできること.....	62
Lookout for auを利用する.....	63
位置検索をご利用いただくにあたって.....	63
Lookout for auを利用する.....	63
リモートサポートを利用する.....	63
リモートサポートを利用する.....	63
安心アクセス for Android™を利用する.....	63
スマートフォン自動診断を利用する.....	64
au Wi-Fi接続ツールを利用する.....	65
au災害対策アプリを利用する.....	65
災害用伝言板を利用する.....	65
緊急速報メールを利用する.....	65
災害用音声お届けサービスを利用する.....	66
災害関連情報を利用する.....	66
auスマートパスを利用する.....	66
ファイル管理.....	67
内部ストレージ.....	68
microSDメモリカードを利用する.....	68
microSDメモリカードを取り付ける/取り外す.....	68
microSDメモリカードを取り付ける.....	68
microSDメモリカードを取り外す.....	68
microUSBケーブルでパソコンと接続する.....	69
パソコンのデータを同期する.....	69
メモリを管理する.....	69
メモリの使用量を確認する.....	69
microSDメモリカードを初期化する.....	69
ファイルを利用する.....	70
Safeボックスを利用する.....	70
データ通信.....	71
Bluetooth®機能.....	72
Bluetooth®機能をオンにする.....	72
Bluetooth®機器を登録する.....	72
他のBluetooth®機器から検出可能にする.....	72
Bluetooth®機器の接続を解除する.....	72
Bluetooth®機能でデータを送受信する.....	73
Bluetooth®機能でデータを送信する.....	73
Bluetooth®機能でデータを受信する.....	73
無線LAN(Wi-Fi®)機能.....	73
Wi-Fi®機能をオンにする.....	73
Wi-Fi®ネットワークに接続する.....	74
Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する.....	74
Wi-Fi®機能を切断する.....	74
Wi-Fi安定制御機能を設定する.....	74
Wi-Fi®機能のスリープ設定をする.....	74
Wi-Fi®機能の詳細設定をする.....	74

テザリング機能を利用する	75
テザリングについて	75
USBテザリング機能を利用する	75
Wi-Fi®テザリング機能を利用する	75

機能設定 77

機能設定	78
設定メニューを表示する	78
au設定メニューを利用する	78
無線とネットワークの設定をする	78
機内モードを設定する	79
VPNを設定する	79
画面の設定をする	79
スクリーンセーバーを設定する	79
音の設定をする	79
各種音量を調節する	80
マナーモードを設定する	80
ストレージに関する設定をする	80
電池使用量を表示する	80
アカウントの設定をする	80
アカウントを追加／削除する	80
位置情報の設定をする	80
画面ロックとパスワードの設定をする	80
画面ロックをかける	81
画面ロックを解除する	81
セキュリティの設定をする	81
SIMカードロックを設定する	81
言語と入力に関する設定をする	81
バックアップとリセット	82
本製品を初期化する	82
割り込み制限の設定をする	82
通知に関する設定をする	82
ナビゲーションバーの設定をする	82
日付と時刻の設定をする	82
日付を設定する	82
時刻を設定する	82
ユーザー補助の設定をする	83
ユーザー補助プラグインを利用する	83
印刷に関する設定をする	83
タブレット情報に関する設定をする	83

付録／索引 85

付録	86
周辺機器のご紹介	86
故障とお考えになる前に	86
イヤホンを使用する	87
ソフトウェアを更新する	87
ソフトウェアをダウンロードして更新する	87
アフターサービスについて	87
利用できるデータの種類	88
SIMロック解除	88
主な仕様	88
データ通信端末の比吸収率(SAR)について	89
輸出管理規制	89
知的財産権について	89
索引	90

安全上のご注意

本書の表記方法について.....	6
安全上のご注意(必ずお守りください).....	6
取り扱い上のお願い.....	9
Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について.....	11
パケット通信料についてのご注意.....	12
アプリケーションについて.....	12

本書の表記方法について

項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。

本書では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどをタップ(▶P.20)する操作を、[(項目などの名称)]と省略して表記しています。

表記例	意味
ホーム画面→[設定]→[Wi-Fi]	ホーム画面下部の「[設定]」をタップします。続けて「[Wi-Fi]」をタップします。

掲載されているイラスト・画面表示について

本書の画面表示・操作方法はau Nano IC Card O4 LEを取り付けた状態のものとなります。

本書に記載されているイラスト・画面は、実際の製品・画面とは異なる場合があります。

また、画面の一部などを省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。

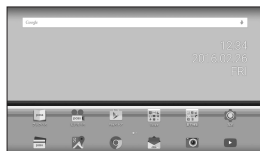
本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



実際の画面



本書の表記例



memo

- ◎ 本書では横表示からの操作を基準に説明しています。縦表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
- ◎ 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- ◎ 本書では本体カラー「パウダーホワイト」の表示を例に説明しています。
- ◎ 本書では「microSD™メモリカード」および「microSDHC™メモリカード」、「microSDXC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- ◎ 本書に表記の金額は、特に記載のある場合を除きすべて税抜です。

安全上のご注意(必ずお守りください)

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が「取扱説明書(詳細版)」(本書)をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 各事項は以下の区分に分けて記載しています。

表示の説明

	危険 この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
	警告 この表示は「取り扱いを誤った場合に人が死亡または重傷 ^(※1) を負うことが想定される内容」を示しています。
	注意 この表示は「取り扱いを誤った場合に人が軽傷 ^(※2) を負うことが想定される内容や物的損害 ^(※3) の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

図記号の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。		水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。		電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card 04 LE、周辺機器共通

⚠ 危険 必ず下記の危険事項をお読みになってから ご使用ください。

- ❗ 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。
- 🚫 高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
- 🚫 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れてください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。
- 🚫 火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
- 🚫 お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本製品や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- ❗ 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客様センターまでお問い合わせください。

⚠ 警告 必ず下記の警告事項をお読みになってから ご使用ください。

- ❗ ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。ガスに引火するおそれがあります。
- 🚫 金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子、イヤホンマイク端子、コンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。
- 🚫 落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。
- 🚫 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 🚫 接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。発熱・火災・故障・感電・やけどの原因となります。
- 🚫 本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。
- 🚫 本製品が濡れている状態で充電を行うと、感電や回路のショート、腐食が発生し、発熱による火災・故障・やけどの原因となります。
- 🚫 水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちにACアダプタの電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。
- 🚫 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。交通事故や転倒・転落事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 🚫 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。
- 🚫 乳幼児の手が届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。
- 🚫 使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。
- ❗ 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、発熱・発火・破損・故障の原因となります。

⚠ 注意 必ず下記の注意事項をお読みになってから ご使用ください。

- 🚫 カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災・故障の原因となります。
- 🚫 直射日光の当たる場所(自動車内など)や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・変形・故障の原因となる場合があります。
- 🚫 ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置いたり充電をしないでください。落下しけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。故障・傷害の原因となります。
- 🚫 本製品を長時間使用したり、外部電源と接続した状態では熱くなることがあります。本製品や指定の充電用機器(別売)に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。また、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・傷害・故障の原因となる場合があります。
- 🚫 本製品を充電する際は、コンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。
- 🚫 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。
- ❗ 使用中に煙が出たり、異臭や異音がある、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器(別売)をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。
- ❗ イヤホンなどを本製品に挿入して使用する場合は、少しずつ音量を上げて適度な音量に調節してください。始めから音量を上げすぎて突然大きな音が出たり、音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、路切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

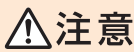
■ 本体について

⚠ 危険 必ず下記の危険事項をお読みになってから ご使用ください。

- 🚫 本体にくぎをさしたり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたりしないでください。発火や破損の原因となります。
- ❗ ペットが本体に噛みつかないようにご注意ください。内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火・火災・傷害などの原因となります。

⚠ 警告 必ず下記の警告事項をお読みになってから ご使用ください。

- 🚫 航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。
- ❗ 病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。使用を禁止されている場所では本製品の電源を切ってください。電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
- 🚫 フラッシュ/フライトライトをご使用になる場合は、人の目の前、自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けて発光させないでください。また、フラッシュ/フライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。
- ❗ ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。



必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- 自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。
- 皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。本製品で使用している各部品の材質は以下の通りです。

■「Qua tab 02」本体

使用場所	使用材料	表面処理
ディスプレイ	ガラス	化学強化処理
電源ボタン、音量上下ボタン、カードスロットカバー、外装ケース	PC樹脂+9% GF樹脂	UV塗装
外装ケース(前面枠)	PC樹脂+9% GF樹脂	NCVM/UV塗装
カメラレンズ	ガラス	シルク印刷
フラッシュ/フोटオライ	PMMA樹脂	光沢処理

- キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。
- イヤホンマイク端子、外部接続端子、microSDメモ리카ードスロット、au Nano IC Card 04 LEスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障・傷害の原因となります。
- イヤホンなどを持って、本製品を振りまわさないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。
- 通常はカードスロットカバーなどを閉めた状態で使用してください。カバーを開けずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 心臓の弱い方は、通知音量の設定に注意してください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。マイク、スピーカーなどに砂などが入り音が小さくなったり、本製品内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

■内蔵電池について



Li-ion 00

(本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。)内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならないときは、ご使用前に充電してください。



必ず下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

- 液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害を起こすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでごすらずに水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命です。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。

■充電用機器について



必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

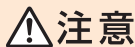
- 指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。
・ ACアダプタ(別売) : AC100~240V
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電・発熱・発火・火災・傷害の原因となります。指定の充電用機器(別売)が傷んでいるときや、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。
- 指定の充電用機器(別売)のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災・傷害の原因となります。
- 雷が鳴り出したら指定の充電用機器(別売)に触れないようにしてください。落雷による感電などの原因となります。
- お手入れをするときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。
- 電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災、やけど、感電の原因となります。
- 長時間使用しない場合は指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜いておいてください。火災・故障の原因となります。
- 水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障・傷害の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合は直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。
- ご使用にならないときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントに接続したままにしないでください。また、指定の充電用機器(別売)の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。
- 充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電・発熱・火災・故障・傷害の原因となります。



必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

- 風呂場などの湿気が多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器(別売)を抜き差ししないでください。感電・故障・傷害の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■ au Nano IC Card O4 LEについて



注意

必ず下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。



au Nano IC Card O4 LEの取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷つける可能性があります。



カードに損傷を与えるようなこと(高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど)はしないでください。データの消失や故障の原因となります。



カードは、直射日光が当たったり高温となる場所やほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。



au Nano IC Card O4 LEは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ 医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について



警告

必ず下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。



植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをご守りください。

1. 植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
2. 身動きが自由に取れない状況など、15cm以上の隔離距離が確保できないおそれがある場合、付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切ってください。
3. 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合(自宅療養など)は、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

取り扱い上のお願

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card O4 LE、周辺機器共通

● 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になつたりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。

● 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度0℃~35℃、湿度5%~95%の範囲内でご使用ください。)

● ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。

● 外部接続端子、イヤホンマイク端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。

● お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷が付く場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

● 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

● 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。

● 本製品には、シールなどを貼り付けしないでください。音が出なくなる場合があります。

■ 本体について

● 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となります。

● ボタンやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けしないでください。傷の発生や破損の原因となります。タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。

以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。

- ・ 手袋をしたままの操作
- ・ 爪の先での操作
- ・ 異物を操作面に乗せたままの操作
- ・ 保護シートやシールなどを貼った操作
- ・ ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
- ・ 濡れた指または汗で濡った指での操作

● 改造されたauの端末は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。本製品は電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技術マーク」が本製品本体内で確認できるようになっております。ホーム画面→[設定]→[タブレット情報]→[認証情報]本製品本体を分解して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

● 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

● かばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。

● 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります(結露といいます)。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。

● ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。

● 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続するときは、接続端子に対して外部機器のコネクタやプラグがまっすぐになるように抜き差ししてください。

● 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると破損の原因となりますのでご注意ください。

● microSDメモリーカードの取り付け・取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷つける場合があります。

- microSDメモリアカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

- 照度センサーを指でふさいだり、照度センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に照度センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。

■ タッチパネルについて

- タッチ操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となります。
- ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- かばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 内蔵電池について

- 夏期、閉めきった(自動車)車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わなれていると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。

■ au Nano IC Card O4 LEについて

- au Nano IC Card O4 LEの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご利用になるauの端末への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー/ライターなどに、au Nano IC Card O4 LEを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Nano IC Card O4 LEのIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)などで拭いてください。
- au Nano IC Card O4 LEにシールなどを貼らないでください。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご利用ください。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。

■ 著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどのほかは、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

■ ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただけます。

ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

● 暗証番号

使用例	auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● 画面ロックの設定

使用例	画面ロックを解除する場合
初期値	なし

● PINコード

使用例	第三者によるau Nano IC Card O4 LEの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234

なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

PINコードについて

PINコード

第三者によるau Nano IC Card O4 LEの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力可否を設定する場合にも入力が必要となります。PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力可否は入力が不要な設定になっていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力可否は入力が必要な設定に変更できます。
- 入力が必要な設定で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Nano IC Card O4 LEが取り付けられていたプラスチックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- PINコードはデータの初期化を行ってもリセットされません。

Bluetooth® / 無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- Bluetooth®機能は日本国内でご使用ください。本製品のBluetooth®機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内でご使用ください。本製品の無線LAN(Wi-Fi®)機能は日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能 / 無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「ほかの無線局」と略す)が運用されています。

- 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
 - ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との動作を保証するものではありません。
 - 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)によるデータ通信を行う際はご注意ください。
 - 無線LAN(Wi-Fi®)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
 - Bluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
 - Bluetooth®と無線LAN(Wi-Fi®)は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®・無線LAN(Wi-Fi®)のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth[®]機能および無線LAN(Wi-Fi[®])機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

2.4FH8/XX8/DS4/OF4

• **Bluetooth[®]機能:2.4FH8/XX8**

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式及び狭帯域変調等を採用し、与干渉距離は約80m以下です。全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

• **無線LAN(Wi-Fi[®])機能:2.4DS4/OF4**

本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。

航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN(Wi-Fi[®])機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。

本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

W52(5.2GHz帯/36, 40, 44, 48ch)

W53(5.3GHz帯/52, 56, 60, 64ch)

W56(5.6GHz帯/100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

W52 | W53 | W56

パケット通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリなどのダウンロード、アプリによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。
※ 無線LAN(Wi-Fi[®])接続の場合はパケット通信料はかかりません。

アプリケーションについて

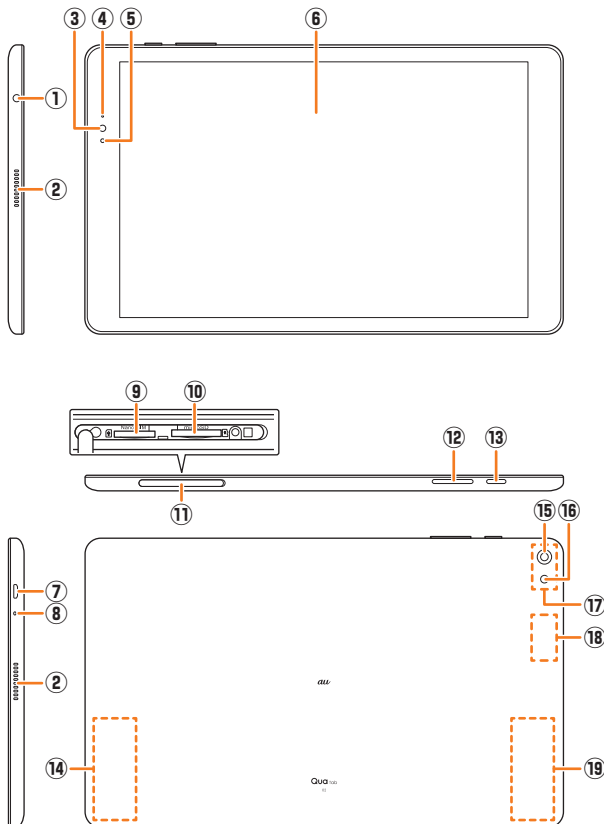
- アプリのインストールは安全であることをご確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、本製品内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリによっては、microSDメモ리카ードをセットしないとご利用できない場合があります。
- アプリの中には動作中スリープモードにならなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリやインストールされているアプリはアプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

ご利用の準備	14
各部の名称と機能	14
au Nano IC Card 04 LEについて	14
充電する	15
電源を入れる／切る	17
ロック画面について	17
初期設定を行う	17

ご利用の準備

各部の名称と機能



- ① イヤホンマイク端子
イヤホン(市販品)などの接続時に使用します。
- ② スピーカー
通知音やアラーム音などが聞こえます。
- ③ インカメラ
- ④ 通知ランプ
充電中は点灯します。
メール受信時には設定内容に従って点滅します。
- ⑤ 照度センサー
周囲の明るさを感知して、ディスプレイの明るさを調整します。
- ⑥ ディスプレイ(タッチパネル)
- ⑦ 外部接続端子
共通ACアダプタ05(別売)やmicroUSBケーブル01(別売)などの接続時に使用します。
- ⑧ マイク
音声を録音するときなどに使用します。
- ⑨ au Nano IC Card 04 LEスロット
- ⑩ microSDメモ리카ードスロット
- ⑪ カードスロットカバー
- ⑫ 音量上下ボタン
音量を調節します。
- ⑬ 電源ボタン
電源のオン/オフやスリープモードの移行/解除などに使用します。
- ⑭ 内蔵サブアンテナ部*
- ⑮ アウトカメラ
- ⑯ フラッシュ/フォトライト
- ⑰ 内蔵Wi-Fi®/Bluetooth®アンテナ部*
- ⑱ 内蔵GPSアンテナ部*
- ⑲ 内蔵メインアンテナ部*

* アンテナ部付近を手でおおったり、シールなどを貼ったりしないでください。通信品質に影響を及ぼす場合があります。



memo

- ◎ 本製品の背面カバーは取り外せません。背面を無理に取り外そうとすると、破損や故障の原因となります。
- ◎ 本製品の電池は内蔵されており、お客様による取り外しはできません。強制的に電源を切り再起動する場合は、「強制的に電源を切り再起動する」(▶P.17)をご参照ください。

au Nano IC Card 04 LEについて

au Nano IC Card 04 LEにはお客様の電話番号などが記録されています。
本製品はau Nano IC Card 04 LEにのみ対応しております。au Nano IC Card 04 LE以外のICカードはご利用できません。




memo

- ◎ au Nano IC Card 04 LEを取り扱うときは、カードや本製品の故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
 - ・ au Nano IC Card 04 LEのIC(金属)部分や、本製品のICカード用端子には触れないでください。
 - ・ 正しい挿入方向をご確認ください。
 - ・ 無理な取り付け/取り外しはしないでください。
- ◎ au Nano IC Card 04 LE着脱時は、必ず指定のACアダプタなどの電源プラグを本製品から抜いてください。
- ◎ au Nano IC Card 04 LEの取り付け/取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- ◎ au Nano IC Card 04 LEを正しく取り付けしていない場合やau Nano IC Card 04 LEに異常がある場合はエラーメッセージが表示されます。
- ◎ 取り外したau Nano IC Card 04 LEはなくさないようにご注意ください。

■ au Nano IC Card 04 LEが挿入されていない場合

au Nano IC Card 04 LE以外のカードを挿入して本製品を使用することはできません。

au Nano IC Card 04 LEを挿入しないで電源を入れた場合は、次の操作*を行うことができません。また、ステータスバーに「」が表示されません。

- ・SMSの送受信
- ・Eメール(@ezweb.ne.jp)の初期設定および送受信
- ・SIMカードロック設定
- ・本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

*上記の操作以外にも、お客様の電話番号などが必要な機能がご利用できない場合があります。

■ PINコードによる制限設定

au Nano IC Card 04 LEをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やSIMカードのロックにより他人の使用を制限できます(▶P.11「PINコードについて」)。

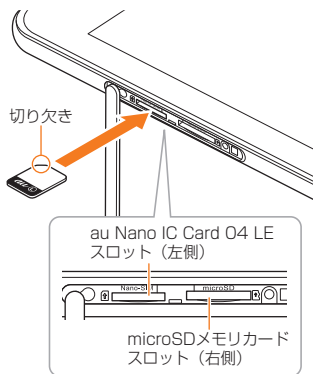
■ au Nano IC Card 04 LEを取り付ける

1 本製品の電源を切り、カードスロットカバーを開ける

2 au Nano IC Card 04 LEのIC(金属)部分を本製品の裏面に向け、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

切り欠きの向きにご注意ください。

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとau Nano IC Card 04 LEが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



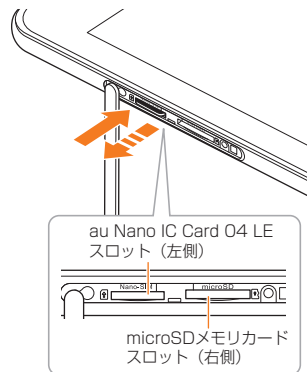
3 カードスロットカバーを閉じる

■ au Nano IC Card 04 LEを取り外す

1 本製品の電源を切り、カードスロットカバーを開ける

2 au Nano IC Card 04 LEをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、au Nano IC Card 04 LEに指を添えながら手前に戻してください。au Nano IC Card 04 LEが少し出きますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



3 au Nano IC Card 04 LEをゆっくり引き抜く

まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。

au Nano IC Card 04 LEによっては、ロック解除できず出せない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。

4 カードスロットカバーを閉じる

充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。



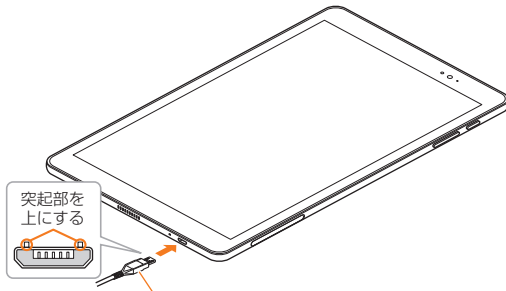
memo

- 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間は長くなる場合があります。
- 指定の充電用機器(別売)を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電/放電を繰り返す場合があります、電池のもちが悪くなります。
- 周囲温度や本製品の温度が、極端に高温や低温になっている場合には、充電が停止することがあります。できるだけ常温の環境で充電してください。
- 接続端子に金属製のアクセサリや導電性異物(金属片・鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。

ACアダプタを使って充電する

共通ACアダプタ05(別売)を接続して充電する方法を説明します。指定のACアダプタ(別売)については、「周辺機器のご紹介」(▶P.86)をご参照ください。

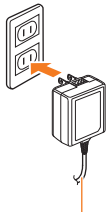
- 1 共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む



共通ACアダプタ05(別売)

- 2 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセント(AC100V~240V)に差し込む

本製品の通知ランプが点灯したことを確認してください。本製品の電源が入っている場合は、ステータスバーに「■」が表示されます。



共通ACアダプタ05(別売)

- 3 充電が完了したら、外部接続端子から共通ACアダプタ05(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜く
- 4 共通ACアダプタ05(別売)の電源プラグをコンセントから抜く

memo

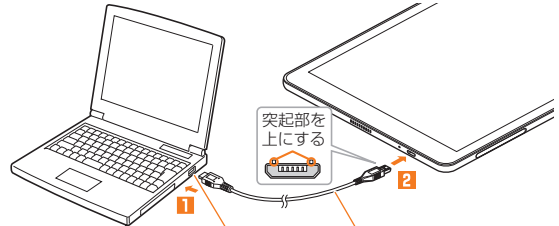
◎ 外部接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。

パソコンを使って充電する

microUSBケーブル01(別売)を利用して、本製品をパソコンの充電可能なUSBポートに接続して充電する方法を説明します。

- 1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01(別売)をパソコンのUSBポートに接続
- 2 microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む

本製品の通知ランプが点灯したことを確認してください。
・パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。



パソコンのUSBポート

microUSBケーブル01(別売)

- 3 充電が完了したら、microUSBケーブル01(別売)を外部接続端子とパソコンから取り外す

memo

◎ 指定のACアダプタでの充電と比べて時間が長くなる場合があります。また、お使いのパソコンによっても充電時間は変動します。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源ボタンを2秒以上長押し

ロック画面が表示されます(▶P.17「ロック画面について」)。

- ・初めて電源を入れたときは、「auかんたん設定」などの初期設定が起動します。「初期設定を行う」(▶P.17)を参照して、必要に応じて設定を行ってください。



memo

- ◎ 電源を入れてから各種ロゴが表示されている間は、タッチパネルの初期設定を行っているため、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。
- ◎ お買い上げ時に「auかんたん設定」の操作をスキップしても、後から設定することができます(▶P.78)。

電源を切る

1 電源ボタンを1秒以上長押し

2 [電源] (電源を切る) → [電源OFF] (タップして電源をOFF)

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

1 電源ボタンを10秒以上長押し



memo

- ◎ 強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

ロック画面について

ロック画面は、電源を入れたときやスリープモード(▶P.17)を解除したときに表示されます。

ロック画面からホーム画面を表示する

ロック画面が表示されたときは、次の操作でホーム画面を表示できます。

1 ロック画面でスライド

ホーム画面、またはスリープモードに移行する前の画面が表示されません。



memo

- ◎ 画面右下の [カメラ] を上にスライドすると「カメラ」アプリを起動できます。
- ◎ 画面下部の [レコーダー]「電卓」「懐中電灯」「カメラ」アプリを起動できます。

スリープモードについて

画面のバックライト点灯中に電源ボタンを押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 スリープモード中に電源ボタンを押す

ロック画面が表示されます(▶P.17「ロック画面について」)。



memo

- ◎ スリープモード中に電源ボタンを押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

初期設定を行う

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、画面の指示に従って、言語や各機能、サービスなどの設定を行ってください。詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

1 「日本語」を選択して[次へ]

2 Wi-Fi® ネットワークを選択

設定しない場合は「スキップ」をタップします。

3 利用規約画面で[同意する]→[次へ]

4 Googleアカウントの設定を行う

5 「端末を保護」の設定を行う

6 Googleサービスの設定を確認し[次へ]

7 設定完了画面で[開始]

8 「auかんたん設定」を必要に応じて設定

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。

GoogleアカウントがセットアップされていないときにGoogleアカウントが必要なアプリや機能を起動すると、セットアップ画面が表示されます。

1 Googleアカウントのセットアップ画面

■ Googleアカウントをすでにお持ちの場合

2 メールアドレスを入力→[次へ]

3 パスワードを入力→[次へ]

4 画面の指示に従って操作

■ Googleアカウントをお持ちではない場合

2 [または新しいアカウントを作成]→画面の指示に従って操作し、Googleアカウントを登録

■ ログインできない場合

1 ホーム画面→[G]→URL表示欄を

選択→「<http://www.google.com/accounts/recovery/>」を入力→[▶]

2 ログインできない理由を選択→必要に応じてメールアドレスを入力→[続行]

3 画面の指示に従って操作



memo

- ◎ Googleアカウントをセットアップしない場合でも本製品をお使いになれますが、ハングアウト、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- ◎ ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。

au IDを設定する

au IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 ホーム画面→[設定]→[au設定メニュー]→[au ID]

2 [au IDの設定・保存]

認証を開始します。

3 画面の指示に従って操作し、au IDを設定

au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。画面の指示に従って操作してください。

基本操作

基本操作	20
タッチパネルの使いかた	20
ナビゲーションバーの使いかた	20
ホーム画面を利用する	20
アプリを利用する	21
本製品の状態を知る	22
最近使用したアプリを起動する	23
縦／横画面表示を切り替える	23
メニューを表示する	24
スクリーンショットを撮影する	24
文字入力	24
文字を入力する	24
文字入力の便利な機能を利用する	25
iWnn IMEの各種設定を行う	26

基本操作

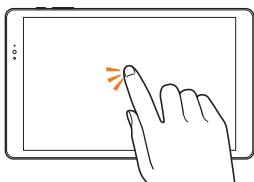
タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 以下の場合にはタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物をディスプレイに乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼った操作
 - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
 - 濡れた指または汗で湿った指での操作

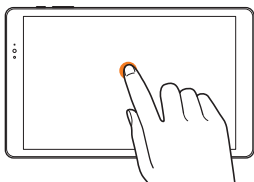
■ タップ / ダブルタップ

画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



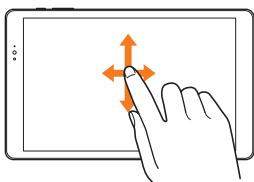
■ ロングタッチ

項目やボタンなどに指を触れた状態を保ちます。



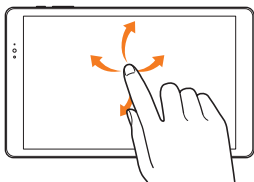
■ スライド

画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



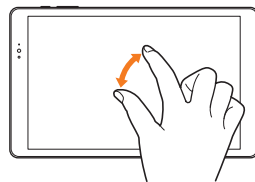
■ フリック

画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



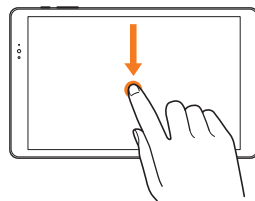
■ ズームイン / ズームアウト

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり、閉じたりします。



■ ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。



ナビゲーションバーの使いかた

画面下部のナビゲーションバーには次のアイコンが表示されます。

- ◀: 1つ前の画面に戻ります。
- : ホーム画面を表示します。
- ◻: 最近使用したアプリの一覧を表示します。

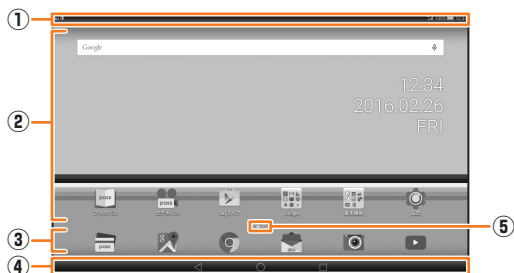


- [●] をロングタッチし、表示されるアイコンまでドラッグすると「Google」アプリを起動できます。
- [◻] をロングタッチすると、直前に使用していたアプリが起動します。

ホーム画面を利用する

ホーム画面は、複数の画面で構成されており、左右にスライド/フリックすると画面を切り替えることができます。

また、[●] をタップするとメインホーム画面を表示できます。



- ① ステータスバー
- ② アプリ/ウィジェット/フォルダ
- ③ Dock
- ④ ナビゲーションバー
- ⑤ インジケータ

複数のホーム画面のうち現在の表示位置を示します。

- 複数のDockがある場合は、Dockを左右にスライド/フリックすると現在のDockの表示位置を示します。

ホーム画面の壁紙を変更する

1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[壁紙]

2 画面下部の壁紙を選択→[壁紙を設定]

- 「画像を選択」をタップし画像を選択した場合は、「壁紙を設定」をタップ、または [◻] → [壁紙を設定] と操作します。
- 「壁紙」をタップし画像を選択した場合は、[●] をタップします。

ホーム画面のアイコンを移動する

1 移動するアイコンをロングタッチ

2 移動する位置へドラッグして、指を離す

■ Dock領域にアイコンを移動する場合

アイコンをドラッグしてDock領域に移動することができます。Dock領域には画面ごとに、最大7つのアイコンを配置できます。

memo

- 一番右のホーム画面/Dock領域でアイコンをロングタッチし、「+」が表示された画面右端までドラッグすると、ホーム画面/Dockを追加することができます。ドラッグしたままアイコンを置く場所まで移動し、指を離してください。
- フォルダ内のアイコンをDock領域に移動するときに、Dock領域のアイコン数が上限を超える場合は、「ホットシートに空きスペースがありません。」とメッセージが表示されます。Dock領域のアイコンと入れ替えるか、Dockを追加して移動してください。

ホーム画面にウィジェット/フォルダを追加する

アプリのウィジェットやフォルダをホーム画面に追加できます。

■ ウィジェットを追加する場合

1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[ウィジェット]

2 ウィジェットをロングタッチ→追加する位置へドラッグして、指を離す

■ フォルダを作成する場合

アプリアイコンをドラッグして他のアプリアイコンに重ねるとフォルダが作成され、複数のアイコンを収納できます。

memo

- 表示しているホーム画面に空きスペースがない場合などは追加できません。フォルダについて
- フォルダを選択→フォルダ上部のフォルダ名をタップ→フォルダ名を入力すると、フォルダ名を変更できます。
- フォルダを選択→[⊕]と操作すると、アプリをまとめて追加したり、フォルダの背景色を変更できます。
- フォルダをタップして、表示されるアプリアイコンをドラッグしてフォルダの外に移動すると、フォルダから移動することができます。
- アプリアイコンが1つになると、フォルダ表示は解除されます。

ウィジェット/フォルダを移動または削除する

1 移動または削除するウィジェット/フォルダをロングタッチ

■ 移動する場合

2 移動する位置へドラッグして、指を離す

■ ウィジェットを削除する場合

2 画面上部の「削除」にドラッグして、指を離す

memo

- アプリアイコンをロングタッチ→画面上部の「非表示」にドラッグして、指を離すとアプリを非表示にできます。

ホーム画面の設定を行う

ホーム画面のバックアップや復元、アイコンの表示サイズ変更などができます。

1 ホーム画面→空きスペースをロングタッチ→[設定]

ホーム設定画面が表示されます。

ホーム画面のグリッド数	ホーム画面に配置するアイコンの数を変更できます。表示するアイコンの大きさもあわせて変更されます。
ホーム画面のループスクロール	ホーム画面をループスクロールさせるかどうか設定します。

ドックのループスクロール	Dockをループスクロールさせるかどうか設定します。
バックアップ/復元	ホーム画面のアプリやウィジェットのレイアウトをmicroSDメモリカードにバックアップしたり、復元したりできます。
非表示リスト	非表示にしたアプリが非表示リストに表示されます。アプリを選択し、「再表示」をタップするとホーム画面に再表示することができます。
ご意見・ご要望	改善要望や不具合報告などを送信します。
ヘルプ	ホームアプリのヘルプを確認できます。
ログ送信	ログを送信するかどうかを設定します。
バージョン	ホームアプリのバージョンが表示されます。

アプリを利用する

アイコンの表示名	ページ
auスマートパス (📄)	P.66
最新ニュースや乗換案内などのデイリーツールはもちろん、「auスマートパス」を最大限活用するためのポータルアプリ。アプリ取り放題、お得なクーポンやプレゼント、データのお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なタブレットライフを楽しめます。	
Chrome (🌐)	P.48
Eメール (✉)	P.28
YouTube (📺)	P.57
カメラ (📷)	P.53
マップ (📍)	P.58
auお客さまサポート	P.62
データ通信料や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申込変更手続きができます。	
au災害対策	P.65
災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。	
Facebook	P.57
友達の近況チェックや写真のアップロード、知り合いとのメッセージのやりとりができる無料のコミュニケーションアプリです。	
Playストア	P.56
ギャラリー	P.55
設定	P.78
ビデオパス	—
幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品が見放題でお楽しみいただけるアプリです。	
ブックパス	—
コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができます。	

■ auフォルダー

アイコンの表示名	ページ
au ID 設定	P.17
au Market	—
auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。	
au WALLET	—
au WALLETカードをより便利に使いこなすためのアプリです。カードへのチャージのほか、カード残高・ポイント残高・特典の確認などを、タブレットに最適化した画面でご利用いただけます。	
au WALLET Market	—
日々の生活に役立つ「ちょっといいもの」を、誰でも気軽に買える新感覚のショッピングサービスです。auショップ店頭で購入した商品の確認や注文変更もご利用いただけます。	
au Wi-Fi接続ツール	P.65
ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。	
auシェアリンク	—
スマートフォンとタブレットを連携して、便利にお使いになれます。	

アイコンの表示名	ページ
auショッピングモール 日用品・タブレットグッズ・グルメ・ファッションなど、お買いもの が楽しめるau公式のショッピングアプリです。	—
安心アクセス お子様がauの端末を安心してご利用いただけるよう、不適切と思わ れるウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィル タリングアプリです。	P.63
うたパス 最新J-POPやカラオケ人気曲、アニソン、洋楽など400以上のチャ ンネルが聴き放題。いつでも、どんな気分でもピッタリな楽曲と出 会えるラジオ型音楽サービスです。	—
データお預かり 写真やアドレス帳などタブレットに保存されているさまざまな データをauスマートパスのサーバーに預けたり、microSDメモリ カードに保存したりするアプリです。 機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。	—
デジラアプリ データ通信の残データ容量を手軽に確認できるアプリです。 データチャージ・データギフトを利用したり、ご家族へデータギフ トをおねだりすることもできます。	—
リモートサポート [*] auの端末の操作で困ったとき、お客様のauの端末の画面を共有し、 お客様の操作をサポートするアプリです。	P.63

^{*} 利用するにはダウンロード/インストールが必要です。

■ Google

アイコンの表示名	ページ
Gmail	P.45
Google	—
Google+	—
Google 設定	—
Play ゲーム	—
Play ニューススタンド [*] 最新のニュースを閲覧できます。	—
Play ブックス コミック・小説・写真集など多くの電子書籍を楽しむことができ ます。	—
Play ミュージック	P.56
Playムービー&TV	P.56
音声検索	—
ドライブ	—
ハングアウト	P.58
フォト	—

■ 基本機能

アイコンの表示名	ページ
LISMO 最新の音楽情報を調べることができます。また、楽曲の試聴・購入も 可能なアプリです。	—
SMS	P.43
カレンダー	P.59
スクリーンショットシェア 表示中の画面を、カンタンな操作で撮影、保存することができます。 撮影したスクリーンショットはスタンプを押すなどの編集ができ るほか、FacebookなどのSNSやEメールで友達と共有できます。	P.61
電卓	P.60
時計	P.59
ファイル	P.70
メモ帳	P.60

■ その他アプリ

アイコンの表示名	ページ
Lookout for au 端末を紛失したり、盗難にあったときにKDDIオペレーターがリ モートで端末の位置検索やロックをかけることができるアプリで す。	P.63
RealTimes for au [*] 端末内に保存している動画や写真をもとに、イベントごとに自動作 成されるダイジェスト映像を楽しめます。 家族や友人とのプライベート映像をアドレス帳電話番号で安心し て共有(送受信)できます。	—
SATCH QRコードやバーコードを読み取ることができます。その他、ARを 楽しむことができます。ARとは対象物をカメラにかざして、動画や CGなどを表示できる機能です。アプリ内のキャンペーンページの 案内に沿ってお楽しみください。	P.55
WPS Office Word、Excelなどのファイルを閲覧できます。	—
懐中電灯	—
ゲームギフト [*] 大人気ゲームのアイテム無料配信を中心に、攻略情報や新作ゲーム 事前登録情報など、さまざまなお得(ギフト)を提供するアプリで す。	—
システム更新	P.87
ダウンロード ダウンロードしたデータの管理を行うことができます。	—
取扱説明書 [*] 「取扱説明書」アプリを利用できます。	P.ii
ナビウォーク [*] 乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプ リです。	—
レコーダー	P.61
連絡先	P.52

^{*} 利用するにはダウンロード/インストールが必要です。

memo

- 各アプリからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- アイコンの表示名は、予告なく変更される場合があります。
- データの初期化(▶P.82)を行っても、本製品にプリインストールされているアプリは削除されません。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた

ステータスバーの左側には新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

■ 主な通知アイコンの例

アイコン	概要
	通信事業者名
	新着メールあり(SMS)
	新着メールあり(Eメール)
	新着メールあり(Gmail)
	緊急速報メールあり
	スヌーズ中のアラームまたは解除せずに終了したアラームあり
	カレンダーの予定通知あり
	音楽再生中
	割り込み制限設定中
	本体の空き容量が少ないとき
	他のBluetooth [®] 機器からファイル受信リクエストあり
	データを送信/アップロード
	データを受信/ダウンロード
	インストール完了
	インストール済みアプリのアップデート通知
	GPS利用中
	ソフトウェア更新通知あり
	USBテザリング中
	Wi-Fi [®] テザリング中

アイコン	概要
	Wi-Fi®テザリングとUSBテザリングを同時に使用中
	スクリーンショット完了
	microSDメモリアードのマウント解除中
	スクリーンショット設定を有効に設定中

■ 主なステータスアイコンの例

アイコン	概要
12:34	時刻
	電池レベル状態 ■ 100% / 電池残量ほとんどなし / 充電中
	電波の強さ・通信状態(LTE/WiMAX 2+) ■ レベル4 / 圏外 / 通信中 ■ LTE/WiMAX 2+使用可能*
	機内モード設定中
	au Nano IC Card 04 LE未挿入
	Wi-Fi®の電波の強さ ■ レベル4 / レベル0
	アラーム設定あり
	マナーモード(サイレントモード)設定中
	Bluetooth®機能利用中 ■ 待機中 / 接続中
	VPN接続中

*日本国内において、「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

■ 通知パネルについて

通知パネルでは、お知らせの確認や対応するアプリの起動ができます。また、「ショートカット」タブをタップすると、よく使う機能のオン/オフがすぐに設定できます。

1 ステータスバーを下にスライド



① 通知タブ

② 日付時刻

③ お知らせエリア

本製品の状態やお知らせの内容を確認できます。情報によっては、タップすると対応するアプリが起動します。

④ 削除アイコン

すべてのお知らせを削除します。

⑤ ショートカットタブ

タップすると、ショートカッター一覧が表示され、よく使う機能のオン/オフができます。ショートカッター一覧で上下にスライドするとすべてのショートカットを確認できます。

ショートカッター一覧画面下部には、画面の明るさを設定できるバーが表示されます。また、「」をタップすると、設定した画面の明るさを、周囲の明るさに合わせて自動的に調整します。

memo

- ◎ 通知パネルを上をスライドすると、通知パネルを非表示にすることができます。
- ◎ 新しいお知らせがあると、画面上部に通知が表示されます。
- ◎ お知らせは、左右にフリックすると削除できます。
- ◎ お知らせの内容によっては削除できない場合があります。
- ◎ ショートカッター一覧で「編集」をタップすると、ショートカットアイコンの表示順を入れ替えることができます。

■ 通知ランプについて

通知ランプの点灯/点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、メールの受信などをお知らせしたりします。

ランプの色と動作	通知内容
赤の点滅	充電が必要(電池残量が2%以下)
赤の点灯	充電が必要(電池残量が3~4%) 充電中(電池残量が0~9%)
オレンジ色の点灯	充電中(電池残量が10~89%)
緑の点灯	充電中(電池残量が90~100%)
緑の点滅*	新着Gmail、新着SMSなどの通知あり

*スリープモード中に点滅します。

■ 最近使用したアプリを起動する

最近使用したアプリをサムネイルで一覧表示し、起動できます。

1

最近使用したアプリ履歴の一覧画面が表示されます。

- ・左右にフリックすると一覧画面のページを切り替えられます。

2 使用するアプリをタップ

memo

- ◎ 一覧からアプリを削除するには、操作②で削除したいアプリを上フリックします。画面下部の「上にフリックしてすべてのアプリを消去」部分を上フリックすると、アプリ履歴がすべて削除されます。
- ◎ 操作②でアプリを下フリックすると、アプリ名の横に「」が表示され、すべてのアプリ履歴を削除する場合でも、削除されなくなります。

■ 縦/横画面表示を切り替える

本製品の向きに合わせて、自動的に縦/横画面表示を切り替えることができます。

memo

- ◎ 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
- ◎ 縦/横画面表示を切り替えるかどうかは、「画面の自動回転」(▶P.79)で設定できます。
- ◎ アプリによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

メニューを表示する

画面のメニューを表示する方法には、「☰」などをタップして表示する方法と、入力欄や項目をロングタッチして表示する方法の2種類があります。

例：連絡先一覧画面で「☰」をタップする場合



メニュー

スクリーンショットを撮影する

電源ボタンと音量下ボタンを同時に1秒以上長押しすると、現在表示されている画面を画像として保存(スクリーンショット)できます。保存完了後に通知パネルを開くと保存した画像を確認できます。



- ◎「スクリーンショットシェア」アプリ(▶P.61)を利用しても、スクリーンショットを撮影できます。
- ◎スクリーンショットを行った画像は、「ギャラリー」(▶P.55)で確認できます。
- ◎スクリーンショット撮影直後の画面で「共有」または「編集」をタップすると、スクリーンショットを行った画像をBluetooth®通信やメールなどを使って共有したり、編集することができます。
- ◎カメラのご利用中など、アプリや機能によってはスクリーンショットが動作しない場合があります。

文字入力

文字を入力する

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

iWnn IMEメニューを表示する

1 文字入力画面→[☰]をロングタッチ

iWnn IMEメニューが表示されます。

2 各種設定	iWnn IMEの設定を変更できます。
キーボードタイプ切替	▶P.24「キーボードを切り替える」
入力モード切替	入力する文字種を切り替えます。
単語登録-日本語	▶P.26「ユーザー辞書に登録する」
単語登録-英語・その他	
キャンセル	iWnn IMEメニューを閉じます。

キーボードを切り替える

1 iWnn IMEメニュー→[キーボードタイプ切替]

2 [テンキーボード] / [QWERTYキーボード] / [50音キーボード]



◎ソフトウェアキーボードを非表示にするには、ナビゲーションバーに表示されている「☑」をタップします。

キーボードで入力する



《QWERTYキーボード》



《テンキーボード》



《50音キーボード》

① 変換候補リスト

候補をタップすると文字を入力できます。

☑をタップすると、変換候補リストを広げられます。

☒: キーボードを縮小し、移動できます。続けて☑をタップするとキーボードを透過させることができます。

② 記号ボタン／英数・カナボタン／シフトボタン

: 絵文字／記号／顔文字の一覧を表示します。

: 英数字・カタカナの変換候補を表示します。

: QWERTYキーボードで英字入力時に、小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。また、QWERTYキーボードで数字入力時では、入力できる記号を切り替えます。

* QWERTYキーボードで英字入力時のみ表示されます。

③ 文字種切替ボタン

入力する文字種(かな／英字／数字)を切り替えます。

ロングタッチすると、各種設定やキーボードタイプ、入力モードの切り替えなどができます。50音キーボードでは50音配列の切り替えもできます。

④ カーソルボタン(左)

変換範囲を1文字縮小します。

未確定の文字がないときは、カーソルを左に移動します。

⑤ 削除ボタン

カーソルの左側にある文字を削除します。ロングタッチすると文字を連続して削除します。

⑥ 確定ボタン／改行ボタン

: 入力中の文字を確定します。

: 改行します。

・アプリや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⑦ 音声入力ボタン／バックボタン／取消ボタン／設定ボタン

: Google音声入力を起動し、音声で文字を入力します。

(デフォルトのキーボード(▶P.81)でGoogle音声入力をオンにすると表示されます。)

: キーに割り当てられた文字を逆順に表示します。

: 文字入力確定後にタップして未確定の状態に戻すなど、直前の操作をキャンセルします。

: 50音キーボードで、各種設定画面を表示します。

⑧ カーソルボタン(右)

変換範囲を1文字拡大します。

未確定の文字がないときは、カーソルを右に移動します。

⑨ 変換ボタン／スペースボタン

: 変換を行います。

: スペースを入力します。

・QWERTYキーボードで、未確定の文字がないときはスペースを入力します。

⑩ 大文字・小文字切替ボタン／シフトボタン

: 入力中の文字の大文字／小文字を切り替えたり、濁点／半濁点を付けたりします。

: 英字入力時に、大文字／小文字を切り替えます。

: 50音キーボードで英字入力時に、小文字／1文字のみ大文字／大文字を切り替えます。



◎「日本語ワイルドカード予測」(▶P.26)または「ワイルドカード予測」(▶P.26)を設定している場合は、字数を指定して変換させることができます。カーソルが文末または未確定の文字の右位置にあるとき、カーソルボタン(右)をタップするたびに「○」が表示されます。「○」は任意の1文字とし、変換候補には入力文字数以上の候補を表示します。

フリック入力について

ソフトウェアキーボードが「テンキーボード」の場合、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を入力することができます。

例:「ま」行を入力する場合

「ま」はタップするだけで入力できます。「み」は左、「む」は上、「め」は右、「も」は下にそれぞれフリックして入力できます。



文字入力の便利な機能を利用する

絵文字／記号／顔文字を入力する

1 文字入力画面→

絵文字／記号／顔文字一覧画面が表示されます。

2 絵文字／記号／顔文字を選択

■ 絵文字／記号／顔文字一覧画面の操作

: キーボード画面に戻ります。

: カーソルの左側にある文字を削除します。

・絵文字／記号／顔文字一覧の下部には、カテゴリを選択できる項目が表示されます。



◎ 操作するアプリや画面によっては、一覧画面の表示方法が異なる場合や、絵文字／記号／顔文字の表示や入力ができない場合があります。

文字列の選択／コピー／切り取り／貼り付けをする

1 文字入力画面→文字列をロングタッチ

2 文字列範囲の両端にあるつまみをドラッグして文字列を選択

3 [コピー]／[カット]

4 貼り付ける位置をタップ→カーソルをタップ→[貼り付け]

iWnn IMEの各種設定を行う

iWnn IMEでのキー操作時の操作音などを設定できます。

1 iWnn IMEメニュー→[各種設定]

iWnn IMEの各種設定画面が表示されます。

2

入力言語		入力言語を設定します。
表示	キーボードタイプ	ソフトウェアキーボードのタイプを変更します。
	キーボードイメージ	キーボードイメージを変更します。
	言語切り替えキーを表示	ソフトウェアキーボードを変更するキーを表示するかどうかを設定します。
	他の入力方法に切り替え	言語切り替えキーで他の入力方法にも変更するかどうかを設定します。
	音声入力キーを表示	音声入力ボタンを表示するかどうかを設定します。
	Undoキーを表示	取消ボタンを表示するかどうかを設定します。
	数字キーを表示	QWERTYキーボードで数字キーを表示するかどうかを設定します。
	フルスクリーンモード	フルスクリーンモードを有効にするかどうかを設定します。
	候補表示エリア	ソフトウェアキーボードで文字入力するときに表示される、変換候補リストの行数を変更します。
	半角英字モード	日本語入力時、半角英数字モードを有効にするかどうかを設定します。
予測／変換	日本語候補学習	日本語入力時、変換候補から確定した文字を学習するかどうかを設定します。
	日本語予測変換	日本語入力時、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節を途中まで入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。
	日本語ワイルドカード予測	日本語入力時、ワイルドカード予測機能(▶P.25)を利用するかどうかを設定します。
	半角スペース入力	全角文字の入力時でも半角スペースを入力するかどうかを設定します。
	候補学習	日本語以外を入力時、変換候補リストから確定した文字を学習するかどうかを設定します。
	予測変換	日本語以外を入力時、よく使う言葉や過去に変換・確定した文節を途中まで入力したときに変換候補を予測表示するかどうかを設定します。
	ワイルドカード予測	日本語以外を入力時、ワイルドカード予測機能(▶P.25)を利用するかどうかを設定します。
	入力ミス補正	QWERTYキーボードで半角英字入力時、入力ミスの修正候補を表示するかどうかを設定します。
	自動スペース入力	半角英字入力時に、変換候補の単語を選択するとスペースを自動入力するかどうかを設定します。
	自動大文字変換	半角英字入力時に、文頭の文字を自動的に大文字に変換するかどうかを設定します。

キー操作	キー操作音	キーをタップしたときにキー操作音を鳴らすかどうかを設定します。
	キーポップアップ	タップしたキーを拡大表示させるかどうか、フリック入力のガイドを表示させるかどうかを設定します。
	括弧内カーソル移動	括弧(「」,「」など)の入力時、括弧内にカーソルを移動するかどうかを設定します。
	フリック入力	フリック入力機能(▶P.25)を利用するかどうかを設定します。
	フリック感度	フリック入力時のフリックの感度を設定します。
	トグル入力	フリック入力がある有効のとき、同じキーに割り当てられた文字を、そのキーを繰り返しタップすることによって切り替えるかどうかを設定します。
	自動カーソル移動	文字入力後、自動でカーソルが移動するまでの間隔を設定します。
外部アプリ連携	入力拡張プラグイン	入力拡張プラグインを使用するかどうかを設定します。
辞書	日本語	▶P.26「ユーザー辞書に登録する」
	英語・その他	
その他	学習辞書リセット	学習辞書の登録内容をすべて削除します。
	設定リセット	iWnn IMEの設定を初期化します。
	iWnn IME	iWnn IMEの情報が表示されます。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの読みと表記を、日本語と英語をそれぞれ最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 iWnn IMEの各種設定画面→[辞書]→[日本語]／[英語・その他]

ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

2 []→[登録]

3 読み・単語を入力→[OK]



- ◎登録した単語を編集する場合は、ユーザー辞書単語一覧画面→編集する単語を選択→[]→[編集]と操作します。
- ◎ユーザー辞書単語一覧画面→削除する単語を選択→[]→[削除]→[OK]と操作すると、選択した単語を削除できます。また、ユーザー辞書単語一覧画面→[]→[すべて削除]→[OK]と操作すると、すべての単語を削除できます。

メールについて.....	28	SMSを利用する.....	43
Eメールを利用する.....	28	SMSを送信する.....	43
Eメールの表示モードを切り替える.....	28	SMSを受信する.....	43
Eメールを送信する.....	31	SMSを検索する.....	44
Eメールを受信する.....	34	SMSを削除する.....	44
新着メールを問い合わせで受信する.....	35	SMSを設定する.....	44
Eメールを検索する.....	35	Gmailを利用する.....	45
Eメールをフォルダモードで確認する.....	35	Gmailを起動する.....	45
Eメールを会話モードで確認する.....	38	Gmailを送信する.....	45
Eメールを設定する.....	38	Gmailを受信する.....	45
Eメールをバックアップ／復元する.....	41		
迷惑メールフィルターを設定する.....	41		

メールについて

本製品では、次のメールが利用できます。

■ Eメール

(@ezweb.ne.jp)のアドレスを利用してメールの送受信ができるサービスです。絵文字やデコレーションメールに対応し、文章のほか、静止画や動画などのデータを送ることができます(▶P.28)。

■ SMS

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。他社携帯電話との間でもSMSの送信および受信をご利用いただけます(▶P.43)。

■ PCメール

「Gmail」アプリを利用して、Microsoft Exchange ActiveSyncアカウントや一般のISP(プロバイダ)が提供するPOP3やIMAPに対応したメールアカウントなどを設定し、パソコンと同じように本製品からメールを送受信できます(▶P.45)。

■ Gmail

Googleが提供するメールサービスです。Gmailのアカウントだけでなく、PCメールのアカウントも設定できますので、統合してメールの確認・送信をしたり、アカウントを切り替えながら利用したりできます(▶P.45)。

Eメールを利用する

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるパケット通信料がかかります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
- 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかることがあります。
- ホーム画面→[設定]→[アプリ]→[Eメール]と操作して、アプリ情報画面でアップデートの削除やデータの消去を行った場合、保存されたEメールのデータや設定情報がすべて削除されてしまいます。「Eメールをバックアップ/復元する」(▶P.41)を参考にして、事前にバックアップしてください。

Eメールの初期設定について

- 初期設定は、日本国内の電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行くと、正しく設定されない場合があります。Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
- 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。
- Eメールアドレスを変更する操作については、「アドレスの変更やその他の設定をする」(▶P.40)をご参照ください。

Eメールの表示モードを切り替える

指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードと相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面→[📧]

2 [📧]

表示モードが切り替わります。



〈フォルダモード〉



〈会話モード〉

memo

○ 本書ではフォルダモードでの操作を基準に説明しています。会話モードでは、メニューの項目/アイコン/画面上のボタンなどが異なる場合があります。

フォルダモードでの画面の見かた

フォルダ一覧には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。



〈フォルダモード画面〉

- ① フォルダ一覧
- ② Eメール一覧
- ③ アクションバー

■ フォルダ一覧の見かた



〈フォルダ一覧〉

- ① フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
- ② 受信ボックス
- ③ インフォボックス
- ④ 送信ボックス
- ⑤ 未送信ボックス
- ⑥ フォルダ
- ⑦ フォルダ作成
- ⑧ メニューボタン

■ Eメール一覧画面の見かた



〈受信メール一覧画面〉



〈送信メール一覧画面〉



〈未送信メール一覧画面〉



〈フォルダメール一覧画面〉

- ① ●:未読のEメール
○:本文を未受信のEメール
- ② 件名
- ③ 宛先/差出人の名前またはメールアドレス
●:連絡先に登録があるアドレスと送受信した場合
○:連絡先未登録のアドレスと送受信した場合
※ ●や○の表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.39)で変更することができます。
※ ●を選択することで背景色を変更することができます。
※ 背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.39)で戻すことができます。
メールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、メールアドレスが表示されます。
※ 連絡先にメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。
- ④ チェックボックス
チェックを付けるとアクションバーで全選択/削除/保護/フラグの操作をすることができます。
- ⑤ アクションバー

⑥ アイコン

- ▲:サーバーにメールがなく本文を受信できないEメール
- ◀:返信したEメール
- ➡:転送したEメール
- ↔:返信/転送したEメール
- 📎:添付データあり
- 🔒:保護されたEメール
- 🚩:フラグ付きEメール
- ⚠:送信に失敗したEメール
- 🕒:送信予約Eメール
- 🔄:自動再送信Eメール

⑦ 受信/送信切替スライダー

フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

■ Eメール詳細表示画面の見かた



《受信メール詳細表示画面》



《送信メール詳細表示画面》

- ① **Sub:** 件名
- ② **受信メール**
From: 差出人の名前またはメールアドレス
To / CC: 宛先の名前またはメールアドレス
- 送信メール**
To / CC / BCC: 宛先の名前またはメールアドレス
- ③ **添付:** 通常添付(本体メモリ保存)
📎: 通常添付(ストレージ保存)
📎: 通常添付(ストレージ認識不可)*
📎: インライン添付(本体メモリ保存)
📎: インライン添付(ストレージ保存)
📎: 未受信の添付データ
* 添付ファイルをストレージに保存した後に「ストレージの設定」(▶P.80)の「デフォルトの保存場所」を変更すると、添付ファイルを認識できなくなる場合があります。その場合は「デフォルトの保存場所」の設定を戻してください。
- ④ 本文表示エリア
- ⑤ アクションバー
- ⑥ 詳細情報の表示/非表示

■ 会話モードでの画面の見かた

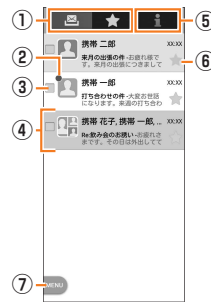
Eメールは、相手先ごとにまとめられたスレッドが一覧表示されます。



《会話モード画面》

- ① スレッド一覧
- ② スレッド内容表示
- ③ アクションバー

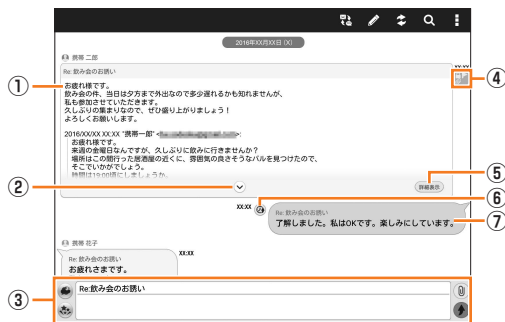
■ スレッド一覧の見かた






《スレッド一覧》

- ① **すべて表示/お気に入り表示切替タブ**
すべてのスレッド一覧と、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。
- ② **🔴 (赤色): 新着Eメールあり**
🔵 (青色): 未読Eメールあり
- ③ **チェックボックス**
削除するスレッドにチェックを付ける→[☑]→[削除]と操作するとスレッドを削除できます。
- ④ **スレッド**
👤: 連絡先に登録があるアドレスと送受信した場合
👤: 連絡先未登録のアドレスと送受信した場合
* 👤や👤の表示有無は「プロフィールアイコンを表示」(▶P.39)で変更することができます。
* 👤を選択することで背景色を変更することができます。
* 背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」(▶P.39)で戻すことができます。
- ⑤ **インフォボックス**
インフォボックスメールを表示できます。
* 新着/未読メールがある場合は、「インフォボックス」タブの右上に合計の件数が表示されます。
- ⑥ **🟡 (黄色): お気に入り**
👤 (灰色): お気に入り解除
- ⑦ メニューボタン

■ スレッド内容表示の見かた



《スレッド内容表示》

- ① 受信したEメール
- ② 続き表示ボタン
本文をすべて表示するときに使用します。閉じるときは「」をタップします。
- ③ メール作成バー
- ④ アイコン
「Eメール一覧画面の見かた」(▶P.29)の⑥参照
- ⑤ 詳細表示ボタン
Eメール詳細表示画面を表示します。
 - Eメールをロングタッチ→[詳細表示]と操作しても詳細表示画面を表示できます。
- ⑥ :送信予約Eメール
:自動再送信Eメール
- ⑦ 送信したEメール

■ メール作成バーの見かた



《メール作成バー》

- ① 件名入力欄
「件名を非表示」に設定している場合は表示されません。
- ② コミコミボタン
コミコミアプリの添付画像を登録するときに使用します。
- ③ D絵文字ボタン
デコレーション絵文字やピクチャを入力するときに使用します。
- ④ 添付ボタン
データを添付するときに使用します。
- ⑤ 送信ボタン
- ⑥ 本文入力欄

Eメールを送信する

1 ホーム画面→


2

送信メール作成画面が表示されます。

3

「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。
 ・入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。

4

アドレス帳引用	連絡先のメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	連絡先のグループに登録されたすべてのメールアドレスを宛先に入力します。 ・グループに登録されているメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。
メール受信履歴引用	受信メール履歴/送信メール履歴の一覧から選択して、メールアドレスを宛先に入力します。 メールアドレスにチェックを付ける→[選択]
メール送信履歴引用	・  →[削除]→メールアドレスにチェックを付ける→[削除]→[削除]と操作すると、履歴を削除できます。
プロフィール引用	本製品に登録されている自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け*	クリップボードに記憶されたメールアドレスを貼り付けます。

*クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

5 [件名を入力]→件名を入力

6 本文入力欄をタップ→本文を入力

7 [メニュー]→[完了]→[送信]→[送信]

■ 会話モードでEメールを送信する場合

1 会話モード画面→

宛先入力画面が表示されます。

・過去に送受信した相手先にEメールを送信する場合はスレッドをタップしてEメールを送信することができます。その場合は、操作4へ進みます。

2

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」(▶P.31)の操作4をご参照ください。
 「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。
 ・入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。

3 [作成]

会話モードの送信メール作成画面が表示されます。

4 [件名を入力]→件名を入力

5 本文入力欄をタップ→本文を入力

6 →[送信]

memo

- ◎ デコレーションアニメには対応しておりません。
- ◎ 件名や本文には、半角カナおよび半角記号「-（長音）*（濁点）*（半濁点）、.」「」は入力できません。
- ◎ 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
- ◎ 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件（To/Cc/Bccを含む）。1件につき半角64文字以内までです。
- ◎ 絵文字を他社携帯電話やパソコンなどに送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるauの端末に送信した場合は、auの旧絵文字に変換されることがあります。
- ◎ 送信時確認表示は非表示に設定することもできます（▶P.39）。
- ◎ フォルダモードでは送信メール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
- ◎ あらかじめ「自動再送信」（▶P.40）をオンにすると、メールの送信に失敗した際に自動で再送信することができます。また、「送信予約」をタップすると、日時指定送信、あるいは本製品が電波の届かない場所でメールを送りたい場合に圏内復帰時に自動送信することができます。

宛先を追加・削除する

■ 宛先を追加する場合

1 宛先入力画面→未入力のアドレス入力欄の「+」

宛先の入力方法を選択するメニューが表示されます。「Eメールを送信する」（▶P.31）の操作④をご参照ください。「アドレスを入力」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■ 宛先を削除する場合

1 宛先入力画面→入力済みのアドレス入力欄の「×」→[削除]

memo

- ◎ フォルダモードでは入力済みのアドレスの「×」をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先は種類を変更することはできません。

送信予約をする

■ フォルダモードで送信予約する場合

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力→[メニュー]→[完了]

2 [送信予約]→[OK]

3 送信する日付を入力→[設定]

4 送信する時間を入力→[設定]

未送信ボックスに「@」が付いた送信予定のEメールが保存されます。

■ 会話モードで送信予約する場合

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [📧]→[OK]

3 送信する日付を入力→[設定]

4 送信する時間を入力→[設定]

スレッド内容表示に「@」が付いた送信予定のEメールが表示されます。

memo

- ◎ メール自動送信は20件まで設定できます。
- ◎ 送信予約が設定されているメールを編集したり、指定した日時を変更しようとするとうったん送信予約が解除されます。
- ◎ 電波状況などにより、指定した日時に送信できない場合があります。
- ◎ 指定した日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
- ◎ 電波が届かない状態で送信予約をすると、日時指定送信が圏内復帰時に自動送信するかを選択することができます。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件（合計2MB以下）のデータを添付できます。

1 送信メール作成画面→[添付する]

会話モードではスレッド内容表示で「@」をタップします。

2 ストレージ	ファイル種別を選択して内部ストレージのデータを添付します。 ・「ストレージの設定」（▶P.80）で「デフォルトの保存場所」を「SDカード」に設定している場合は、microSDメモリーカードのデータを添付できます。
ギャラリー（静止画）	アルバム内の静止画データを添付します。
ギャラリー（動画）	アルバムの動画データを添付します。
カメラ（静止画）	静止画を撮影して添付します。
カメラ（動画）	動画を撮影して添付します。
その他	他のアプリを利用してデータを添付します。

■ 静止画データを添付する場合

3 リサイズするサイズをタップ

静止画データをリサイズして添付することができます。

memo

- ◎ 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
- ◎ フォルダモードではデータを添付した後に、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。
- ◎ 添付データを削除するには、削除する添付データの「×」をタップします。

D絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→[メニュー]→[📧]

会話モードではスレッド内容表示で「@」をタップします。

2 [D絵文字を探す]

3 メニューリストから探す	auスマートパスに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■ 内部ストレージの絵文字を利用する場合

2 [ストレージ]

■ D絵文字パレットのカテゴリを追加する場合

2 [カテゴリ追加]

3 カテゴリ名称を入力→[作成]

4 作成したカテゴリに表示するデコレーション絵文字を選択→[追加]

■ カテゴリ順序の入れ替えや編集を行う場合

2 [カテゴリ設定]→[編集]


3 [三]を移動したい位置までドラッグ→[完了]

- ・追加したカテゴリは[削除]により削除できます。カテゴリを削除してもデコレーション素材の元データは削除されません。

コミコミを利用する

コミコミは漫画のフキダシにあるセリフを自由に書き換えてメールで送信できるアプリです。コミコミを利用するには、あらかじめauスマートパスから対応するアプリをダウンロードしてください。

1 送信メール作成画面→[コミコミ]

コミコミアプリで画像を選択し、Eメールアイコンをタップすると添付画像として作成画面に登録されます。
会話モードの送信メール作成画面の場合は「」をタップします。

本文入力中に行えること

■フォルダモードの場合

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→

2 アドレス帳引用	連絡先から、電話番号やメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	本製品に登録されている自分の電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 ・冒頭文／署名はあらかじめ登録してください(▶P.39)。
文字サイズ	文字サイズを切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
装飾全解除	すべての装飾を解除します。

※入力中の条件により選択できる項目は異なります。

■会話モードの場合





1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→

2 削除	Eメールを削除します。
プロフィール引用	本製品に登録されている自分の電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 ・冒頭文／署名はあらかじめ登録してください(▶P.39)。
文字サイズ	文字サイズを切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」

※入力中の条件により選択できる項目は異なります。

■アクションバーを利用する

1 会話モード画面→本文入力欄をタップ

2  (宛先一覧)	宛先一覧画面が表示されます。 「宛先編集」をタップすると宛先を編集できます。
 (送信予約)	▶P.32「送信予約をする」
 (アドレス帳引用)	連絡先から、電話番号やメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
 (検索)	▶P.35「Eメールを検索する」

フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾して装飾メールを作成することができます。

■本文を装飾する

本文を装飾したEメールを送付できます(デコレーションメール)。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力

2 [メニュー]→

3 装飾の開始位置を選択→[選択開始]→ / で終了位置を選択

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。

4 文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色*	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	内部ストレージに保存された画像やアルバムからの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」 ・「ストレージの設定」(▶P.80)で「デフォルトの保存場所」を「SDカード」に設定している場合は、microSDメモリーカードから挿入できます。

*「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 [完了]→[送信]→[送信]

画像などを挿入した場合は、[メニュー]→[完了]→[送信]→[送信]と操作します。

memo


◎ 本文には、最大20件(合計100KB以下)の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。

※一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。

※挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。

◎ [Eメールにデータを添付する](▶P.32)の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。

◎ 装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。

◎ 操作4で→[装飾全解除]→[解除]と操作すると、装飾を解除できます。

◎ 異なる機種種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。

◎ デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。

◎ 会話モードでは、本文を装飾できません。

■速デコを利用する

本文を入力後に、自動的に絵文字を挿入したり、フォント／背景色を変更し、本文を装飾することができます。速デコを利用するには、あらかじめauスマートパスから対応するアプリをダウンロードしてください。

・フォルダモードでのみ利用できます。

1 送信メール作成画面→本文入力欄をタップ→本文を入力


2 [メニュー]→

装飾結果プレビュー画面が表示されます。

「次候補」をタップするたびに次の装飾候補が表示されます。

3 [確定]

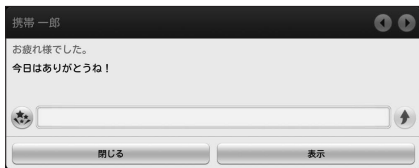
memo

◎ 装飾結果プレビュー画面→→[設定]と操作すると、速デコの設定を変更できます。


Eメールを受信する

1 Eメールを受信



- Eメールの受信が終了すると、以下の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知もEメール設定の「基本通知設定」(▶P.40)または「個別通知設定」(▶P.40)でオフにすることができます。
- 端末がスリープ状態でEメールを受信すると画面が点灯します。
 - ロック画面上に通知ポップアップを表示することができます。
※ お買い上げ時はオフに設定されています。



【通知ポップアップ】

- ステータスバーに「」が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ステータスバーに名前、メールアドレス、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。メールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。

2 ホーム画面→

- Eメールのフォルダモード画面が表示されます。
- 新着Eメールがあるフォルダには「」(赤色)と件数が表示され、未読Eメールがあるフォルダには「」(青色)と件数が表示されます。



3 [受信ボックス] / フォルダをタップ

受信メール一覧画面が表示されます。

4 Eメールをタップ

Eメール詳細表示画面が表示されます。

memo

- ◎ Eメールやその他の機能を実行中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに「」が表示され、Eメール受信音が鳴ります。ただし、「メール自動受信」(▶P.39)を自動受信しない設定にしている場合は、バックグラウンド受信しません。
- ◎ 「メール自動受信」(▶P.39)をオフに設定している場合や、受信に失敗した場合は、Eメール受信音が鳴り「」が表示されます。「新着メールを問い合わせる受信」(▶P.35)の操作を行い、Eメールを受信してください。
- ◎ 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもバック通信料がかかることがあります。
- ◎ 受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- ◎ 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 Eメール詳細表示画面→添付データをタップ

2 [表示]

- 未受信の添付データは、添付データのファイル名をタップすると受信が開始されます。受信完了後、もう一度添付データをタップ→[表示]と操作してください。
- アプリの選択画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

memo

- ◎ 通常のEメール(テキストメール)では、添付データがインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類の、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。
※ データによっては、インライン再生されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を内部ストレージまたはmicroSDメモリーカードに保存できます。

1 Eメール詳細表示画面→添付データをタップ

2 [ストレージへ保存]

3 [保存]

- 選択した画像が内部ストレージに保存されます。
- 「ストレージの設定」(▶P.80)で「デフォルトの保存場所」を「SDカード」に設定している場合は、microSDメモリーカードに保存されます。

memo

- ◎ 保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
- ◎ 未受信の添付画像は保存できません。サーバーから画像を受信してから操作してください(▶P.34)。

差出人 / 宛先 / 件名 / 電話番号 / メールアドレス / URL を利用する

■ 差出人 / 宛先 / 本文中のメールアドレスを利用する場合

1 Eメール詳細表示画面 / 会話モードのスレッド内容を表示

2 差出人 / 宛先 / 本文中のメールアドレスをタップ

3 Eメール作成	選択したメールアドレスを宛先にしてメールを作成します。
アドレス帳登録	選択したメールアドレスを連絡先に登録します。
アドレスコピー	選択したメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加*	選択したメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 【新規振分けフォルダ作成】 / 【×××】(×××はフォルダ名)に追加 →【保存】 • ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 • 「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.36「フォルダを作成 / 編集する」
拒否リスト登録	選択したメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.41「迷惑メールフィルターを設定する」
迷惑メール報告*	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

* 機能や条件により選択できる項目は異なります。

■ 件名をコピーする場合

2 Eメール詳細表示画面で件名をタップ→[コピー]

■本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3 音声発信	あらかじめ通話アプリなどをインストールしておく必要があります。
特番付加184	
特番付加186	
au国際電話サービス	
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.43「SMSを送信する」
アドレス帳登録	選択した電話番号を連絡先に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 開く	選択したURLのページを表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。



memo

◎本文中のメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせで受信する

「メール自動受信」(▶P.39)を「自動受信しない」に設定した場合や、Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせで受信することができます。

1 ホーム画面→[📧]

2 [📧]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。



memo

◎スレッド内容表示で、メール作成バーより上の部分を上方向へスクロールさせ、指を離しても新着メールを問い合わせで受信することができます。

Eメールを検索する

1 ホーム画面→[📧]

2 [🔍]

フォルダモードの場合は [🔍] → [全検索] / [フォルダ内検索] をタップします。

3 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

4 [🔍]

検索結果一覧画面が表示されます。
日時が新しいEメールから順に表示されます。
フォルダモード画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。



memo

◎「✓」をタップすると、キーワード検索以外にも検索条件のアイコンをタップしたり、日付を指定して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールをフォルダモードで確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面→[📧]

フォルダモード画面が表示されます。

- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
- 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます(送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります)。

■受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス] / フォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール詳細表示画面が表示されます。

- 📧: 返信のEメールを作成
- 📧: 転送のEメールを作成
- 🔒/🔒: Eメールを保護 / 保護解除
- 🚩/🚩: Eメールにフラグを付ける / フラグを解除

■送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス] / フォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。
フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール詳細表示画面が表示されます。

- 📧: 同じEメールをもう一度送信
- 📧: コピーして編集
- 🔒/🔒: Eメールを保護 / 保護解除
- 🚩/🚩: Eメールにフラグを付ける / フラグを解除

■未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]

未送信メール一覧画面が表示されます。

- 送信に失敗したEメールをタップ→[🚩]→[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。
- 日時指定した送信予約メールをタップ→[🚩]→[送信予約情報]と操作すると、送信日時を確認できます。送信日時を編集すると、一度送信予約は解除されます。
- 送信予約メールをタップ→[🚩]→[送信予約解除]→[解除]と操作すると、送信予約が解除されます。

3 Eメールをタップ

未送信メールをタップした場合、未送信メール詳細表示画面が表示されます。送信予約メールをタップした場合は、送信予約メール詳細表示画面が表示されます。

- 📧: 宛先が入力されているEメールを送信
- 📧: Eメールを編集
- 🔒/🔒: Eメールを保護 / 保護解除
- 🚩/🚩: Eメールにフラグを付ける / フラグを解除



memo

- ◎宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
- ◎受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメール、本文を未受信のEメールは削除されません。
- ◎受信ボックスのすべてのメールが未読の状態では受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
- ◎送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたEメール、送信予約メールは削除されません。

フォルダモード画面でできること

1 フォルダモード画面→[F]

フォルダ編集	▶P.36「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 削除するフォルダにチェックを付ける→[削除]→[削除] <ul style="list-style-type: none"> ロックされたフォルダは選択できません。 フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたメールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 <ul style="list-style-type: none"> ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
Eメール設定	▶P.38「Eメールを設定する」
ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。

■アクションバーを利用する

1 フォルダモード画面を表示

	▶P.28「Eメールの表示モードを切り替える」
	▶P.31「Eメールを送信する」
	▶P.35「新着メールを問い合わせる」
	▶P.35「Eメールを検索する」

Eメール詳細表示画面でできること

1 受信メール詳細表示画面／送信メール詳細表示画面／未送信メール詳細表示画面→[F]

転送	転送するEメールを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> 送信メール作成画面が表示されます。 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
移動	Eメールを移動します。 移動先のフォルダを選択 <ul style="list-style-type: none"> あらかじめフォルダを作成してください(▶P.36)。
削除	Eメールを削除します。
本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップ、または「◀」／「▶」でカーソルを移動→[選択開始]→「◀」／「▶」で選択範囲を指定→[コピー] <ul style="list-style-type: none"> Eメール詳細表示画面で本文をロングタッチしても本文選択画面を表示できます。 本文選択画面をダブルタップ→「↑」／「↓」をドラッグして選択範囲を指定→[コピー]と操作することもできます。 「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 絵文字やインライン画像もコピーできます。 一部の装飾(文字位置／効果、背景色)はコピーされません。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
画像保存	インライン画像を保存します。
文字サイズ	本文の文字サイズを切り替えます。 「特大」「大」「中」「小」「極小」
ストレージへ保存	Eメールを内部ストレージに保存します。 <ul style="list-style-type: none"> 「ストレージの設定」(▶P.80)で「デフォルトの保存場所」を「SDカード」に設定している場合は、microSDメモリーカードに保存します。 保存したEメールは、「Eメール設定」の「バックアップ・復元」で本製品に読み込むことができます(▶P.41)。

文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift-JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 <ul style="list-style-type: none"> 変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。
本文受信	本文未受信メールを表示した際、本文受信を開始します。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
送信予約情報	送信予約日時を確認します。
送信予約解除	送信予約を解除します。

※画面により項目の表示順や選択できる項目は異なります。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

1 フォルダ一覧→[フォルダ作成]

フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ→フォルダ名を入力

フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■フォルダアイコンを変更する場合

3 [●]

4 アイコンを選択→カラーを選択→[OK]

5 各項目を設定→[保存]

■フォルダ画像を設定する場合

3 [●]→[ギャラリーから写真を選択]

4 画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]→[OK]

5 各項目を設定→[保存]



◎最大20個のフォルダを作成できます。

■フォルダに振り分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振り分け条件を設定できます。設定した振り分け条件に該当するEメールを受信/送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 フォルダモード画面→[F]→[フォルダ編集]→フォルダを選択

ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■振り分け条件を追加する場合

2 [振り分け条件追加]→[+]

3	メールアドレス	メールアドレスを振り分け条件に登録します。 メールアドレスを入力 →[OK]→[保存] ・「+」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け*」から入力方法を選択してメールアドレスを登録できます。
	ドメイン	ドメインを振り分け条件に登録します。 ドメインを入力 →[OK]→[保存] ・「+」をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け*」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
	件名	件名を振り分け条件に登録します。 件名を入力 →[OK]→[保存] ・件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

*クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

■アドレス帳登録外/不正なメールアドレスを振り分け条件に設定する場合

2 「アドレス帳登録外」/「不正なメールアドレス」にチェックを付ける→[保存]



- ◎振り分け条件を設定/編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振り分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振り分けを行う場合は、「再振り分けする」をタップします。
- ◎全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
- ◎同一の振り分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
- ◎「振り分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある「×」をタップして、条件を編集したり削除することができます。
- ◎振り分けの対象となるメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
- ◎一致する振り分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス>ドメイン>件名>その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To>Cc>Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス/ドメイン>2番目のメールアドレス/ドメイン>...>最後のメールアドレス/ドメインの優先順位で振り分けられます。

■フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音や通知ランプを設定できます。

1 フォルダモード画面→[F]→[フォルダ編集]→[受信ボックス]/フォルダを選択

ロックされた受信ボックス/フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 [フォルダ別設定]

3	着信音	OFF	着信音が鳴りません。
		Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
		着信音	端末本体にプリセットされている着信音、通知音を設定します。
		通知音	
		ストレージから探す*	内部ストレージの音楽を着信音に設定します。
	その他		他のアプリを利用して着信音を設定します。
	LED		受信ボックス/選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの通知ランプを設定します。 [OFF]/パターンを選択→[OK]
	着信音鳴動時間		受信ボックス/選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1~60秒の範囲で指定します。
	通知ポップアップ		Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.34「Eメールを受信する」
	メール受信時の画面点灯		Eメール受信時にスリープモードを解除し、画面を点灯させるかどうかを設定します。 ▶P.34「Eメールを受信する」

*「ストレージの設定」(▶P.80)で「デフォルトの保存場所」を「SDカード」に設定している場合は、microSDメモリーカードの音楽を設定できます。

4 [OK]→[保存]

■フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。

あらかじめ「Eメール設定」の「パスワード設定」でフォルダロック解除パスワードを設定してください(▶P.38)。

1 フォルダモード画面→[F]→[フォルダ編集]→[受信ボックス]/フォルダを選択

2 [フォルダロック]→フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]

「フォルダロック」にチェックが付きます。フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 [保存]

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにスレッドにまとめて表示できます。新着Eメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

1 ホーム画面→[📧]→[📧]

会話モード画面が表示されます。

- ・新着Eメールがあるスレッドには「🔴」(赤色)、未読Eメールがあるスレッドには「🟢」(青色)が表示されます。

2 スレッド一覧→確認するスレッドをタップ

スレッド内容が表示され、Eメールが確認できます。

会話モード画面でできること

1 会話モード画面→[📧]

2	件名を表示／件名を非表示	件名の表示／非表示を設定します。
	Eメール設定	▶P.38「Eメールを設定する」
	ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。

アクションバーを利用する

1 会話モード画面を表示

2	🔄(切替)	▶P.28「Eメールの表示モードを切り替える」
	📧(新規作成)	▶P.31「Eメールを送信する」
	📧(新着問合せ)	▶P.35「新着メールを問い合わせる」
	🔍(検索)	▶P.35「Eメールを検索する」

スレッドを削除する

1 スレッド一覧→削除するスレッドにチェックを付ける

アクションバーに「🗑️」が表示されます。

2 [🗑️]→[削除]

スレッド内のEメールはすべて削除されます。

スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。

Eメールを個別に操作する

1 スレッド内容表示→操作するEメールをロングタッチ

2	詳細表示	Eメール詳細表示画面を表示します。
	転送	転送するEメールを作成します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
	保護／保護解除	Eメールを保護します。 ・保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。 ・受信メールは、「受信ボックス」容量の50%または1,750件まで保護できます。 ・送信・未送信メールは、「送信ボックス」容量の50%または750件まで保護できます。
	フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 ・フラグ付きEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
	削除	Eメールを削除します。
	コピー	テキストをコピーします。
	画像保存	添付画像およびインライン画像を保存します。
	迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
	文字コード	文字コードを変更します。
	共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※Eメールにより選択できる項目は異なります。

Eメールを設定する

1 ホーム画面→[📧]

2 [📧]→[Eメール設定]

Eメール設定画面が表示されます。

3	受信・表示設定	▶P.39「受信・表示に関する設定をする」
	送信・作成設定	▶P.39「送信・作成に関する設定をする」
	通知設定	基本通知設定 ▶P.40「通知に関する設定をする」
		個別通知設定 ▶P.40「個別の通知に関する設定をする」
	添付ファイル保存設定 ^{*1}	保存場所の設定 Eメールにファイルが添付されているとき、添付ファイルが自動的に保存される場所を選択します。 本体メモリに保存: 本体メモリに保存します。 ストレージに保存: 内部ストレージ ^{*2} に保存します。
		添付ファイル一括移動 自動的に保存された添付ファイルを別の場所にまとめて移動します。 ストレージへ一括移動: 本体メモリから内部ストレージ ^{*2} に移動します。 本体メモリへ一括移動: 内部ストレージ ^{*2} から本体メモリに移動します。
	プライバシー設定	パスワード設定／パスワード変更 フォルダロック、シークレット機能のパスワードを設定／変更します。 フォルダロック解除パスワード(4~16文字の英数字)を入力→[OK]→同じパスワードを再度入力→[OK]→ひみつの質問にチェックを付ける→[OK]→ひみつの質問の回答を入力→[OK] ・パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 ・フォルダロック解除パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する]→回答を入力→[OK]と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	パスワードをリセットします。 フォルダロック解除パスワードを入力→[OK]→[リセット] ・パスワード未設定の場合は選択できません。 ・パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。
	シークレット	シークレット機能の有効／無効を設定します。 パスワードを入力→[OK] ・表示されるシークレットモードの説明をよくお読みになりご利用ください。 ・パスワード未設定の場合は設定できません。 ・シークレット機能を有効／無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。

アドレス変更・その他の設定	▶P.40「アドレスの変更やその他の設定をする」
設定更新	Eメールアドレスの再初期設定を行います。
バックアップ・復元	▶P.41「Eメールをバックアップ/復元する」
Eメール改善情報送信設定	Eメールや連携するサービスの品質向上のために、Eメール改善情報を送信するかどうかを設定します。 [Eメール改善情報送信設定]→[同意する]/[同意しない]→[完了] ・「同意しない」を選択した場合は「送信しない」をタップします。
プライバシーポリシー	当社サイドメニュー上で連携しているauアプリ間で、お知らせ表示の既読/未読状態を同期するための情報の取り扱いについて表示します。 ・メール送受信履歴情報を収集するものではありません。
Eメール情報	自分のEメールアドレスやEメール保存件数/使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 ・Eメールアドレス欄をタップ→[アドレスコピー]と操作すると、Eメールアドレスをコピーできます。

- *1 受信/送信/未送信メールに添付されているファイルの保存場所を設定します。設定によりシステムメモリの負担を軽減させることができます。本操作の「添付データ」はファイル検索を行ってもデータを確認することができません。また、削除するメールにファイルが添付されている場合、添付ファイルも一緒に削除されます。残しておきたい添付ファイルの保存方法は、「添付データを受信・再生する」(▶P.34)をご確認ください。
- *2 「ストレージの設定」(▶P.80)で「デフォルトの保存場所」を「SDカード」に設定している場合は、microSDメモリカードになります。
添付ファイルをストレージに保存した後「デフォルトの保存場所」を変更すると、添付ファイルを認識できなくなる場合があります。その場合は「デフォルトの保存場所」の設定を戻してください。

受信・表示に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[受信・表示設定]

2	メール自動受信	サーバーに届いたEメールを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを外してオフに設定すると、受信せずに新しいEメールがサーバーに到着したことをお知らせします。						
	メール受信方法	<table border="1"> <tr> <td>全受信</td> <td>差出人・件名と本文を受信します。</td> </tr> <tr> <td>指定全受信^{*1}</td> <td>指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 アドレス帳: 連絡先に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 個別アドレスリスト: 「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 個別アドレスリスト編集: 個別アドレスを登録する。 ・「*」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け^{*2}」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ・登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの「*」→[削除]と操作します。</td> </tr> <tr> <td>差出人・件名受信^{*1}</td> <td>差出人・件名のみを受信します。</td> </tr> </table>	全受信	差出人・件名と本文を受信します。	指定全受信 ^{*1}	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 アドレス帳: 連絡先に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 個別アドレスリスト: 「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 個別アドレスリスト編集: 個別アドレスを登録する。 ・「 * 」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け ^{*2} 」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ・登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの「 * 」→[削除]と操作します。	差出人・件名受信 ^{*1}	差出人・件名のみを受信します。
全受信	差出人・件名と本文を受信します。							
指定全受信 ^{*1}	指定したアドレスからのEメールは、差出人・件名と本文を受信します。指定していないアドレスからのEメールは、差出人・件名のみを受信します。 アドレス帳: 連絡先に登録されているアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 個別アドレスリスト: 「個別アドレスリスト編集」で登録したアドレスからのEメールは差出人・件名と本文を受信する。 個別アドレスリスト編集: 個別アドレスを登録する。 ・「 * 」をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け ^{*2} 」から入力方法を選択して、個別アドレスを登録できます。 ・登録した個別アドレスを削除するには、削除するアドレスの「 * 」→[削除]と操作します。							
差出人・件名受信 ^{*1}	差出人・件名のみを受信します。							
	添付自動受信	受信メールの添付データを自動的に受信するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、Eメールの受信と同時に添付データを受信します。オフに設定すると、添付データを別途取得します。						
	添付自動受信サイズ	自動受信する添付データの上限サイズを設定します。 「100KB」「500KB」「1MB」「2MB」						
	アドレス帳登録名表示	連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定します。						

プロフィールアイコンを表示	プロフィールアイコンを表示するかどうかを設定します。				
プロフィールアイコン色のリセット	プロフィールアイコンの背景色をリセットします。				
文字サイズ	Eメール詳細表示画面/送信メール作成画面の本文の文字サイズを設定します。 「特大」「大」「中」「小」「極小」				
外部画像表示アドレス	外部のWebサイトにリンクされた画像を常に表示するアドレスの確認、削除をします。				
テーマ設定	Eメールアプリの画面デザインを設定します。				
背景画像設定	<table border="1"> <tr> <td>背景画像(縦画面)</td> <td>背景画像を設定します。 [設定する]→画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]</td> </tr> <tr> <td>背景画像(横画面)</td> <td></td> </tr> </table>	背景画像(縦画面)	背景画像を設定します。 [設定する]→画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]	背景画像(横画面)	
背景画像(縦画面)	背景画像を設定します。 [設定する]→画像を選択→切り抜き範囲を指定→[切り抜き]				
背景画像(横画面)					

- *1 差出人・件名のみを受信したEメールは、受信メール一覧画面でEメールをタップすると、本文を取得できます。本文未受信のままEメール詳細表示画面が表示されたときは、**[E]**→[本文受信]→[本文取得]と操作すると、本文を取得できます。本文受信は、電波状態の良いところで行ってください。
- *2 クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

送信・作成に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[送信・作成設定]

2	返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 [設定する]→返信先のメールアドレス(半角64文字まで)を入力→[OK]
	差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 [設定する]→差出人名称を入力→[OK]
	冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 [設定する]→冒頭文(全角833/半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[メニュー]→[完了]→[設定] ・冒頭文には、最大10種類の画像/デコレーション絵文字を挿入できます。 ・冒頭文/署名を挿入しただけで、画像/デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像/デコレーション絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 ・会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示の本文入力欄をタップ→ [E] →[挿入]→[冒頭文]と操作して挿入してください。
	署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 [設定する]→署名(全角833/半角2,500文字まで。装飾する場合は約2.5KBまで)を入力→[メニュー]→[完了]→[設定] ・署名には、最大10種類の画像/デコレーション絵文字を挿入できます。 ・冒頭文/署名を挿入しただけで、画像/デコレーション絵文字の制限(最大20種類、または合計100KB以下)に達した場合は、本文入力時に画像/デコレーション絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 ・会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示の本文入力欄をタップ→ [E] →[挿入]→[署名]と操作して挿入してください。
	返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを付けてオンに設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目の行頭のみ「>」を付けて引用します。 ・会話モードでご利用の場合、チェックを付けてオンに設定していても受信メールの内容は引用されません。
	送信時確認表示	誤送信防止のために送信時の確認画面を表示するかどうかを設定します。

自動再送信	送信に失敗したEメールを自動的に再送信するかどうかを設定します。
宛先候補表示	宛先入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[通知設定]→[基本通知設定]

2 着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	端末本体にプリセットされている着信音、通知音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す*1	内部ストレージの音楽を着信音に設定します。
その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。	
LED	Eメール受信時の通知ランプを設定します。 [OFF]/[パターン]を選択→[OK]	
着信音鳴動時間	Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。	
ステータスバー通知	Eメール受信時のステータスバーの通知について設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」「OFF」	
送信失敗通知	Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。 ※本製品はバイブレーション機能を搭載していないため、この設定は無効です。	
通知ポップアップ	Eメール受信時、ロック画面上に新着メールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.34[Eメールを受信する]	
メール受信時の画面点灯	Eメール受信時にスリープモードを解除し、画面を点灯させるかどうかを設定します。 ▶P.34[Eメールを受信する]	
電源キー押下による着信音鳴動停止	着信音鳴動中に電源ボタンを押したときに、画面の点灯または消灯を契機に、鳴動を停止するかどうかを設定します。	

*1「ストレージの設定」(▶P.80)で「デフォルトの保存場所」を「SDカード」に設定している場合は、microSDメモリーカードの音楽を設定できます。

個別の通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面→[通知設定]→[個別通知設定]

2 [新規設定]

3 [アドレス帳引用]/[メール受信履歴引用]/[メール送信履歴引用]→設定するアドレスを選択→[選択]

「メール受信履歴引用」/「メール送信履歴引用」をタップした場合は、設定するアドレスにチェックを付ける→[選択]と操作します。

4 着信音	▶P.40「通知に関する設定をする」の「着信音」
LED	▶P.40「通知に関する設定をする」の「LED」
着信音鳴動時間	▶P.40「通知に関する設定をする」の「着信音鳴動時間」
通知ポップアップ	▶P.40「通知に関する設定をする」の「通知ポップアップ」
メール受信時の画面点灯	▶P.40「通知に関する設定をする」の「メール受信時の画面点灯」

アドレスの変更やその他の設定をする

1 Eメール設定画面→[アドレス変更・その他の設定]→[接続する]

2 Eメールアドレスの変更へ	<p>EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信] 2. [承諾する] 3. Eメールアドレス入力欄をタップ→Eメールアドレスの「@」の左側の部分(変更可能部分)を入力→[送信]→[OK] <ul style="list-style-type: none"> ・Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「[.]」「[-]」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「[.]」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 ・変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 ・入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 ・Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルターの設定/確認へ	<p>オススメの設定はこちら</p> <p>▶P.41「迷惑メールフィルターを設定する」確認へ</p>
自動転送先の設定へ	<p>受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信] 2. 入力欄をタップ→Eメールアドレスを入力→[送信]→[閉じる] <ul style="list-style-type: none"> ・自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 ・自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 ・「エラー！Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 ・Eメールアドレスを間違えて設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 ・自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返ることがありますのでご注意ください。



◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

Eメールをバックアップ／復元する

Eメールを2つの方法でバックアップすることができます。また、バックアップしたメールデータは本製品へ読み込むことができます。



◎ お買い上げ時の設定では、バックアップしたデータは内部ストレージ(/storage/emulated/0/private/au/email/BU/)に保存されます。「ストレージの設定」(▶P.80)で「デフォルトの保存場所」を「SDカード」に設定している場合は、microSDメモリーカード(/storage/sdcard1/private/au/email/BU/)に保存されます。

メールデータをバックアップする

メールデータ(メール本文・添付ファイル)をバックアップすることができます。

- 1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]
- 2 [メールデータバックアップ]→[OK]
- 3 バックアップデータを作成するための文字コードを選択→[OK]
文字コードについては「ヘルプ」をタップして確認してください。
- 4 バックアップするメール種別にチェックを付ける→[OK]
フォルダモードではバックアップするフォルダを選択します。ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

メールデータを復元する

バックアップしたメールデータ(メール本文・添付ファイル)を復元することができます。

- 1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]
- 2 [メールデータ復元]
- 3 復元するメール種別を選択→[OK]
- 4 復元するバックアップデータにチェックを付ける→[OK]
「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。「Up」をタップすると1つ上の階層のフォルダを選択できます。「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。
- 5 [追加保存]／[上書き保存]→[OK]
「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。



◎ 添付されたデータもバックアップできます。
※ バックアップしたファイルサイズが本製品に保存可能なサイズを超過した場合はバックアップできません。不要な添付ファイル付きメールを削除したうえで再度バックアップを行ってください。

◎ メールデータのバックアップでは、シークレット機能を有効にし、シークレット機能が一時解除されている状態ではバックアップ、復元がご利用いただけません。シークレット機能を無効にしたうえでバックアップ、復元の操作を行うか、まるごとバックアップをご利用ください。

◎ シークレット機能を有効にしてメールデータのバックアップを行うと、シークレット対象のメールデータはバックアップされませんのでご注意ください。

◎ バックアップしたメールデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、選択したメール種別に応じて、「受信ボックス」／「送信ボックス」／「未送信ボックス」に保存されているすべてのEメールを削除して(保護されているEメールや未読メールも削除されます)、バックアップしたメールデータを復元します。

◎ 復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得することはできません。

Eメールをまるごとバックアップする

Eメールアプリに保存されているメールデータ(メール本文・添付ファイル)、Eメール設定、振分け条件を、まるごとバックアップすることができます。

シークレット対象のメールデータもバックアップできます。

- 1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]
- 2 [まるごとバックアップ]

まるごとバックアップデータを復元する

まるごと復元を実施すると、現在Eメールアプリに保存されているメールデータ(メール本文・添付ファイル)、Eメール設定、振分け条件をすべて消去し、復元します。

- 1 Eメール設定画面→[バックアップ・復元]
- 2 [まるごと復元]
- 3 復元するバックアップデータにチェックを付ける→[OK]
■ 復元前にメールデータがない場合
- 4 [OK]
■ 復元前にメールデータをバックアップする場合
- 4 [バックアップ]→[OK]
シークレット機能を有効にしてメールデータのバックアップを行うと、シークレット対象のメールデータはバックアップされません。
- 5 バックアップデータを作成するための文字コードを選択→[OK]
文字コードについては「ヘルプ」をタップして確認してください。
- 6 バックアップするメール種別にチェックを付ける→[OK]
ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
- 7 [OK]→[OK]→[OK]
■ 復元前にメールデータをバックアップしない場合
- 4 [まるごと復元]→[OK]→[OK]



◎ まるごと復元が完了するとEメールアプリが再起動されます。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

- 1 フォルダー一覧またはスレッド一覧→[■]→[アドレス変更/フィルター設定]→[接続する]
Eメール設定画面で「アドレス変更・その他の設定」→[接続する]と操作しても設定画面を表示できます。
- おすすめの設定にする場合
- 2 [オススメの設定はこちら]→[OK]
なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

2 [迷惑メールフィルターの設定/確認へ]→暗証番号入力欄をタップ→暗証番号を入力→[送信]

3	オススメ設定をする	とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメです。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
	個別設定	<p>個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールをすべてブロックする場合は、「個別設定」の「携帯/PHS以外からのメールを拒否する」で「設定する」に設定し、「携帯/PHS等の事業者毎に受信/拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 <p>※「必ず受信」にチェックを付けることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。</p> <p>アドレス帳受信設定へ: 「auアドレス帳」、「Friends Note」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。</p>
	拒否リストに登録する	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯/PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯/PHS事業者ごとにメールを一括で受信/拒否します。
	その他の詳細設定をする	<p>迷惑メールおまかせ規制: メールサーバーで受信したPCメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。</p> <p>なりすまし規制: 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。(高)(低)の2つの設定を選択いただけます。</p> <p>※以前ご利用の携帯電話で(中)を設定されている場合も(高)(低)のみ選択可能です。</p> <p>※「受信リスト設定」の「必ず受信」にチェックを付けて登録することにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。</p> <p>HTMLメール規制: メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。</p> <p>URLリンク規制: 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。</p> <p>ウィルスメール規制: 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。</p> <p>拒否通知メール返信設定: 迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー(宛先不明)メールを返信するための設定項目です。</p> <p>※以前ご利用の携帯電話で「返信しない」に設定している場合にのみ表示され、「返信する」の選択のみ可能です。</p>
	全ての設定を一括解除する	迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※「ヘルプ」をタップすると迷惑メールフィルターの各種機能の説明が表示されます。
※最新の設定機能は、auのホームページでご確認ください。
<http://www.au.kddi.com/> → [迷惑メールでお困りの方へ]



- ◎ 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- ◎ 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- ◎ 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
ウィルスメール規制>受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)>なりすまし規制>拒否リスト設定>受信リスト設定>アドレス帳受信設定>HTMLメール規制>URLリンク規制>携帯/PHS以外のメール拒否設定>迷惑メールおまかせ規制
- ◎ 「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。自動転送設定元のメールアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」に登録することにより、そのメールアドレスがTo(宛先)もしくはCc(同報)に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
※ Bcc(隠し同報)のみに含まれていた場合(一部メルマガ含む)は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- ◎ 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。
- ◎ 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
- ◎ 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できないことがあります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
- ◎ 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証(SPFレコード記述)を設定している場合にに限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「受信リスト設定(「必ず受信」チェック有り)」に登録してください。

■ パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには

迷惑メールフィルターは、お持ちのパソコンからも設定できます。

SMSを利用する

電話番号を宛先としてメールのやりとりができるサービスです。海外の現地携帯電話の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。

1 ホーム画面→[基本機能]→[SMS]

相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 [SMS]

SMS作成画面が表示されます。

・同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、操作4へ進みます。

3 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

[📞]をタップして、連絡先から相手先を選択することもできます。

・海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。

010 + 国番号 + 相手先電話番号

※相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。

※連絡先から相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

4 [メッセージを入力]→本文を入力

本文は、全角70/半角160文字まで入力できます。

5 [送信]

送信したメッセージをロングタッチ→[送達確認結果]と操作すると、送信結果を確認できます。

memo

◎メッセージ作成中に[📧]をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、SMSを送信せずに保存できます。

◎SMSセンターは、次の通りSMSをお預かりします。

お預かり(蓄積)可能時間	72時間まで ※蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	制限なし ※受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

◎蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次の通りです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。

※国際SMSの場合、配信タイミングが異なることがあります。

◎発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。

◎絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの異なる携帯電話に送信した場合は、auの日絵文字に変換されることがあります。

◎SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに「📧」が表示される場合があります。

◎国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご参照ください。
<http://www.au.kddi.com/mobile/service/global/sms/>

SMSを受信する

1 SMSを受信

SMSの受信が終了すると、ポップアップ通知され、メール受信音が鳴ります。

2 ホーム画面→[基本機能]→[SMS]

未読のSMSがあるスレッドには「📧」が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドをタップ

受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

memo

◎SMSの受信は、無料です。

◎受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できません。

◎受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。

◎データお預かりアプリでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

SMSを返信/転送する

1 ホーム画面→[基本機能]→[SMS]

2 返信/転送するスレッドをタップ

■ 返信する場合

3 [メッセージを入力]→本文を入力

4 [送信]

■ 転送する場合

3 転送するメッセージをロングタッチ

オプションメニューが表示されます。

4 [転送]

5 [宛先を入力]→相手先電話番号を入力

[📞]をタップして、連絡先から相手先を選択することもできます。

6 メッセージ入力欄をタップ→本文を入力

7 [送信]

電話番号/メールアドレス/URLを利用する

1 スレッド内容表示画面を表示

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3 SMSを作成

・選択メニューが表示された場合は、使用するアプリを選択して[常時]/[1回のみ]をタップしてください。

■ 本文中のメールアドレスを利用する場合

2 本文中のメールアドレスをタップ


3 Eメールを作成

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

ブラウザが起動して、選択したURLのページが表示されます。

SMSを保護／保護解除する

- 1 スレッド内容表示画面を表示
- 2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ
メニューが表示されます。
- 3 [保護]／[保護解除]
保護したメッセージには「」が表示されます。

SMSの電話番号を連絡先に登録する

- 1 スレッド内容表示画面を表示
- 2 [📞]→[アドレス帳への登録]
連絡先一覧画面が表示されます(▶P.52「連絡先を登録する」)。
・スレッド一覧画面→登録する相手先の[📞]→[はい]と操作しても
連絡先一覧画面が表示されます。

SMSを検索する


- 1 スレッド一覧画面→[🔍]→[メッセージの検索]→キー
ワードを入力
半角と全角を区別して入力してください。
- 2 [🔍]
検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

- 1 ホーム画面→[基本機能]→[SMS]
- 1件削除する場合
 - 2 削除するメッセージがあるスレッドをタップ
 - 3 削除するメッセージをロングタッチ
メニューが表示されます。
 - 4 [削除]→[削除]
- スレッドごとに削除する場合
 - 2 削除するスレッドをタップ
 - 3 [🗑️]→[メッセージの全件削除]→[削除]
- 複数のスレッドを削除する場合
 - 2 削除するスレッドをロングタッチ
 - 3 続けて削除するスレッドをタップ
 - 4 [削除]→[削除]
- すべてのスレッドを削除する場合
 - 2 [🗑️]→[全てのスレッドを削除]→[削除]

SMSを設定する

- 1 ホーム画面→[基本機能]→[SMS]
- 2 [📞]→[設定]
SMS設定メニューが表示されます。
- 3


通知設定	SMS受信時のポップアップ通知を設定します。 [OFF]に設定すると、着信音、LEDもオフになります。 [差出人・本文]／[差出人]／[通知のみ]／[OFF] → [OK]
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 [OFF]／[プリセットから選択]／[ダウンロード 曲から選択]→着信音を選択→[OK]
LED	SMS受信時に着信ランプを点滅するかどうかを 設定します。
文字サイズ	SMSの本文の文字サイズを設定します。 [特大]／[大]／[中]／[小]／[極小]→[OK]
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿 入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 署名(全角20／半角45文字まで)を入力→[設定]
受信フィル ター	▶P.44「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手に届いた際、送信したメッセージに 「  」を表示させるかどうかを設定します。
テーマカ ラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 [ホワイト]／[ブラック]／[ピンク]／[グリーン] ／[ブルー]／[オレンジ]→[OK]

memo

- 「着信音」を「OFF」に設定した場合は、ポップアップ通知されません。
- SMS設定メニュー→[🗑️]→[初期値に戻す]→[はい]と操作すると、SMS
の設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

受信フィルターを設定する

- 1 SMS設定メニュー→[受信フィルター]
- 2

指定番号	指定した電話番号からのSMSを受信した場 合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号リストが表示されます。 入力欄をタップ→登録する電話番号を入力→ [追加] ・「  」をタップすると、連絡先から電話番号 を登録できます。 ・スレッド内容表示画面→[📞]→[受信フィ ルター登録]→[追加]と操作しても登録で きます。 ・登録した電話番号を削除するには、[削除] →削除する電話番号を選択→[削除]→[は い]と操作します。 ・電話番号は、最大150件まで登録できます。
アドレス帳登 録外	連絡先に登録されていない電話番号からの SMSを受信拒否するかどうかを設定します。 オンに設定すると、連絡先に登録されてい ない電話番号からのSMSを受信しないよう になります。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailとPCメールの確認・送受信などできます。

- Gmailの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.17)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページをご参照ください。

Gmailを起動する

1 ホーム画面→[Google]→[Gmail]

Gmailの受信トレイ画面が表示されます。

Gmailを更新する

本製品の「Gmail」アプリとサーバーのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 受信トレイ画面→画面左側のスレッド一覧を下方向にスライド

Gmailを送信する

1 ホーム画面→[Google]→[Gmail]

2 [📧]

3 [To]→宛先を入力

4 [件名]→件名を入力

5 [メールを作成]→本文を入力

6 [📧]

Gmailを受信する

Gmailを受信すると、ステータスバーに「📧」が表示され、メール受信音が鳴ります。

1 ステータスバーを下にスライド→メールの情報をタップ

2 受信したメールを選択

受信メールの内容が表示されます。

Gmailを返信／転送する

1 ホーム画面→[Google]→[Gmail]

2 返信／転送するメールを選択

■送信者に返信する場合

3 [返信]

4 [メールを作成]→本文を入力

5 [📧]

■全員に返信／転送する場合

3 [全員に返信]／[転送]

4 [メールを作成]→本文を入力

「転送」を選択した場合は、転送先の宛先を入力します。

5 [📧]



◎メールの本文が長く、画面の下部にある「返信」／「全員に返信」／「転送」アイコンが表示されていない場合は、画面を上フリックします。

Gmailのメニューを利用する

画面の左端を右方向へスライドするか、「☰」をタップすると、アカウントやトレイの切り替え、設定やヘルプの閲覧などの操作が行えます。メール内容表示画面の右上にある「☰」をタップするとメニューが表示され、重要マークを付ける／外す、ミュートなどの操作ができます。



◎ GmailでPCメールをご利用になるには、画面の左端を右方向へスライドするか、または「☰」→現在のアカウントをタップ→[アカウントを追加]→以降、画面の指示に従ってPCメールのアカウントを設定してください。

インターネット

インターネットに接続する	48
パケット通信を利用する	48
Chromeを利用する	48
Webページを表示する	48
ブックマーク／履歴を利用する	49

インターネットに接続する

パケット通信または無線LAN(Wi-Fi[®])機能を使用してインターネットに接続できます。

- パケット通信(LTE NET、LTE NET for DATA)(▶P.48「パケット通信を利用する」)
- Wi-Fi[®](▶P.73「無線LAN(Wi-Fi[®])機能」)

memo

◎LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、パケット通信を利用することができません。

パケット通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してパケット通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリを起動すると自動的に接続されます。

LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面→[設定]→[その他]→[モバイルネットワーク]→[アクセスポイント名]→[LTE NET for DATA]と操作します。

memo

◎LTEフラットなどのパケット通信料定額/割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、パケット通信料定額/割引サービスについては、最新のau総合カタログ/auのホームページをご参照ください。

■パケット通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリやGoogleサービスなどのアプリを使用するなど、データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額となるため、パケット通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめいたします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を続けた場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限されることがあります。

■ご利用パケット通信料のご確認方法について

ご利用パケット通信料は、次のURLでご照会いただけます。

<https://cs.kddi.com/>(auお客さまサポート)

- 初回のご利用の際は、お申し込みが必要です。

Chromeを利用する

Google Chromeを利用して、パソコンと同じようにWebページを閲覧できます。

Webページを表示する

1 ホーム画面→

Webページ画面が表示されます。


- 初めて利用するときは、利用規約とプライバシー通知の同意画面で内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。

memo

◎非常に大きなWebページを表示した場合は、アプリが自動的に終了することがあります。

■Webページでの基本操作

次のタッチパネル操作でWebページを閲覧できます(Webページによっては操作できない場合があります)。

- タップ:リンクやボタンを選択・実行できます。
- スライド/フリック:ページをスクロールできます。
- ズームイン/ズームアウト:ページを拡大/縮小できます。
- 前のページに戻るにはをタップします。

■Webページ内のテキストをコピーする場合

1 Webページ画面→テキストをロングタッチ

2 /をドラッグして、テキストの範囲を選択

3 [コピー]

4 貼り付け先の入力欄をロングタッチ→[貼り付け]

コピーしたテキストを貼り付けます。

Webページを移動する

Webページの上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、Webサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 Webページ画面→URL表示欄をタップ

2 URL表示欄にキーワード/URLを入力→

- 入力した文字を含む検索候補がURL表示欄の下に一覧表示された場合は、タップしてWebページを表示することもできます。

Webページのメニューを利用する

Chromeのメニューから、新しいタブを開いたり、ブックマーク画面や履歴についての操作を行うことができます。

1 Webページ画面→[:]

メニューが表示されます。

■リンクのメニューを利用する

リンクをロングタッチするとメニューが表示され、リンクの保存などの操作が行えます。

ブックマーク／履歴を利用する

ブックマークを利用する

1 Webページ画面→[:]→[ブックマーク]

ブックマーク画面が表示されます。

2 利用するブックマークを選択



memo

◎ブックマーク画面でブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などの操作が行えます。

ブックマークに登録する

表示中のサイトをブックマークに登録します。

1 Webページ画面→[☆]

ブックマーク登録画面が表示されます。

2 名前、URL、保存先フォルダを設定→[保存]

履歴を利用する

1 Webページ画面→[:]→[履歴]

履歴画面が表示されます。

2 利用する履歴を選択



memo

◎履歴画面で削除したい履歴の「×」をタップすると、履歴を消去できます。

ツール・アプリケーション

連絡先	52	カレンダーを利用する	59
連絡先を登録する.....	52	カレンダーのメニューを利用する.....	59
連絡先を開く.....	52	予定を新規登録する.....	59
連絡先を編集/削除する.....	52	カレンダーを設定する.....	59
グループを設定する.....	52	時計を利用する	59
連絡先をインポート/エクスポートする.....	52	アラームを利用する.....	59
連絡先のメニューを利用する.....	53	タイマーを利用する.....	60
カメラ	53	ストップウォッチを利用する.....	60
カメラを利用する.....	53	世界時計を利用する.....	60
QR・バーコードリーダーを利用する.....	55	電卓を利用する	60
ギャラリーでファイルを表示する	55	メモ帳を利用する	60
データを再生する.....	55	レコーダーを利用する	61
静止画を編集する.....	56	懐中電灯を利用する	61
音楽を聴く	56	スクリーンショットシェアを利用する	61
音楽データを再生する.....	56	auお客さまサポートを利用する	62
ビデオを再生する	56	auスマートサポートを利用する.....	62
Androidアプリ	56	Lookout for auを利用する.....	63
Google Playを利用する.....	56	リモートサポートを利用する.....	63
アプリを管理する.....	57	安心アクセス for Android™を利用する.....	63
YouTube	57	スマートフォン自動診断を利用する.....	64
YouTubeを利用する.....	57	au Wi-Fi接続ツールを利用する	65
Facebookを利用する	57	au災害対策アプリを利用する	65
Googleサービス	58	auスマートパスを利用する	66
ハングアウトを利用する.....	58		
Googleマップを利用する.....	58		
周辺のスポットを確認する.....	58		
道案内を取得する.....	58		

連絡先

連絡先の各種情報が表示されます。

memo

- ◎ 連絡先に登録された電話番号や名前などは、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎ 「アカウントの設定をする」(▶P.80)を利用して、サーバーに保存されたGoogleの連絡先などと本製品の連絡先を同期できます(Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください)。


連絡先を登録する

1 ホーム画面→[その他アプリ]→[連絡先]

連絡先一覧画面が表示されます。



《連絡先一覧画面》

- 1 検索**
検索文字入力欄に漢字・ひらがな・カタカナ・英数字を入力して、登録されている連絡先を検索します。
- 2 追加**
連絡先を登録します。
- 3 メニュー**
メニューを表示します(▶P.53)。
- 4 グループ表示**
タップするとグループの一覧を表示します。
 - ・グループ作成や編集については、「グループを設定する」(▶P.52)をご参照ください。
- 5 連絡先一覧**
 - ・保存先がau Nano IC Card O4 LEの連絡先は、右側に「」が表示されます。

2 [+]

- ・連絡先が1件も登録されていない場合は、「新しい連絡先を作成」をタップします。
- ・アカウントの選択画面が表示された場合は、登録するアカウントを選択または追加します。

3 必要な項目を入力

- ・各項目をタップすると項目を入力できます。
- ・「別のフィールドを追加」をタップすると、項目を追加できます。
- ・「-」をタップすると、項目を削除できます。
- ・項目によっては、左側に表示されているラベル欄をタップすると、ラベルを変更できます。「カスタム」を選択すると、新しいラベル名を入力できます。

4 [✓]

連絡先が登録され、連絡先の詳細表示画面が表示されます。

memo

- ◎ 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- ◎ グループの一覧で「+」をタップすると新規グループを追加できます(▶P.52)。

連絡先を開く

1 ホーム画面→[その他アプリ]→[連絡先]

2 表示する連絡先をタップ

連絡先の詳細表示画面が表示されます。

- ・連絡先の詳細表示画面で「SMS送信」やメールアドレスをタップすると、メッセージやメールを作成して送信できます。

連絡先を編集／削除する

連絡先を編集する

1 連絡先一覧画面→編集する連絡先をタップ→[✎]

連絡先編集画面が表示されます。

2 項目を選択して編集

3 [✓]

編集した連絡先が登録され、連絡先の詳細表示画面が表示されます。

連絡先を削除する

1 連絡先一覧画面→[☰]→[削除]→削除する連絡先にチェックを付ける→[☑]→[削除]

memo

- ◎ 本体の空き容量が少ないと、連絡先の編集／削除ができない場合があります。ご注意ください。

グループを設定する

連絡先をグループに登録できます。

- ・「アカウントの設定をする」(▶P.80)を利用して、アカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。

1 連絡先一覧画面→[グループ]→[+]

2 グループの名前を入力→[OK]

3 [+]→登録する連絡先にチェックを付ける→[✓]

memo

- ◎ グループの編集は、連絡先一覧画面→[グループ]→編集するグループをタップ→[+]と操作して行うことができます。
- ◎ グループを選択して[☰]→[グループの削除]→[削除]と操作すると、グループを削除できます。グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。

連絡先をインポート／エクスポートする

連絡先を内部ストレージやmicroSDメモリカードなどからインポート／エクスポートできます。

- ・連絡先によっては、データの一部がインポート／エクスポートされない場合があります。

インポートする

内部ストレージ／microSDメモリカード／au Nano IC Card O4 LEに保存されている連絡先をインポートします。また、Bluetooth®で他の端末から連絡先をインポートすることもできます。

1 連絡先一覧画面→[☰]→[インポート／エクスポート]

■ 内部ストレージ／microSDメモリカードからインポートする場合

2 [ストレージからインポート]→インポートする連絡先ファイル(vCardファイル)にチェックを付ける→[OK]

■ au Nano IC Card O4 LEからインポートする場合

2 [SIMカードからインポート]→インポートする連絡先にチェックを付ける→[☑]→インポート先を選択

■ Bluetooth[®]を利用して他の端末からインポートする場合

2 [別のデバイスからインポート]→[Bluetooth対応]→[次へ]

以降は画面の指示に従って操作してください。

■ エクスポートする

内部ストレージ/microSDメモリカード/au Nano IC Card 04 LEへエクスポートします。

1 連絡先一覧画面→[≡]→[インポート/エクスポート]

■ 内部ストレージ/microSDメモリカードにエクスポートする場合

2 [ストレージにエクスポート]

3 [エクスポート]→エクスポート元にチェックを付ける→[OK]

- microSDメモリカードを取り付けている場合は、microSDメモリカードにエクスポートされます。microSDメモリカードを取り付けていない場合は、内部ストレージにエクスポートされます。

■ au Nano IC Card 04 LEにエクスポートする場合

2 [SIMカードにエクスポート]→エクスポートする連絡先にチェックを付ける→[≡]→[OK]

■ 連絡先のメニューを利用する

連絡先一覧画面で「≡」をタップすると連絡先の削除やインポート/エクスポート、表示する連絡先の設定などが操作できます。

カメラ

本製品に搭載されているカメラ機能を使って、静止画の撮影や動画の録画、バーコードの読み取りなどを行えます。

カメラを利用する

本製品は有効画素数約800万画素のCMOSアウトカメラと約200万画素のCMOSインカメラを搭載し、静止画や動画の撮影ができます。電池残量が少ない場合や極端に高温になっている場合は、カメラを使用することができません。また、使用中は電池残量低下や温度上昇に応じてディスプレイの輝度が落ちる場合があります。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部に指紋や油脂などが付くと、画像がぼやける場合があります。撮影前にはめがね拭き用などの柔らかな布でレンズ部を拭いてください。強くこするとレンズを傷付けるおそれがあります。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがつかないようにご注意ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本製品が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなる場合があります。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
 - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
 - 強い逆光のもとにある被写体
 - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
 - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
 - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
 - 暗い場所にある被写体
 - 動きが速い被写体
- フラッシュ/フラッシュライトを目に近づけて点灯させないでください。フラッシュ/フラッシュライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。また、他の人の目に向けて点灯させないでください。視力低下などの障がいを起こす原因となります。
- マナーモードを設定している場合でも、静止画撮影時にシャッター音やセルフタイマーのカウントダウン音が鳴ります。動画録画時も、録画開始時、録画停止時に音が鳴ります。音量は変更できません。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、本製品が落下するおそれがあります。
- 本製品を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などをすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例/迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 位置情報が付加された写真をインターネット上にアップロードする場合、第三者に位置情報を知られる可能性がありますので、ご注意ください。

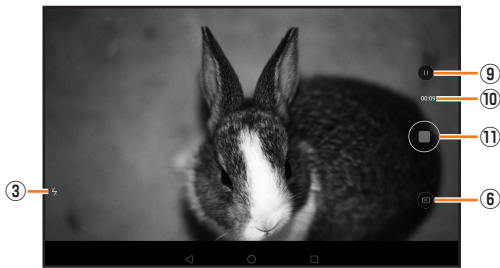
撮影画面の見かた

1 ホーム画面→[📷]

撮影画面が表示されます。



《静止画撮影画面》



《動画撮影中画面》

- ① **撮影モードメニュー/設定メニュー表示**
撮影モードの切り替えができます(▶P.55)。また、カメラの設定メニューも表示できます(▶P.54)。
- ② **カメラ切り替え**
アウトカメラ(背面)/インカメラ(前面)を切り替えます。
- ③ **フラッシュ/フライトライト**
フラッシュ/フライトライトの $\frac{1}{2}$ (オート)/ $\frac{1}{2}$ (オフ)/ $\frac{1}{2}$ (点灯)/ $\frac{1}{2}$ (常時点灯)を切り替えます。
- ④ **ズーム**
スライダーを上下にドラッグしてズームを設定します。
画面をズームイン/ズームアウトするとスライダーが表示されます。
- ⑤ **フィルタ**
フィルタ効果を切り替えます。
- ⑥ **シャッターボタン**
静止画を撮影します。
- ⑦ **モード切り替え**
ビューティー、写真、動画を切り替えます。
・画面を上下にスライド(スワイプ)しても切り替えられます。
・「ビューティー」を選択した場合は、簡単な操作で美颜に静止画を撮影できます。
画面に表示されるインジケータバーをスライド(スワイプ)やタップすると、美颜の補正量を調整できます。
- ⑧ **前回撮影した静止画や動画のサムネイル**
タップすると再生できます。
- ⑨ **動画撮影の一時停止/再開ボタン**
- ⑩ **動画の撮影時間**
撮影時間を表示します。
- ⑪ **動画撮影の開始/停止ボタン**
動画の撮影が開始/停止されます。

memo

◎ 撮影画面で画面を左にフリックすると、ギャラリーを起動できます。

撮影前の設定をする

1 撮影画面→[⊞]→[設定]

カメラ設定画面が表示されます。

■ 静止画撮影時

2	ミラー反転	インカメラ撮影時に正像/鏡像で撮影するかどうかを設定します。
	解像度	静止画のサイズを設定します。
	GPSタグ	撮影した静止画に位置情報を付加するかどうかを設定します。
	保存先	静止画の保存先をmicroSDメモリカードまたは内部ストレージから選択します。
	音声シャッター	音声でシャッターを切られるようにするかどうかを設定します。
	タイマー/タイマー(セルフ撮影用画面)	タイマーを設定します。
	タップして撮影	画面内でタップしたところにピントを合わせて撮影するかどうかを設定します。
	スマイルキャプチャ	笑顔を検出すると自動的に撮影するかどうかを設定します。
	オブジェクトトラッキング	任意の物体を追跡するかどうかを設定します。
	シャッターボタンを長押し	シャッターボタンをロングタッチしたときの動作を設定します。 ・「連写」、「フォーカス」の中から選択します。
	音量ボタンの機能	音量上下ボタンを押したときの動作を設定します。 ・「シャッター」、「ズーム」の中から選択します。
	ISO	ISO感度を設定します。
	ホワイトバランス	ホワイトバランスを設定します。
	画像調整	画像の彩度やコントラストなどを調整します。

※ 隠れている項目を表示させるには、上下にスワイプします。

■ 動画撮影時

2	解像度	動画のサイズを設定します。
	保存先	動画の保存先をmicroSDメモリカードまたは内部ストレージから選択します。
	GPSタグ	撮影した動画に位置情報を付加するかどうかを設定します。
	音量ボタンの機能	音量上下ボタンを押したときの動作を設定します。 ・「シャッター」、「ズーム」の中から選択します。
	オブジェクトトラッキング	任意の物体を追跡するかどうかを設定します。

memo

- ◎ インカメラ/アウトカメラによって、表示されるアイコン/項目は異なります。
- ◎ 撮影モードによっては設定できない項目があります。
- ◎ 初期設定に戻すには[初期設定に戻す]→[OK]と操作してください。

静止画／動画を撮影する

静止画を撮影する

1 ホーム画面→[📷]

撮影画面が表示されます。

2 [写真]／[ビューティー]→被写体を画面に表示→[📷]

シャッター音が鳴り、静止画が保存されます。

動画を撮影する

1 ホーム画面→[📷]

撮影画面が表示されます。

2 [動画]→被写体を画面に表示→[📷]

撮影開始音が鳴り、動画の撮影が開始されます。

3 [📷]

撮影終了音が鳴り、動画が保存されます。

・動画撮影中に[📷]をタップすると静止画を撮影できます。シャッター音は鳴りません。

撮影モードを切り替える

1 撮影画面→[☰]

2	パノラマ	横に長い写真を撮影できます。
	HDR	明暗部の鮮明さが向上します。
	全フォーカス	撮影後にピント位置を変更できる静止画を撮影します。
	ベストショット	複数の写真を連続して撮影し、お気に入りの写真を選択して保存できます。
	音声写真	撮影後、最大10秒間の音声を録音できます。



memo

◎ 静止画の撮影可能枚数や動画の録音可能時間は、microSDメモリーカードや内部ストレージの空き容量によって異なります。

QR・バーコードリーダーを利用する

SATCHを利用して、QRコードやバーコードを読み取ることができます。読み取った内容は、WEBサイト表示などに利用できます。QRコードとJANコードの読み取りに対応しています。

1 ホーム画面→[その他アプリ]→[SATCH]→[QR/バーコードを読み取る]

初回起動時は、アンケートなどが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。



memo

◎ SATCHではQR・バーコードリーダー以外にも、ARを楽しむことができます。ARとは対象物をカメラにかざして読み込むことで、動画やCGなどを表示できる機能です。SATCHアプリ内のキャンペーンなどの画面の案内に沿ってお楽しみください。

ギャラリーでファイルを表示する

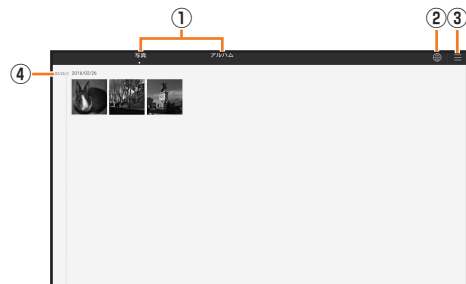
ギャラリーは、内部ストレージ／microSDメモリーカード内や、クラウド上の画像／動画を一覧表示し再生できます。また、アルバムとして管理することもできます。再生可能なファイル形式については、「利用できるデータの種類」(▶P.88)をご参照ください。

データを再生する

1 ホーム画面→[ギャラリー]

データ一覧画面／アルバム一覧画面が表示されます。

・データ一覧画面／アルバム一覧画面によって、表示される項目は異なります。



《データ一覧画面》

① データ一覧画面／アルバム一覧画面を切り替えます。

② 位置情報アルバムを表示します。

アルバム一覧画面では[📍]が表示されます。タップすると、新規アルバムを追加できます。

③ メニューアイコン

ギャラリーのメニューを表示します(▶P.55)。

④ 撮影日時などの情報が表示されます。

2 データを選択

静止画／動画が再生できます。



memo

◎ 縦画面表示でデータ一覧画面(ステータスバーより下部)を下にスライドすることでカメラアプリを起動できます。撮影画面で上にスライドするとデータ一覧画面に戻ります。

※ ギャラリーからカメラを起動している場合は、カメラの機能が一部制限されます。撮影画面で再度下にスライドすると、機能の制限がないカメラアプリを起動できます。

ギャラリーのメニューを利用する

静止画／動画再生中は、次のメニュー(アイコン)が表示されます。

アイコン	説明
📄	ファイル名や撮影情報などを表示します。
📶	Bluetooth®通信やメールなどを使って共有できます。
👍	「自分のお気に入り」アルバムに追加できます。
🗑️	削除します。
☰	編集やスライドショー、名前を変更などの操作が行えます。
⏸️	再生／一時停止します。
⏪ ⏩	左右にドラッグして巻き戻し／早送りします。

※ 動画再生中のみ表示されます。



memo

◎ 画面のアイコンが非表示になった場合は、画面をタップすると再表示できます。

◎ ギャラリーのメニューの設定で「上にスライドして転送を有効化」を有効にしていると、選択した静止画／動画を上にフリックするとBluetooth®機能で転送できます。

◎ 静止画再生の場合は、タッチパネルを使って次の操作ができます。

- ・左／右にフリック: 前／後の静止画／動画を表示
- ・ダブルタップ: 拡大表示／縮小表示
- ・ズームアウト／ズームイン: 縮小表示／拡大表示

静止画を編集する

静止画を編集できます。編集可能なファイル形式は、.jpg形式、.png形式などです。データによっては利用できない場合があります。

1 データー一覧画面→データを選択

2 []→[編集]

データ編集画面が表示されます。

- ・「詳細な編集」をタップするとその他のアプリを選択して静止画を編集できます。

3 画面下部のアイコンで編集

- ・「回転」と「トリミング」以外では、「比較」をタップしている間、編集前の状態を確認できます。

4 []

音楽を聴く

音楽をプレイリストなどで視聴できます。再生可能なファイル形式については、「利用できるデータの種類」(▶P.88)をご参照ください。

音楽データを再生する

内部ストレージ/microSDメモリーカードに保存されたコンテンツをカテゴリ別に表示して再生できます。

- ・音楽再生中に「SDカードのマウント解除」(▶P.69)は行わないでください。

音楽を再生する

1 ホーム画面→[Google]→[Playミュージック]

アカウントの追加画面などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 画面の左端を右にフリック→[Listen Now]／[マイライブラリ]／[プレイリスト]

アイテムのリスト画面が表示されます。

- ・「マイライブラリ」をタップした場合は、カテゴリ(タブ)を選択します。「曲」タブを選択した場合は、操作 4 に進みます。

3 アイテムをタップ

4 曲をタップ



◎音量は、音量上下ボタンで調節します。

曲や曲に関連する情報を検索する

内部ストレージ/microSDメモリーカードに保存されている曲を検索したり、曲に関連する情報を検索することができます。

1 ホーム画面→[Google]→[Playミュージック]

2 [Q]→検索する曲の情報を入力

プレイリストを作成する

1 ホーム画面→[Google]→[Playミュージック]

2 アルバム／曲の[]→[プレイリストに追加]→[新しいプレイリスト]

3 プレイリスト名などを設定→[プレイリストを作成]



◎プレイリストに曲を追加するには、ホーム画面→[Google]→[Playミュージック]→曲の[]→[プレイリストに追加]→プレイリストを選択、と操作します。

◎プレイリストを削除するには、ホーム画面→[Google]→[Playミュージック]→画面の左端を右にフリック→[プレイリスト]→プレイリストの[]→[削除]→[OK]と操作します。なお、曲は削除されません。

ビデオを再生する

Google Playで映画をレンタルしたり、保存した動画を再生したりできます。

- ・ビデオの利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.17)をご参照ください。

1 ホーム画面→[Google]→[Playムービー&TV]

2 再生する動画をタップ

動画再生画面が表示され、動画が再生されます。

Androidアプリ

Google Playを利用すると、便利なアプリやゲームに直接アクセスでき、本製品にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリや本製品と互換性がないアプリを不適切なコンテンツとして報告したりすることができます。

Google Playを利用する

Google Playは、Googleのサービスです。

- ・Google Playのご利用にはGoogleアカウントの設定が必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.17)をご参照ください。
- ・ダウンロードするアプリやゲームには無料のものと有料のものがあり、Google Playのアプリ一覧ではその区別が明示されています。有料アプリの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「Google Playヘルプ」(▶P.57)でご確認ください。

Google Playをご利用になる前に

- ・アプリのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、本製品内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- ・万一、お客様がインストールを行ったアプリなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ・お客様がインストールを行ったアプリなどにより、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- ・アプリによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。
- ・アプリによっては、microSDメモリーカードを取り付けていないと利用できない場合があります。
- ・アプリの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- ・本製品に搭載されているアプリやインストールされているアプリは、アプリのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

アプリを検索し、インストールする

1 ホーム画面→[Playストア]

Google Play画面が表示されます。

■ 有料のアプリを購入するときは

アプリが有料の場合は、ダウンロードする前に購入手続きを行います。

- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後のアンインストールと再ダウンロードには料金がかかりません。

■ 返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリは本製品からアンインストールされます。

- 返金請求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金請求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金請求はできません。

■ Google Playヘルプ

Google Playについてお困りのときや質問がある場合は、Google Play画面→画面の左端を右にフリック→[ヘルプとフィードバック]と操作してGoogle Playヘルプをご確認ください。

アプリを管理する

インストールされたアプリを表示したり、設定を調整したりできます。

提供元不明のアプリのダウンロード

提供元不明のアプリをダウンロードする前に、本製品の設定でダウンロードを許可する必要があります。

ダウンロードするアプリは発行元が不明な場合もあります。お使いの本製品と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリのみダウンロードしてください。

1 ホーム画面→[設定]→[セキュリティ]→[提供元不明のアプリ]

2 注意文を確認し[OK]

インストールされたアプリを削除する

インストールされたアプリを削除する前に、アプリ内に保存されているデータも含めて、そのアプリに関連する保存しておきたいコンテンツはすべてバックアップしてください。

- アプリによっては削除できないものもあります。

1 ホーム画面→[設定]→[アプリ]

アプリ管理画面が表示されます。

2 「ダウンロード」タブをタップ→削除するアプリをタップ

3 [アンインストール]

4 [アンインストール]



- ◎ Google Playからダウンロード、インストールしたアプリはすべてアンインストールすることができます。
- ◎ アプリ内に保存されているデータを消去する場合は、アプリ管理画面→データを消去するアプリをタップ→[データを消去]→[OK]と操作します。
- ◎ アプリのキャッシュを消去する場合は、アプリ管理画面→キャッシュを消去するアプリをタップ→[キャッシュを消去]と操作します。
- ◎ アプリを強制停止/無効にする場合は、アプリ管理画面→強制停止/無効にするアプリをタップ→[強制停止]/[無効にする]→[OK]と操作します。ホーム画面に表示されているアプリを無効にすると、ホーム画面に表示されなくなりますので、ご注意ください。

■ ダウンロードしたアプリを表示する

1 アプリ管理画面→「ダウンロード」タブをタップ

ダウンロードしたアプリの一覧が表示されます。

- 「すべて」タブをタップするとすべてのアプリの一覧が表示されます。

2 確認するアプリをタップ

YouTube

Googleが提供するオンライン動画ストリーミングサービス「YouTube」を利用して、動画の再生や、キーワード入力による動画検索、カテゴリ別表示、撮影した動画のアップロードができます。

YouTubeを利用する

1 ホーム画面→[]

新機能の紹介画面などが表示された場合は、内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 再生する動画を選択



- ◎ 動画をアップロードするには、YouTubeへのログインが必要になります。あらかじめGoogleアカウントを取得してください。
- ◎ YouTubeの詳細については、YouTube画面→[]→[ヘルプとフィードバック]と操作してご確認ください。

Facebookを利用する

Facebookを利用して、友達の近況チェックや写真のアップロード、知り合いとのメッセージのやりとりなどができます。

- Facebookの利用方法などの詳細については、Facebookのホームページをご参照ください。

<http://www.facebook.com/>

1 ホーム画面→[Facebook]

2 電話番号またはメールアドレスを入力→パスワードを入力→[ログイン]

アカウントをお持ちではない場合は「Facebookに登録」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

Googleサービス

ハンガアウトやマップ、カレンダーなどGoogleが提供するアプリやサービスを利用することができます。

ハンガアウトを利用する

ハンガアウトは、Googleのインスタントメッセージサービスです。ハンガアウトを使用して、メンバーとチャットを楽しむことができます。

- ハンガアウトの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.17)をご参照ください。

ハンガアウトにログインする

1 ホーム画面→[Google]→[ハンガアウト]

Googleアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。



◎ハンガアウトの詳細については、ハンガアウトの画面→画面の左端を右にフリック→[ヘルプとフィードバック]と操作して確認してください。

Googleマップを利用する

Googleマップで現在地の表示や別の場所の検索、ルート検索などを行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

- Googleマップの利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.17)をご参照ください。

1 ホーム画面→[📍]

Googleマップ画面が表示されます。メッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。



◎Googleマップで現在地の確認や目的地の検索などを行うには、あらかじめデータ通信/GPS機能を有効にする必要があります。
◎Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

ストリートビューを表示する

地図から実際の景色を表示できます。

1 Googleマップ画面→表示する地点をロングタッチ

2 [ストリートビュー]

ストリートビュー画面が表示されます。

興味のある場所を検索する

1 Googleマップ画面→キーワード入力欄に検索する場所を入力

2 [🔍]

マップ画面の左側に検索した場所の詳細情報が表示されます。

周辺のスポットを確認する

1 Googleマップ画面→キーワード入力欄をタップ

2 カテゴリのアイコンをタップ

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 Googleマップ画面→[📍]

2 [🚗] (車) / [🚊] (公共交通機関) / [🚶] (徒歩)

3 出発地と目的地を入力→[🔍]

経路候補一覧画面が表示されます。

- 「現在地」をタップすると、出発地を入力できます。
- [📍]をタップすると、出発地と目的地を入れ替えることができます。
- 移動方法や経路などを変更する場合は、画面上部の出発地・目的地の情報をタップし、経路の候補一覧を表示してください。必要に応じて「出発時刻」や「オプション」をタップして、日付と時刻の編集や経路オプションを変更することもできます。

4 目的の経路を選択

目的地への道案内が表示されます。

- 移動方法に車または徒歩を選択した場合は、経路を選択→[📍]と操作すると道案内が開始されます。経路情報をタップすると、経路を確認できます。
- 移動方法に公共交通機関を選択した場合は、経路情報をタップすると経路を確認できます。

カレンダーを利用する

カレンダーを利用してスケジュール管理ができます。また、本製品のカレンダーをウェブ上のGoogleカレンダーなどと同期させることができます。

1 ホーム画面→[基本機能]→[カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。

- 確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面→[☰]

2 検索	予定を検索します。
移動	日付を選択して移動します。
表示するカレンダー	同期しているカレンダーから表示するカレンダーを選択します。
設定	▶P.59「カレンダーを設定する」

予定を新規登録する

1 カレンダー画面→[+]

新規作成画面が表示されます。

- カレンダー上をダブルタップしても、予定を作成できます。

2 タイトル	予定のタイトルを入力します。
終日	終日の予定にするかどうかを設定します。
開始	予定の開始日時を設定します。
終了	予定の終了日時を設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
繰り返し	予定を定期的に繰り返すかどうかを設定します。
アカウント	予定を登録するアカウントを選択します。
通知	予定の通知(▶P.82)を設定します。 • 「通知を追加」の「+」をタップすると、通知の設定を追加できます。
場所	予定の場所を入力します。
説明	予定の説明を入力します。

3 [☑]

カレンダーを設定する

カレンダーの表示、通知方法、通知音などを設定します。

1 カレンダー画面→[☰]→[設定]

2 変更する項目を選択

時計を利用する

アラームやタイマーなどを設定したり利用したりすることができます。

1 ホーム画面→[基本機能]→[時計]

時計画面が表示されます。

- 各タブをタップしたり、画面を左右にスライドすると、各機能に切り替えられます。

アラームを利用する

1 時計画面→「アラーム」タブをタップ

アラーム画面が表示されます。

2 [追加]、または編集したいアラームをタップ

3 時刻	アラーム時刻を設定します。
繰り返し	繰り返しの設定をします。
アラーム音	アラーム音を設定します。
ラベル	アラーム鳴動時に表示するメッセージを入力します。

4 [☑]

アラームが追加または編集されます。

memo

- アラーム画面で設定した各アラームの「」/「」をタップすると、アラームのオン/オフを切り替えます。
- アラーム画面で「設定」をタップすると、スヌーズ動作やアラーム鳴動中に音量上下ボタンを押したときの動作などを設定できます。
- 本製品の電源を切るときは、以下の操作を行うと、アラームの設定時刻に自動的に電源が入り、アラームを動作させることができます。
 - 電源ボタンを1秒以上長押し→[☑] (電源を切る)→「アラームは有効(XX後に鳴動)」にチェックを付ける→[☑] (タップして電源をOFF) 電源を切った後、設定されているアラームを動作させない場合は、「アラームは有効(XX後に鳴動)」のチェックを外します。
 - 機内モードがオフの状態では電源を切った場合は、アラーム起動時に機内モードがオンの状態で電源が入りますが、アラームを解除または終了した後、自動的に機内モードがオフになります。航空機搭乗中に起動するアラームを設定しているときは必ず「アラームは有効(XX後に鳴動)」のチェックを外すか、機内モードをオンしてから電源を切ってください。
 - 「タブレットの暗号化」(▶P.81)を行い、「画面のロック」(▶P.80)で「なし」以外の解除方法に設定している場合は、本機能はご利用いただけません。

■ アラームが鳴ったときは

設定した時刻になるとアラームが鳴動し、アラーム画面が表示されます。

- アラームの設定の「音量ボタン」を「サイレント」に設定している場合、音量上下ボタンを押すと鳴動中のアラーム音をミュートにできます。以降はアラームの設定の「スヌーズの設定」に従って動作します。
- スヌーズ動作中に次の操作をすると、アラーム鳴動を停止します。また、「スヌーズの設定」の「スヌーズ回数」のカウンタはリセットされます。
 - 電源ボタンを押す
 - 「ここをタップしてX分間スヌーズ」をタップ(アラームの設定の「スヌーズの設定」により数字が異なります)
 - [☑]をタップ
- アラーム鳴動を停止し、さらにスヌーズをオフにする場合は、次の操作をしてください。
 - 「スライドしてアラームをオフにする」を左右にスライド(スワイプ)
 - 音量上下ボタンを押す(アラームの設定の「音量ボタン」を「解除」に設定している場合)
- ステータスバーを下にスライド→「アラーム(スヌーズ)」と操作してもスヌーズをオフにできます。

アラームを削除する

1 アラーム画面→削除するアラームをロングタッチ

2 削除するアラームの[☑]

memo

- 削除するアラームをタップ→「アラームを削除」→[削除]と操作しても削除できます。

タイマーを利用する

指定した時間をタイマー音でお知らせできます。

1 時計画面→「タイマー」タブをタップ

タイマー画面が表示されます。

2 「●」をドラッグして時間を設定

時間は1分単位で設定できます。

- ・1周するたびに30分加算されます。

3 「開始」

一時停止するには「一時停止」、続行するには「開始」、リセットするには「リセット」をタップします。



◎タイマー画面で「アラーム音」をタップすると、アラーム音を設定することができます。

ストップウォッチを利用する

1 時計画面→「ストップウォッチ」タブをタップ

ストップウォッチ画面が表示されます。

2 「開始」

「ラップ」をタップすると、ラップタイムを計測できます。

3 「一時停止」

再び続きを計測するには「開始」、時間をリセットするには「リセット」をタップします。

- ・ラップタイムなど詳細を確認する場合は「レコード」をタップします。

世界時計を利用する

世界の主要都市の時計を設定することができます。

■都市を追加する

1 時計画面→「世界の時刻」タブをタップ

世界の時刻画面が表示されます。

2 「追加」

3 都市を選択

■追加した都市を削除する

1 世界の時刻画面→「都市の編集」

2 削除する都市の「」→「

■世界の時刻の基本設定をする

1 世界の時刻画面で「設定」

2	日付と時刻	システム日時を設定します。
	自国の時計を表示	異なるタイムゾーンの場合、自動的に自国の時計を表示するかどうかを設定します。
	自国のタイムゾーン	自国のタイムゾーンを設定します。

■都市の表示順を変更する

1 世界の時刻画面で2つ以上の都市を追加しているときに「都市の編集」

2 「

電卓を利用する

四則演算(+、-、×、÷)や関数計算などができます。

1 ホーム画面→[基本機能]→[電卓]


電卓画面が表示されます。

縦画面表示では通常の電卓、横画面表示では関数電卓になります。

2 キーをタップして計算



◎電卓画面で計算結果の数字をロングタッチして、数字の切り取り/コピー/貼り付けができます。電卓の表示欄や他のアプリに貼り付けて利用できます。

◎をタップすると、入力した数値や演算子、計算結果が削除されます。



メモ帳を利用する

■メモを作成する

1 ホーム画面→[基本機能]→[メモ帳]

メモ一覧画面が表示されます。

2 「+」→テキストを入力

- ・メモが1件も保存されていない場合は「新規メモ」をタップします。
- ・をタップするとメモにチェックマーク(箇条書き)が追加され、ToDoの管理ができます。
- ・をタップするとメモに画像を追加できます。


3

■メモを削除する

1 メモ一覧画面→削除するメモをロングタッチ

2 →「削除」




◎メモ一覧画面→削除するメモをタップ→→「削除」と操作してもメモを削除できます。

■メモを編集する

1 メモ一覧画面→編集するメモをタップ

2 メモの本文をタップ→メモを編集→

- ・をタップするとメモをお気に入り設定できます。

レコーダーを利用する

■ 音声を録音する

1 ホーム画面→[その他アプリ]→[レコーダー]

2 [開始]

- ・一時停止する場合は、「一時停止」をタップします。「再開」をタップすることで、録音を再開できます。
- ・録音をキャンセルする場合は、「キャンセル」→[破棄]と操作します。

3 [保存]→ファイル名入力→[OK]

■ 録音された音声を聞く

1 ホーム画面→[その他アプリ]→[レコーダー]

2 [録音ファイル]

録音ファイル一覧画面が表示されます。

3 聞きたい音声をタップ

■ 録音ファイル名を変更する

1 録音ファイル一覧画面→名前を変更したいファイルをロングタッチ

2 [📄]→ファイル名を変更→[OK]

■ 録音された音声を削除する

1 録音ファイル一覧画面→削除したいファイルをロングタッチ

2 [🗑️]→[削除]

懐中電灯を利用する

1 ホーム画面→[その他アプリ]→[懐中電灯]

2 [🔦]

タップするたびにフラッシュ／フォトライトが点灯／消灯します。

スクリーンショットシェアを利用する

表示中の画面をカンタンな操作で撮影、保存することができます。撮影したスクリーンショットにスタンプを押したり、編集してFacebookなどのSNSやEメールで友達と共有できます。

■ スクリーンショットを撮る

撮影したい画面を表示した状態で、画面左上端の領域から中央に向けて指をスライドさせるとスクリーンショットシェアのアプリが起動し、スクリーンショットを撮ることができます。

- ・お買い上げ時は画面をスライドさせてスクリーンショットを撮影できません。ホーム画面→[基本機能]→[スクリーンショットシェア]と操作するか、ステータスバーを下にスライド→[スクリーンショットシェア]と操作して、スクリーンショットシェアを起動させると撮影できるようになります。
- ・スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置は、スクリーンショットシェア画面→[設定]→[スライド位置設定]で設定できます。

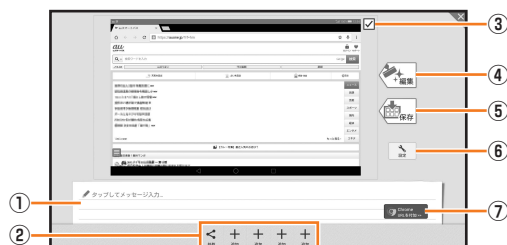
■ 画像を編集する

編集ボタンをタップすると、スクリーンショットで撮った画像を編集できます。トリミング・画像の回転・画像にスタンプを押すことができます。

■ 画像やテキストを他のアプリへ送る

送信先アプリ選択ボタンに画像を共有するアプリ(SNSやEメール)を登録することができます。登録したアプリのアイコンをタップすることで、スクリーンショット画像とテキストエリアに入力したコメントやURLをSNSに投稿したり、登録先のメールアドレスにEメールで送信できます。

■ スクリーンショットシェア画面の見かた



《スクリーンショットシェア画面》

- 1 **テキストエリア**
ここに入力した文字を画像と一緒に他のアプリに送ることができます。
- 2 **送信先アプリ選択ボタン**
画像やテキストをSNSアプリやメールアプリに送ることができます。
登録したアプリを削除する場合は、アイコンをロングタッチし、「エリア内までアイコンを運び離すと削除されます」と表示されたエリアにドラッグします。
- 3 **画像添付切替ボタン**
撮影したスクリーンショット画像を添付するかどうかを切り替えます。
- 4 **編集ボタン**
画像を編集できます。
- 5 **保存ボタン**
画像を保存できます。
- 6 **設定ボタン**
機能の有効／無効、スライドの位置設定など設定項目(▶P.62)についての変更ができます。
- 7 **情報付加ボタン**
マップの位置や、WebページのURLなどの情報をテキストエリアに追加できます。

■ 設定項目

項目	概要
通知設定	スクリーンショットシェアのアイコンをステータスバーに表示するかどうかを設定します。
スクリーンショット設定	スクリーンショットシェアを利用するかどうかを設定します。
スライド位置設定	スクリーンショットを撮影する際にスライドを行う位置の設定をします。
クリップボード設定	共有時にテキストエリアに入力したテキストをコピーするかどうかを設定します。 Facebookなど、テキストを受け取れないアプリの場合は、「保存する」に設定して、送信先のアプリが起動した後でテキストを貼り付けてください。
バイブ設定	スクリーンショットを撮影するときにバイブレータを振動させるかどうかを設定します。 ※本製品はバイブレーション機能を搭載していないため、この設定は無効です。
ヘルプ	スクリーンショットシェアのヘルプを表示します。

memo

- ◎ 画像の保存が禁止されているアプリではスクリーンショットは撮影できません。
- ◎ 撮影したスクリーンショットのステータスバーやナビゲーションバーを削除したい場合は、「編集」→「トリミング」と操作して削除します。撮影後、他の編集操作をするまでの間、ステータスバーとナビゲーションバーを除いた領域が初期値になっています。

auお客さまサポートを利用する

データ通信量や月々の利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。

- ・ 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に[MENU]→[本アプリについて]→[ヘルプ]と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→[auお客さまサポート]

auお客さまサポートのトップ画面が表示されます。

- ・ 初めて起動したときは設定画面が表示され、ID設定・自動更新設定およびお知らせの受信設定が行えます。
- ・ 利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2

今月のデータ通信量	利用したデータ通信量が確認できます。 ・ トップ画面では今月のデータ通信量を表示しています。
ご請求金額	ご請求金額が確認できます。 ・ トップ画面では今月のご請求金額を表示しています。
ご利用料金	月々の利用状況などを簡単に確認できます。
au WALLET・ポイント	au WALLETの残高やポイントを確認できます。
ご契約内容の確認	auの端末の契約内容を確認できます。
各種変更・お手続き	サービス申し込みや契約内容の変更ができます。
困った時・わからない時	操作ガイドや迷惑メールフィルターの設定方法・紛失や故障時のお手続き方法などが確認できます。

memo

- ◎ [MENU]をタップすると、各画面へのメニュー一覧が表示されます。

auスマートサポートを利用する

auスマートサポートでできること

24時間365日体制*のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「Lookout for au」「リモートサポート」の2種類のアプリを利用して、遠隔操作によるセキュリティ機能とサポートサービスを利用することができます。

その他、「スマホお試しレンタル」など初心者の方でも安心してauの端末をご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

- ※ 23時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。

memo

- ◎ 「Lookout for au」「リモートサポート」のご利用にあたっては、「Lookout for auを利用する」(▶P.63)、「リモートサポートを利用する」(▶P.63)および「位置検索をご利用いただくにあたって」(▶P.63)をあわせてご参照ください。

Lookout for auを利用する

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客様のパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックをすることができます。

※ お客さまセンターから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックする場合は、auスマートサポートまたはauスマートパスへの加入が必要です。



- ◎ Lookoutサービス設定が完了していない場合は、アプリ起動時にLookout for auの案内画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- ◎ ご利用の際には「端末管理」で「Lookout」を有効にしてください(▶P.81)。無効の場合は、ロックが正常に動作しないことがあります。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ ご利用上の注意

- ・ サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- ・ ご契約いただいているau Nano IC Card O4 LE情報と、利用開始設定時のau Nano IC Card O4 LE情報が一致している端末の検索ができます。

Lookout for auを利用する

紛失端末の位置検索機能を設定していない場合、次の操作で設定します。

- 1 ホーム画面→[その他アプリ]→[Lookout for au]
- 2 メールアドレスとパスワードを入力→[保護を開始]

リモートサポートを利用する

ご利用にあたってはauスマートサポートまたはauスマートパスへの加入が必要です。

auの端末の操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様のauの端末の画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

リモートサポートを利用する

- 1 お客さまセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパス会員は局番なしの157番(au電話から/通話料無料)、0077-7-111(一般電話から/通話料無料)までご連絡ください。auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

※ リモートサポートをご希望のauの端末以外からお電話ください。

- 2 ホーム画面→[auフォルダー]→[リモートサポート]
初回起動時には許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- 3 オペレーターの指示に従って操作

安心アクセス for Android™を利用する

お子様にauの端末を安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリのご利用を制限するフィルタリングアプリです。

お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」の3段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリの制限/許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。

また、夜間などauの端末のご利用を制限することもできます。

- ・ ご利用にはau IDが必要です。au IDの設定方法については、「au IDを設定する」(▶P.17)をご参照ください。

- 1 ホーム画面→[auフォルダー]→[安心アクセス]

初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

- 2 [au IDでログイン]→[ログイン]

画面の指示に従って操作してください。
※ ご利用になるお子様のau IDでログインしてください。

- 3 仮パスワードを入力→仮パスワード(確認)を入力

仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方でご自身で設定し、忘れないように管理してください。

- 4 フィルタリングの強度を選択

小学生向け	<ul style="list-style-type: none">・ お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。・ 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。・ EMA*が認定するサイト/アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生向け	<ul style="list-style-type: none">・ お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。・ 本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金(一部)があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。・ EMA*が認定するサイト/アプリは利用可能です。
高校生向け	<ul style="list-style-type: none">・ お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。・ 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。・ EMA*が認定するサイト/アプリは利用可能です。

※ 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

- 5 [規約に同意してサービスを利用開始する]→[OK]

利用規約を必ずご確認ください。

端末管理者権限を許可するかどうかの確認画面が表示されます。

- 6 [有効にする]

ウェブページが表示されます。

■ 管理者情報を登録する

1 ホーム画面→[auフォルダー]→[安心アクセス]

2 [■]→[管理者登録]

- ・画面上の「ここをタップして、安心アクセス for Android™の管理者IDを登録してください。」の表示をタップしても管理者登録の設定画面に進むことができます。

3 仮パスワードを入力→[仮パスワードを照会する]

4 管理者IDを入力→管理者ID(確認)を入力→[管理者ID確認へ進む]

管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 [申請する]

管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力→[管理者登録を行う]→[OK]



◎ 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

■ 管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

※以下の手順でお子様のauの端末から利用することも可能です。

1 ホーム画面→[auフォルダー]→[安心アクセス]

2 [■]→[設定]→[管理者ページ]

3 管理者IDとパスワードを入力→[ログイン]

4 管理者情報	管理者ID(メールアドレス)やパスワードの変更ができます。
端末情報	管理している端末の名前を設定できます。
フィルタリング設定	デバイス管理年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可/制限などカスタマイズが可能です。



◎ 詳しくはauホームページをご参照ください。

<http://www.au.kddi.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/>

■ スマートフォン自動診断を利用する

■ スマートフォン自動診断のできること

- ・auの端末の設定や状態を自動的に診断し、問題が見つかった場合は、自動的に修復したり、修復方法を確認することができます。
- ・auの端末の設定や状態以外にも、契約状況に問題がある場合は、状況を確認することができます。
- ・コンディションレコーダーの機能により、auの端末を好調だった時点に戻すことができます。
- ・auの端末の状態によっては、インストール済みのアプリをバージョンアップすることにより修復できる場合もあります。
- ・診断コードを使用した修理相談ができます。

1 ホーム画面→[auお客さまサポート]

2 [MENU]→[おすすめアプリ・サービス]→[故障にそなえる]

3 [スマートフォン自動診断アプリ]→[アプリを利用する]

トップメニュー画面が表示されます。
利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。
「ご利用の準備」画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

4 自動診断	「問題を検出する」をタップすると診断を開始します。 診断が終了したら「次へ」をタップして診断結果および修復結果と、修復方法を確認してください。
アプリの更新	インストール済みのアプリのバージョンアップによる修復を行います。アプリの種類(「Google Play」または「auマーケット」)をタップしてください。
コンディションレコーダー	自動診断で解決しなかった場合、グラフによりauの端末の調子を確認し、指定の日時の状態に戻すことができます。
修理相談	画面に表示された診断コードを使用して、安心ケータイサポートセンターに修理相談をすることができます。



◎ トップメニュー画面下部の「サービス概要」をタップすると、スマートフォン自動診断アプリの操作についての詳細を確認できます。

自動診断について

◎ 診断終了後に「次のご案内(よくあるご質問)」が表示されます。そちらもご確認ください。

コンディションレコーダーについて

◎ 指定した日時の状態に戻すと、その間に行った一切の変更(アプリのインストール、アンインストール含む)が元に戻ります。

◎ 本アプリの利用を開始してから、auの端末の状態を記録し始めます。本アプリを利用する前の状態には情報がいないため、戻せません。

◎ 過去の状態に戻して何らかの不都合が生じた場合は、再度今の状態に戻すことも可能です(ただし、一部データを除く)。詳細は「ヘルプ」をタップしてください。

au Wi-Fi接続ツールを利用する

ご自宅にてHOME SPOT CUBE等のWi-Fi[®]親機と簡単に接続できます。外出先ではすべてのau Wi-Fi SPOTがご利用いただけるようになります。スポット検索も可能です。

・利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面→[ヘルプ]と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面→[auフォルダー]→[au Wi-Fi接続ツール]

au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。初回起動時には、許可画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作し、設定してください。

au災害対策アプリを利用する

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール(緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報)、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができるアプリです。

1 ホーム画面→[au災害対策]

au災害対策メニュー画面が表示されます。初めて起動したときは、利用に関する同意画面や初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はauの端末をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。

詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

1 au災害対策メニュー画面→[災害用伝言板]

画面の指示に従って、登録/確認を行ってください。

memo

- ◎ 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス(～ezweb.ne.jp)が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi[®])接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。
- ◎ 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了承のうえご利用ください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのauの端末に一齐にお知らせするサービスです。

お買い上げ時は、緊急速報メール(緊急地震速報および災害・避難情報)の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。

緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着いたある行動をお願いいたします。津波警報を受信したときは、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

1 au災害対策メニュー画面→[緊急速報メール]

受信ボックスが表示されます。

確認したいメールを選択すると、メールの詳細を確認できます。

2		削除
設定	緊急地震速報	受信したメールを削除します。 受信設定: 緊急地震速報/災害・避難情報を受信するかどうかを設定します。 音量: 受信音の音量を設定します。 マナー時の鳴動: マナーモード設定中は、マナーモードの設定でお知らせするかどうかを設定します。 パイプ: 受信時にパイプレータが動作するかどうかを設定します。 <small>※本製品はパイプレーション機能を搭載していないため、この設定は無効です。</small> 受信音/パイプ確認: 緊急地震速報/災害・避難情報および津波警報の受信音やパイプレータの動作を確認します。 <small>※本製品はパイプレーション機能を搭載していないため、パイプ確認は無効です。</small>
	災害・避難情報	

memo

- ◎ 緊急速報メール受信時は、専用の警報音で通知します。警報音は変更できません。
※ 緊急地震速報の場合は、警報音と音声(「地震です」)で通知します。
※ 津波警報の場合は、警報音と音声(「津波です」)で通知します。
- ◎ 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
- ◎ 地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前に、可能な限りすばやくお知らせします。
- ◎ 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
- ◎ 津波警報とは、気象庁から配信される大津波警報・津波警報を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。
- ◎ 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。
- ◎ 日本国内のみのサービスです(海外ではご利用できません)。
- ◎ 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
- ◎ 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
- ◎ 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
<http://www.jma.go.jp/>
- ◎ 電源を切っているときは、緊急速報メールを受信できません。
- ◎ サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル、地下など)や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
- ◎ 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
- ◎ テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
- ◎ お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にauの端末で音声録音し、安否をお届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

■ 音声を送る(送信)

1 au災害対策メニュー画面→[災害用音声お届けサービス]

2 [声をお届け]

3 「①お届け先を選択」の入力欄をタップして宛先の入力方法を選択→電話番号を入力、またはアドレス帳から選択

4 [声を録音]→[開始]

5 音声を録音

6 [完了]→[送信]／[再生]／[保存]

録音した音声を確認する場合は、「再生」をタップします。

録音した音声を送信せずに保存する場合は、「保存」をタップします。

■ 音声を受け取る(受信)

音声メッセージが届いたことが、ポップアップ画面もしくはSMSで通知されます。音声メッセージを受信(ダウンロード)し、再生することで聞くことができます。

• 受け取る相手が災害用音声お届けサービスに対応したau災害対策アプリを起動してを立ち上げていないスマートフォンや、auの端末の場合、SMSでお知らせします。

• SMSで通知された場合、au災害対策アプリに情報は保存されません。

memo

◎ Wi-Fi[®]でのご利用には、4G(LTE/WiMAX 2+)ネットワークにて初期設定が必要になります。

◎ 音声メッセージは最大30秒の録音が可能です。

◎ auの端末間、および他社携帯電話・PHSと相互にやりとりが可能です。

◎ メディアの音量を小さくしている、もしくはマナーモードに設定している場合、音声を聞き取れない場合があります。

◎ 本体(メモリ)に空き容量がない場合は、音声メッセージが保存・再生できないことがあります。

◎ 音声メッセージの受信に対応していない端末があります。詳しくは、auホームページをご参照ください。

災害関連情報を利用する

自治体が配信した災害・避難情報の履歴や、災害関連情報ポータルなどを確認できます。

1 au災害対策メニュー画面→[災害関連情報]

2 画面の指示に従って操作

auスマートパスを利用する

最新ニュースや天気、乗換案内などのデイリーツールはもちろん、「auスマートパス」を最大限活用するためのポータルアプリです。アプリ取り放題、お得なクーポンやプレゼント、データのお預かりサービスやセキュリティソフトなど、安心・快適なタブレットライフを楽しめます。

- 利用方法、最新のお知らせについては、auスマートパスアプリをご参照ください。

memo

◎ ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額/割引サービスへのご加入をおすすめします。

◎ 一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面→[目]

auスマートパスTOPページが表示されます。

auスマートパスの各コンテンツやニュース、天気、占いなどの主要サービスの一覧が表示されます。

• auスマートパスアプリのご利用にはau IDのログインが必要です。

• au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。au IDについて詳しくは本製品同梱の「設定ガイド」をご参照ください。

• 初めて起動したときは、送信情報の概要などが表示されます。

• 画面の指示に従って、各種情報の設定を行うとアプリホーム画面で各種情報を受け取ることができます。

• 設定内容はアプリホーム画面左にあるサイドメニューから変更ができます。auスマートパスの最新情報はアプリホームにてお知らせしています。auスマートパスの各コンテンツはサイドメニューからご利用いただけます。

2 auスマートパスメニュー	アプリや会員特典、本製品を安心してご利用いただくためのアプリやサービスなどをご案内します。
au WALLETメニュー	au WALLETのお申し込みやau WALLETのさまざまな情報をご案内します。
auアプリ	auアプリ「ビデオパス」「うたパス」「ブックパス」「ディズニーパス」などをご案内します。
auサービス	ニュースや天気、占い、乗換・地図、ライフスタイルのauサービス・auアプリをご案内します。
おすすめサービス	おすすめのサービスをご案内します。
その他	au Online Shopやお知らせ、ヘルプなどをご案内します。

memo

◎ アプリなどによりお客様が操作していない場合でも、自動的にパケット通信が行われる場合があります。

◎ コンテンツによっては、本製品に対応していない場合があります。

◎ 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

ファイル管理

内部ストレージ.....	68
microSDメモリカードを利用する.....	68
microSDメモリカードを取り付ける／取り外す.....	68
microUSBケーブルでパソコンと接続する.....	69
メモリを管理する.....	69
メモリの使用量を確認する.....	69
ファイルを利用する.....	70

内部ストレージ

本製品では、内部ストレージとmicroSDメモ리카ードにデータを保存できます。

アプリによっては、データの保存先として内部ストレージ/microSDメモ리카ードのどちらかをあらかじめ選択しておくことができます。「ファイル」(▶P.70)を利用して、内部ストレージやmicroSDメモ리카ードに保存されたデータを確認したり、移動することができます。

microSDメモ리카ードを利用する

microSDメモ리카ード(microSDHCメモ리카ード、microSDXCメモ리카ードを含む)を本製品に取り付けることにより、データを保存/移動/コピーすることができます。

memo

- ◎ 他の機器で初期化したmicroSDメモ리카ードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品で初期化してください。初期化する方法については、「microSDメモ리카ードを初期化する」(▶P.69)をご参照ください。
- ◎ microSDXCメモ리카ードはSDXC対応機器でのみご使用いただけます。万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモ리카ードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモ리카ードをフォーマットした場合、microSDXCメモ리카ードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモ리카ード本来の容量で使用できなくなることがあります。
- ◎ スピードクラス10未満のmicroSDメモ리카ードを取り付けている場合、通知パネルに「低速のSDカード」と表示されることがあります。データの読み込み/書き込みの速度が遅い場合がありますので、大容量データなどの読み込み/書き込みを行うときは、スピードクラス10のmicroSDメモ리카ードのご使用をおすすめします。

■ 取扱上のご注意

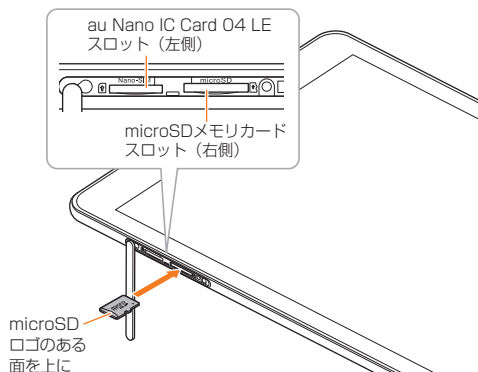
- ・ microSDメモ리카ードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- ・ microSDメモ리카ードを取り付けている状態で、落下させたり振動・衝撃を与えたりしないでください。記録したデータが壊れる(消去される)ことがあります。
- ・ microSDメモ리카ードスロットには、液体、金属片、燃えやすいものなどmicroSDメモ리카ード以外のものは挿入しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- ・ 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモ리카ードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモ리카ードにつきましては、各microSDメモ리카ード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモ리카ードを取り付ける/取り外す

microSDメモ리카ードを取り付ける

- 1 カードスロットカバーを開ける
- 2 microSDメモ리카ードのmicroSDロゴがある面を本製品の表面に向け、カチッと音がするまでまっすぐにゆっくり差し込む

挿入時はカチッと音がしてロックされていることをご確認ください。また、ロックされる前に指を離すとmicroSDメモ리카ードが飛び出す可能性があります。ご注意ください。



- 3 カードスロットカバーを閉じる

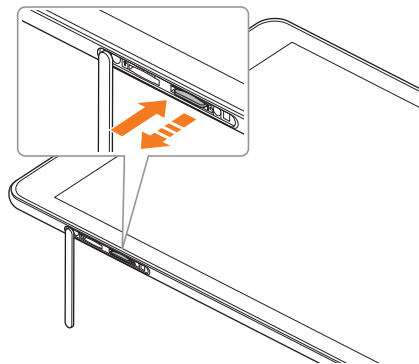
memo

◎ microSDメモ리카ードには、表裏/前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモ리카ードを取り外す

- 1 ホーム画面→[設定]→[ストレージ]→[自分のSDカード]→[SDカードのマウント解除]→[OK]
- 2 カードスロットカバーを開ける
- 3 microSDメモ리카ードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む

カチッと音がしたら、microSDメモ리카ードに指を添えながら手前に戻してください。microSDメモ리카ードが少し出てきますのでそのまま指を添えておいてください。強く押し込んだ状態で指を離すと、勢いよく飛び出す可能性がありますのでご注意ください。



- 4 microSDメモ리카ードをゆっくり引き抜く
まっすぐにゆっくりと引き抜いてください。
microSDメモ리카ードによっては、ロック解除できず出てこない場合があります。その場合は指で軽く引き出して取り外してください。
- 5 カードスロットカバーを閉じる

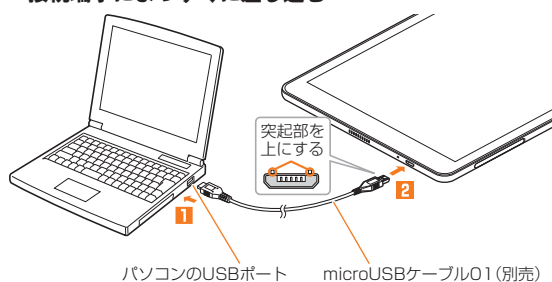
memo

- ◎ microSDメモ리카ードの端子部には触れないでください。
- ◎ microSDメモ리카ードを無理に引き抜かないでください。故障・データ消失の原因となります。
- ◎ 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモ리카ードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- ◎ microSDメモ리카ードを取り外す場合は、データが壊れる(消去される)ことを防ぐため、必ずマウント解除動作を行ってください。

microUSBケーブルでパソコンと接続する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01(別売)で接続すると、本製品の内部ストレージ、microSDメモ리카ード内のデータを読み書きできます。また、音楽/動画データの転送も可能です。

- 1 **パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル01(別売)をパソコンのUSBポートに接続**
- 2 **本製品が完全に起動している状態で、microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグの向きを確認し、外部接続端子にまっすぐに差し込む**



パソコンのUSBポート microUSBケーブル01(別売)

パソコンのデータを同期する

■ USB接続モードを選択する

- 1 **本製品とパソコンを接続**
ドライバが自動的にインストールされ、パソコンと接続されます。
- 2 **本製品の通知パネルを開く→USB接続を示す通知で接続方式を[写真]/[ファイル]/[USBドライブ]から選択**
 - ・ Windows Media® Playerを利用して音楽や動画などのデータを同期させたい場合(MTP)は「ファイル」を選択します。
 - ・ MTPモード非対応のパソコンとデータをやりとりしたい場合(PTP)は「写真」を選択します。
 - ・ 本製品に取り付けたmicroSDメモ리카ードをUSBフラッシュドライブとして使用するには「USBドライブ」を選択します。
 - ・ 選択している接続方式(グレーで表示)を再度タップすると非選択状態となり、パソコンからは本製品が認識されず、充電のみが行われます。

■ Windows Media Playerでデータを転送する

パソコンの音楽データ、動画データを本体メモリやmicroSDメモ리카ードに保存します。
あらかじめパソコンと本製品を接続し、USB接続モードを「ファイル」に設定してください。

- 1 **パソコンのWindows Media Playerを起動し、同期リストを表示**

Windows Media Player 11/12をご使用ください。
Windows Media Playerで転送先を設定してください。本体メモリに転送する場合は、「内部ストレージ」に設定してください。

- 2 **Windows Media Playerの同期リストに保存するデータを登録し、同期を実行**

登録したデータが転送されます。
転送が終了すると、Windows Media Player 11/12に本製品を切断できる旨が表示されます。

- 3 **microUSBケーブル01(別売)を本製品から取り外す**
microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

memo

- ◎ 著作権保護されたデータは、転送時に使用した端末以外では再生できない場合があります。
- ◎ データによっては著作権保護されているため再生できないものがあります。
- ◎ 著作権保護されていないデータでも、本製品以外で保存したデータは再生できない場合があります。
- ◎ 本製品以外でファイルを保存したmicroSDメモ리카ードを使用すると、「ファイル」モードに設定してもパソコンで認識されないことがあります。その場合は、microSDメモ리카ードを本製品でフォーマットすることをおすすめします。なお、microSDメモ리카ードをフォーマットすると、すべてのデータが消去されますのでご注意ください。

転送ファイルについて

- ◎ 拡張子を含め64文字目まで同じファイル名のデータを転送したときは、データが上書きされる場合があります。
- ◎ 著作権保護されたデータのライセンス情報は、microSDメモ리카ードに保存されます。ライセンス情報データの削除、オールリセットを行うと、転送したデータが再生できなくなる場合があります。

■ 内部ストレージやmicroSDメモ리카ード内のデータをパソコンで操作する

あらかじめパソコンと本製品を接続し、USB接続モードを選択してください。

- 1 **パソコンから「HWT31」を開く**
内部ストレージを操作する場合は「内部ストレージ」を、microSDメモ리카ードを操作する場合は「SDカード」を開いてください。
- 2 **パソコンを操作してデータを転送**
- 3 **転送終了後、microUSBケーブル01(別売)を本製品から取り外す**
microUSBケーブル01(別売)のmicroUSBプラグをまっすぐに引き抜いてください。

メモリを管理する

メモリの使用量を確認する

本製品の内部ストレージやmicroSDメモ리카ード、本製品に接続したUSBストレージの合計容量や空き容量の確認などの操作ができます。

- 1 **ホーム画面→[設定]→[ストレージ]**
- 2

内部ストレージ	合計 空き	本製品内のメモリの合計容量や 空き容量が確認できます。
SDカード	自分のSD カード	microSDメモ리카ードの合計容量や 空き容量の確認、マウント解除や 初期化の操作ができます。
USBストレージ	自分の USBスト レージ	本製品に接続したUSBストレージの 合計容量や空き容量の確認、 マウント解除や初期化の操作が できます。

microSDメモ리카ードを初期化する

microSDメモ리카ードを初期化すると、microSDメモ리카ードに保存されているデータ(アプリを含む)はすべて削除されます。

- 1 **ホーム画面→[設定]→[ストレージ]**
- 2 **[自分のSDカード]→[SDカード内データを消去]→[SDカード内データを消去]→[すべて消去]**

memo

- ◎ 初期化は充電しながら行うか、内蔵電池が十分に充電された状態で行ってください。

ファイルを利用する

「ファイル」アプリを利用してデータのコピー／移動などができます。

1 ホーム画面→[基本機能]→[ファイル]

- ・初めて利用するときは、注意画面で内容を確認し、「同意」をタップしてください。

2 「カテゴリ」／「本体」タブをタップ

■「カテゴリ」タブの場合

3 カテゴリをタップ→ファイルをタップ

■「本体」タブの場合

3 [内部ストレージ]／[SDカード]→フォルダをタップ→ファイルをタップ



- ◎ ファイルを表示／再生するときに使用許諾書の画面が表示された場合は、内容を確認して「同意する」をタップします。
- ◎ ファイルやフォルダを切り取り／コピー／削除するには、ファイルやフォルダの一覧画面で画面上部のアイコンをタップ→ファイルやフォルダにチェックを付ける→画面の指示に従って操作します。

Safeボックスを利用する

Safeボックスを利用して、パスワードを入力しないと開けないフォルダ(ボックス)にファイルを保存することができます。

1 ホーム画面→[基本機能]→[ファイル]

2 「カテゴリ」タブまたは「本体」タブをタップ→[Safeボックス]→[有効化]

3 Safeボックスを作成する場所をタップ→画面の指示に従ってパスワードとセキュリティの質問を入力→[完了]

Safeボックスのカテゴリ一覧画面が表示されます。

4 カテゴリをタップ→[追加]→移動するファイルにチェックを付ける→[追加]→[OK]

- ファイルがSafeボックスに移動します。
- ・すでにファイルが保存されているSafeボックスのカテゴリにファイルを追加するには、カテゴリをタップ→→画像の場合はアルバムを選択→追加するファイルにチェックを付ける→[追加]→[OK]と操作します。
 - ・Safeボックスに移動したファイルを表示／再生するには、ホーム画面→[基本機能]→[ファイル]→[Safeボックス]→パスワードを入力して[完了]→ファイルを選択します。

データ通信

Bluetooth[®]機能	72
Bluetooth [®] 機能をオンにする	72
Bluetooth [®] 機器を登録する	72
Bluetooth [®] 機能でデータを送受信する	73
無線LAN(Wi-Fi[®])機能	73
Wi-Fi [®] 機能をオンにする	73
Wi-Fi [®] ネットワークに接続する	74
Wi-Fi [®] 機能を切断する	74
Wi-Fi安定制御機能を設定する	74
Wi-Fi [®] 機能のスリープ設定をする	74
Wi-Fi [®] 機能の詳細設定をする	74
テザリング機能を利用する	75
テザリングについて	75
USBテザリング機能を利用する	75
Wi-Fi [®] テザリング機能を利用する	75

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやハンズフリー機器などのBluetooth®機器とワイヤレス接続できる技術です。Bluetooth®機器と通信するには、Bluetooth®機能をオンにする必要があります。また、必要に応じて本製品とBluetooth®機器のペアリング(登録)を行ってください。

memo

- ◎ 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- ◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- ◎ Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth®機能使用時の注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境(壁・家具など)や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器(電気製品、AV機器、OA機器など)から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

無線LAN(Wi-Fi®)対応機器との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN(Wi-Fi®)機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。

また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. 本製品と無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN(Wi-Fi®)機能を搭載した機器の電源を切ってください。


Bluetooth®機能をオンにする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®機能をオンに設定します。

他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索への応答、オーディオ出力、データ送受信などが利用可能になります。

- ・他のBluetooth®機器からの接続を受けるには、本製品をあらかじめ他の機器から検出可能に設定しておく必要があります(▶P.72)。

1 ホーム画面→[設定]→[Bluetooth]→「BluetoothをONにする」をオンにする

Bluetooth®機能がオンになり、ステータスバーに「」(接続待機中のアイコン)が表示されます。

memo

- ◎ Bluetooth®機能のオン/オフ設定は、電源を切っても変更されません。
- ◎ Bluetooth®機能は本製品の電源を切った状態では利用できません。
- ◎ Bluetooth®機能をオンにすると、電池の消費が早くなります。使用しない場合は電池の消費を抑えるためにBluetooth®機能をオフにしてください。また、航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。

Bluetooth®機器を登録する

本製品と他のBluetooth®機器を接続するには、あらかじめペアリング(登録)を行います。

- ・機器によって、ペアリングのみ行う場合と、続けて接続まで行う場合があります。

1 ホーム画面→[設定]→[Bluetooth]→「BluetoothをONにする」をオンにする


Bluetooth設定画面が表示されます。
検出されたBluetooth®デバイス名が一覧表示されます。

2 ペアリングを行うBluetooth®デバイス名を選択

3 画面の指示に従って操作

パスキー入力画面が表示されたときは、本製品とBluetooth®機器で同じパスキー(4~16桁の数字)を入力します。

memo

- ◎ Bluetooth®機器との接続中には、他のBluetooth®機器を登録できない場合があります。
- ◎ ペアリングを行うデバイス側で、Bluetooth®機能が有効になっていることとBluetooth®検出機能がオンになっていることを確認してください。
- ◎ 接続するBluetooth®デバイス名が表示されていないときは、「」をタップして、機器を再検索します。

パスキーについて

パスキーは、Bluetooth®機器同士が初めて通信するときにお互いに接続を許可するために、本製品およびBluetooth®機器で入力する暗証番号です。本製品では、4~16桁の数字を入力できます。

memo

- ◎ パスキー入力は、セキュリティ確保のために約30秒の制限時間が設けられています。
- ◎ 接続する機器によっては、毎回パスキーの入力が必要な場合があります。

他のBluetooth®機器から検出可能にする

1 Bluetooth設定画面→「表示」をオンにする

一定時間、他のBluetooth®機器から検出可能になります。

他のBluetooth®機器からペアリング要求を受けた場合

ペアリングを要求された場合は、必要に応じて「ペア設定する」をタップまたはパスキーを入力し、Bluetooth®機器を認証します。

Bluetooth®機器の接続を解除する

1 Bluetooth設定画面→接続を解除するBluetooth®デバイス名の→[ペアリング解除]

Bluetooth[®]機能でデータを送受信する

あらかじめ本製品のBluetooth[®]機能をオンにしてください。

Bluetooth[®]機能でデータを送信する

連絡先、静止画、動画、音楽などのファイルを、他のBluetooth[®]機器に送信できます。


- ・送信は各アプリのメニューなどから行ってください。

Bluetooth[®]機能でデータを受信する

1 他のBluetooth[®]機器からデータ送信

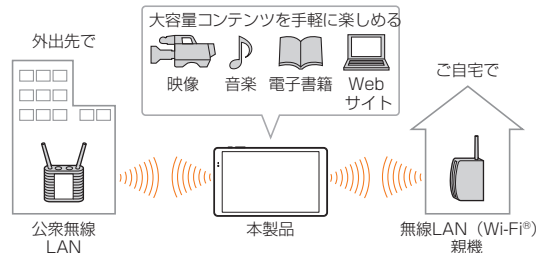
ステータスバーにが表示されます。

2 [受信]

ステータスバーにが表示され、データの受信が開始されます。通知パネルのお知らせで受信状態を確認できます。

無線LAN(Wi-Fi[®])機能

家庭内で構築した無線LAN(Wi-Fi[®])環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。



memo

- ◎ ご自宅などをご利用になる場合は、インターネット回線と無線LAN(Wi-Fi[®])親機(Wi-Fi[®]ネットワーク)をご用意ください。
- ◎ 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のWi-Fi[®]ネットワーク状況や、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- ◎ すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- ◎ 無線LAN(Wi-Fi[®])機能は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に進入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

Wi-Fi[®]機能をオンにする

Wi-Fi[®]機能を使用するには、Wi-Fi[®]機能をオンにしてから利用可能なWi-Fi[®]ネットワークを検索して接続します。

1 ホーム画面→[設定]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi]をオンにする


Wi-Fi[®]機能が起動し、利用可能なWi-Fi[®]ネットワークがスキャンされます。

Wi-Fi[®]機能がオンになるまで、時間がかかる場合があります。

memo

- ◎ Wi-Fi[®]機能がオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fi[®]ネットワーク接続中は、Wi-Fi[®]機能が優先されます。
- ◎ Wi-Fi[®]ネットワークが切断されると、自動的にパケット通信に切り替わります。
- ◎ Wi-Fi[®]機能を使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fi[®]ネットワークの電波強度は、本製品をお使いの位置によって異なります。Wi-Fi[®]ルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

- 1 ホーム画面→[設定]→[Wi-Fi]→[Wi-Fi]をオンにする
Wi-Fi設定画面が表示され、利用可能なWi-Fi®ネットワークが一覧表示されます。
- 2 接続するWi-Fi®ネットワークを選択→[接続]
 - セキュリティで保護されたWi-Fi®ネットワークに接続する場合は、パスワード(セキュリティキー)*を入力し、「接続」をタップします。
*パスワード(セキュリティキー)は、アクセスポイントで設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
 - 接続が完了すると、ステータスバーにが表示されます。

memo

- ◎ Wi-Fi設定画面で接続中のWi-Fi®ネットワークをタップすると、ネットワーク情報の詳細が表示されます。
- ◎ お使いの環境によっては通信速度が低下したり、ご利用になれない場合があります。

Wi-Fi®ネットワークを手動で追加する

- 1 Wi-Fi設定画面→[ネットワークの追加...]
- 2 追加するWi-Fi®ネットワークのネットワークSSIDを入力
- 3 セキュリティを選択
必要に応じて、追加するWi-Fi®ネットワークのセキュリティ情報を入力します。
- 4 [保存]

memo

- ◎ 手動でWi-Fi®ネットワークを追加する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。

Wi-Fi®機能を切断する

- 1 Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークを選択
- 2 [切断]

memo




- ◎ Wi-Fi設定画面→接続中のWi-Fi®ネットワークをロングタッチ→[ネットワークを削除]と操作しても、接続を切断できます。
- ◎ 切断すると、再接続のときにパスワード(セキュリティキー)の入力が必要になる場合があります。

Wi-Fi安定制御機能を設定する

Wi-Fi®の電波が安定しているときにWi-Fi®に接続するように設定できます。

- 1 Wi-Fi設定画面→→[詳細設定]
- 2 「Wi-Fi安定制御機能」をオンにする


memo

- ◎ Wi-Fi安定制御機能を設定した状態でWi-Fi®が不安定になったとき、Wi-Fi®のみに通信を制限する一部のアプリにおいて、アプリの動作仕様により、一時的に4G(LTE/WiMAX 2+)データ通信を行う場合があります。
- ◎ Wi-Fi安定制御機能を設定すると、とともにが表示されるようになります。4G(LTE/WiMAX 2+)データ通信の有無はの矢印が白色(有)が灰色(無)で確認できます。


Wi-Fi®機能のスリープ設定をする

Wi-Fi®機能のスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi®機能がスリープするように設定できます。

また、Wi-Fi®機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することも可能です。

- 1 Wi-Fi設定画面→→[詳細設定]→[スリープ時にWi-Fi接続を維持]
- 2 スリープ設定を選択

Wi-Fi®機能の詳細設定をする

- 1 Wi-Fi設定画面→→[詳細設定]

2 ネットワークの通知	オープンネットワーク(パスワードなどが設定されていないWi-Fi®ネットワーク)が検出されたら通知するように設定します。
スリープ時にWi-Fi接続を維持	▶P.74「Wi-Fi®機能のスリープ設定をする」
スキャンを常に有効	Wi-Fi®機能がオフの場合でも、Googleの位置情報サービスや他のアプリからネットワークのスキャンができるように設定します。
Wi-Fi安定制御機能	▶P.74「Wi-Fi安定制御機能を設定する」
MACアドレス	本製品のMACアドレスが表示されます。
IPアドレス	IPアドレスが表示されます。
証明書のインストール	Wi-Fi®認証用の証明書をインストールします。
WPS接続	ボタン方式のWi-Fi Protected Setup™対応アクセスポイントを登録するときに使用します。
WPS PIN接続	PIN入力方式のWi-Fi Protected Setup™対応アクセスポイントを登録するときに使用します。

テザリング機能を利用する

テザリングについて

テザリングとは、本製品をポータブルアクセスポイントとしてインターネットに接続することができる機能です。



◎ テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。

USBテザリング機能を利用する

microUSBケーブル01 (別売)でパソコンと本製品を接続して、インターネットに接続することができます。

- ・ あらかじめ「microUSBケーブルでパソコンと接続する」(▶P.69)を参照してmicroUSBケーブル01 (別売)を接続してください。

1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[テザリングとポータブルアクセス]

2 「USBテザリング」をオンにする



◎ USBテザリング機能をオフにする場合は、操作**2**で「USBテザリング」を再度タップしてオフにするか、microUSBケーブル01 (別売)を抜いてください。

Wi-Fi[®]テザリング機能を利用する

無線LAN(Wi-Fi[®])機器を最大8台まで接続して、インターネットに接続することができます。

1 ホーム画面→[設定]→[その他]→[テザリングとポータブルアクセス]→[ポータブルWi-Fiアクセスポイント]

2 各項目を設定

機能設定

機能設定	78
設定メニューを表示する	78
au設定メニューを利用する	78
無線とネットワークの設定をする	78
画面の設定をする	79
音の設定をする	79
ストレージに関する設定をする	80
電池使用量を表示する	80
アカウントの設定をする	80
位置情報の設定をする	80
画面ロックとパスワードの設定をする	80
セキュリティの設定をする	81
言語と入力に関する設定をする	81
バックアップとリセット	82
割り込み制限の設定をする	82
通知に関する設定をする	82
ナビゲーションバーの設定をする	82
日付と時刻の設定をする	82
ユーザー補助の設定をする	83
印刷に関する設定をする	83
タブレット情報に関する設定をする	83

機能設定

設定メニューから各種機能を設定、管理します。壁紙や通知音のカスタマイズや、セキュリティの設定、データの初期化などをすることができます。

設定メニューを表示する

1 ホーム画面→[設定]

すべての設定メニューが表示されます。

■ 設定メニュー項目一覧

項目	設定内容	参照先
au設定メニュー	auの各サービスの設定を行います。	P.78
Wi-Fi	無線LAN(Wi-Fi [®])機能を設定します。	P.73
Bluetooth	Bluetooth [®] 機能を設定します。	P.72
その他	機内モードやVPN、テザリングなどの通信に関する設定を行います。	P.78
ディスプレイ	フォントサイズや壁紙、明るさ、画面の向きなど、画面表示に関する設定を行います。	P.79
音	音量やマナーモード、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。	P.79
ストレージ	本製品本体内やmicroSDメモ리카ードのメモリ容量の確認、microSDメモ리카ードの初期化を行います。	P.80
電池	電池残量や使用量を表示します。	P.80
アプリ	ダウンロードしたアプリを確認したり、実行中のアプリに関する設定を行います。	P.57
アカウント	オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。	P.80
位置情報	無線LAN(Wi-Fi [®])機能やGPS機能などを使った位置情報に関する設定を行います。	P.80
画面ロックとパスワード	画面ロックに関する設定を行います。	P.80
セキュリティ	SIMカードロックの設定などセキュリティに関する設定を行います。	P.81
言語と入力	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。	P.81
バックアップとリセット	データのバックアップや復元の設定をしたり、データの初期化を行います。	P.82
割り込み制限	特定の機能や時間、連絡先などの通知の割り込みに関する設定を行います。	P.82
通知設定	各アプリからの通知の表示に関する設定を行います。	P.82
ナビゲーションバー	ナビゲーションバーの表示に関する設定を行います。	P.82
日付と時刻	日付・時刻の設定や、時間表示の設定を行います。	P.82
ユーザー補助	ユーザーの操作を補助する機能やサービスなどの設定を行います。	P.83
印刷	印刷に関する設定を行います。	P.83
タブレット情報	ソフトウェアのバージョンや電池残量などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。	P.83

au設定メニューを利用する

au IDなどauの各種サービスを設定したり、データ移行などのサービスを利用したりできます。

1 設定メニュー→[au設定メニュー]

2	au ID	▶P.17「au IDを設定する」
	auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。
	au位置情報サービス	auが提供する位置情報サービスです。対応アプリが、少ない電力消費で現地周辺の情報表示・配信をするためなどに使います。
	au Wi-Fi接続ツール	▶P.65「au Wi-Fi接続ツールを利用する」
	データを移行する	タブレットで撮影した写真や連絡先などさまざまなデータをauスマートパスに預けたり、microSDメモ리카ードへのバックアップやタブレットへの復元ができます。また機種変更時のデータ移行にもご利用できます。詳しくは、同梱の「設定ガイド」をご参照ください。
	スマホとタブレットを連携する	スマホとタブレットを連携して、便利にお使いになれます。スマホへの電話着信やEメール(@ezweb.ne.jp)などの通知をタブレットに表示したり、スマホをタブレット画面から操作するといった使いかたが可能です。
	スマホ・タブレットの調子が悪い時	▶P.64「スマートフォン自動診断を利用する」
	au災害対策・緊急速報メール	▶P.65「緊急速報メールを利用する」
	データお預かり設定	「データを移行する」(上記)についての設定が行えます。
	個人情報を守る	アプリが連絡先や位置情報などにアクセスした場合の許可・拒否について設定します。
	端末情報送信設定	さらなる通信品質向上のため、データ通信時などにおける品質、電波状況および発生場所(GPS位置情報)を検知・収集し、auに自動送信する機能です。

無線とネットワークの設定をする

Wi-Fi[®]やBluetooth[®]接続、ホームネットワークの設定など、通信に関する設定を行います。

1 設定メニュー

2	Wi-Fi	▶P.73「無線LAN(Wi-Fi [®])機能」
	Bluetooth	▶P.72「Bluetooth [®] 機能」
	その他	機内モード ▶P.79「機内モードを設定する」 モバイルネットワーク モバイルネットワークの詳細な設定を行うことができます。 ・アクセスポイント名の設定については、「パケット通信を利用する」(▶P.48)をご参照ください。 テザリングとポータブルアクセス ▶P.75「テザリング機能を利用する」 VPN ▶P.79「VPNを設定する」




◎「モバイルデータ通信」をオフにするとデータ通信が無効になり、4G(LTE/WiMAX 2+)通信でのパケット通信ができなくなります。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(パケット通信、無線LAN(Wi-Fi[®])機能、Bluetooth[®]機能)がすべてオフになります。

1 設定メニュー→[その他]

2 「機内モード」をオンにする

機内モードが設定されると、ステータスバーに「」が表示されます。



memo

- ◎ 機内モードがオンの場合でも無線LAN(Wi-Fi[®]) / Bluetooth[®]機能をオンにすることができます。航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- ◎ 機内モードをオンに設定すると、メールの送受信、無線LAN(Wi-Fi[®])機能、Bluetooth[®]機能による通信などもオフにします。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク(VPN:Virtual Private Network)は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

・本製品は以下の種類のVPNに対応しています。

- PPTP
- L2TP
- L2TP/IPSec PSK
- L2TP/IPSec RSA
- IPSec Xauth PSK
- IPSec Xauth RSA
- IPSec Hybrid RSA

VPNを追加する

1 設定メニュー→[その他]→[VPN]

VPN画面が表示されます。

- ・初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。項目の内容については、「画面ロックとパスワードの設定をする」(▶P.80)をご参照ください。

2 [VPNネットワークの追加]

3 VPN設定の各項目を設定→[保存]

VPN画面のリストに、新しいVPNが追加されます。



memo

- ◎ 追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNをロングタッチ→[ネットワークの編集]→必要に応じてVPNの設定を変更→[保存]と操作します。
- 削除するには、削除するVPNをロングタッチ→[ネットワークを削除]→[OK]と操作します。


VPNに接続する

1 設定メニュー→[その他]→[VPN]

VPN画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力→[接続]

VPNに接続すると、ステータスバーに「」が表示されます。

VPNを切断する

1 設定メニュー→[その他]→[VPN]

VPN画面が表示されます。

2 接続中のVPNをタップ→[切断]

画面の設定をする

画面の明るさの設定や文字フォントの切り替えなど、表示に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[ディスプレイ]

ディスプレイ設定メニューが表示されます。

2 壁紙	ホーム画面の壁紙を設定します。
フォントサイズ	文字サイズを設定します。
スクリーンセーバー	▶P.79「スクリーンセーバーを設定する」
通知ランプ	メール受信時などに通知ランプを点滅させるかどうかを設定します。
通信事業者名を表示	ステータスバーに通信事業者名を表示するかどうかを設定します。
画面の明るさ	画面の明るさを設定します。 ・ [明るさを自動調整]にチェックを付けると、設定した画面の明るさを、周囲の明るさに合わせて自動的に調整します。
スリープ	スリープモードに移行するまでの時間を設定します。
画面の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に横表示／縦表示を切り替えるかどうかを設定します。
視力保護	ブルーライトをカットし、目の負担を軽減するモードにするかどうかを設定します。
ワイヤレスディスプレイ	本製品の画面をWi-Fiで接続した他のディスプレイで表示します。
色温度	画面の暖色／寒色のバランスを調整します。
太陽光の下での視認性向上	太陽光の下でも画面を見やすくするモードにするかどうかを設定します。

スクリーンセーバーを設定する

1 ディスプレイ設定メニュー→[スクリーンセーバー]→[スクリーンセーバー]をオンにする

2 [写真]→スクリーンセーバーに使用する写真が保存されているフォルダを選択

3 [長さ]→スクリーンセーバーが起動するまでの時間を選択

音の設定をする

マナーモードの設定や通知音など、音に関する設定を行います。また、通知ランプなど、通知の動作に関する設定を行います。

1 設定メニュー→[音]

音設定メニューが表示されます。

2 音量	▶P.80「各種音量を調節する」
マナーモード	▶P.80「マナーモードを設定する」
SWSモード	音源を分析し、適切な音響効果で鳴らすかどうかを設定します。 ・ 他アプリの音響設定を有効にしている場合には、SWSモードでの効果が最大限発揮できない場合があります。
デフォルトの通知音	通知音を選択します。
タッチ操作音	アプリやメニューを選択したときに操作音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロックの音	画面ロックまたはロック解除時に通知音を鳴らすかどうかを設定します。

各種音量を調節する

1 音設定メニュー→[音量]→スライダーを左右にドラッグして、音量を調節→[閉じる]

音量を上げる/下げるにはスライダーを右/左にドラッグします。

マナーモードを設定する

マナーモードを設定することで、公共の場所で周囲の迷惑とならないように設定できます。

1 音設定メニュー→「マナーモード」をオンにする

マナーモードがオンに設定されます。

memo

◎以下の操作でもマナーモードをオンにできます。

- ・音量上ボタンまたは音量下ボタンを押す→**[🔊]**をタップして**[🔇]**にする
- ・電源ボタンを1秒以上長押し→**[🔊]**(音)をタップして**[🔇]**(サイレント)にする

◎マナーモード中でもカメラのシャッター音や録画開始/停止音、アラーム音は鳴動します。

ストレージに関する設定をする

1 設定メニュー→[ストレージ]

2 端末ストレージ	本製品内のメモリ容量を表示します。	
内部ストレージ	合計/空き	▶P.69「メモリの使用量を確認する」
SDカード	自分のSDカード	
USBストレージ	自分のUSBストレージ	
ストレージの設定	デフォルトの保存場所	ダウンロードしたデータや撮影したデータの保存場所を設定します。

※表示される項目は、端末の状態によって異なります。

memo

◎「デフォルトの保存場所」の設定を切り替えると、端末が再起動します。

電池使用量を表示する

1 設定メニュー→[電池]

電池残量、充電状況や電池使用時間などが表示されます。

アカウントの設定をする

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

- ・同期するには、本製品でGoogleアカウントなどのオンラインサービスのアカウントを設定する必要があります。手動で同期するか、または自動同期するように設定できます。

1 設定メニュー→[アカウント]

アカウント設定メニューが表示されます。

2 同期の設定をするアカウントの種別をタップ→同期の設定をするアカウントを選択

memo

◎アカウント設定メニューで**[🔍]**→[データの自動同期]にチェックを付けると、自動同期をオンにすることができます。

アカウントを追加/削除する

■ アカウントを追加する

1 アカウント設定メニュー→[アカウントを追加]

2 追加するアカウントの種別を選択

3 画面の指示に従って操作

■ アカウントを削除する

1 アカウント設定メニュー→削除するアカウントの種別を選択→削除するアカウントを選択

2 [🗑️]→[アカウントを削除]

memo

◎他のアプリで使用されているアカウントは削除できません。削除するには、「データの初期化」(▶P.82)が必要です。

位置情報の設定をする

1 設定メニュー→[位置情報]→「現在地にアクセス」をオンにする

2 Googleの位置情報サービス使用の確認画面で[同意しない]/[同意する]

「同意する」をタップすると、位置情報の取得モードが「高精度」になります。

3 位置情報モード	位置情報の取得モードを設定します。
最近の位置情報要求	位置情報を取得したアプリを表示します。 ・アプリをタップするとアプリ情報を表示します。
位置情報サービス	位置情報の利用をアプリに許可するかどうかを設定したり、ロケーション履歴を管理したりします。

memo

GPS機能の使用について

◎電池の消費を節約する場合は、オフに設定してください。

◎周囲に建物などがなく、天空が見える場所では精度が高くなります。周囲の環境により、正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。

画面ロックとパスワードの設定をする

ロック画面が表示されているときに、パターンや暗証番号、パスワードを入力しないとロックを解除できないように設定できます。

1 設定メニュー→[画面ロックとパスワード]

画面ロックとパスワード設定メニューが表示されます。

2 パスワード	なし	ロック画面をスライドして画面ロックを解除するように設定します。
	パターン	ロック画面でパターンを入力して画面ロックを解除するように設定します。
	PIN	ロック画面で暗証番号を入力して画面ロックを解除するように設定します。
	パスワード	ロック画面でパスワードを入力して画面ロックを解除するように設定します。
パスワードロックのみを使用		スリープモードを解除したときに、スライド操作なしで直接パターン/暗証番号/パスワードの入力画面が表示されるように設定します。
通知パネル		ロック画面で通知パネルを開くことができるようにするかどうかを設定します。
パターンを表示する		パターンの入力時にパターンの軌跡を表示するかどうかを設定します。
通知で画面を点灯		メール受信などの通知で画面を点灯するかどうかを設定します。
ロック画面に表示する署名		ロック画面に表示する所有者情報を設定します。

※表示される項目は、画面ロックの設定により異なります。

画面ロックをかける

画面ロックを設定した後に、電源ボタンを押す、またはスリープで設定している時間が経過すると、画面のバックライトが消灯し、画面ロックがかかります。

画面ロックを解除する

1 電源ボタンを押す

画面のバックライトが点灯し、ロック画面が表示されます。

2 ロック画面をスライド→画面ロックの解除方法を入力



◎ 画面ロックを解除するときに、パターン/暗証番号/パスワードを5回続けて失敗した場合は、正しく入力されていない旨のメッセージが表示されます。
「OK」をタップして30秒後に再試行できます。

セキュリティの設定をする

1 設定メニュー→[セキュリティ]

セキュリティ設定メニューが表示されます。

2	プライバシーデータ設定	アプリが連絡先などのプライバシーデータへアクセスしたとき、ポップアップ表示でお知らせするかどうかを設定します。
	タブレットの暗号化	内部ストレージを暗号化します。暗号化を行うと、電源を入れるたびにパターン、暗証番号またはパスワードの入力が必要になります。
	SIMカードロック設定	▶P.81「SIMカードロックを設定する」
	パスワードを表示する	パスワード入力時に文字を表示するかどうかを設定します。
	端末管理	端末管理アプリを表示または無効にします。
	提供元不明のアプリ	▶P.57「提供元不明のアプリのダウンロード」
	ストレージタイプ	認証情報ストレージのタイプを表示します。
	信頼できる認証情報	信頼できるCA証明書を表示します。
	SDカードからインストール	暗号化された証明書を内部ストレージとmicroSDメモ리카ードからインストールします。
	認証ストレージの消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツをクリアして、パスワードをリセットします。
	使用履歴にアクセスできるアプリ	アプリの使用履歴データへのアクセスを許可するアプリを管理します。
	画面ロック	特定のアプリの画面を固定して表示するように設定します。

* 表示される項目は端末の状態により異なります。

SIMカードロックを設定する

SIMカードにPINコード(暗証番号)を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。PINコードについては「PINコードについて」(▶P.11)をご参照ください。

1 セキュリティ設定メニュー→[SIMカードロック設定]→[SIMカードをロック]

2 SIMカードのPINコードを入力→[OK]

■ 電源を入れたときにPINコードを入力する

1 PINコードの入力画面→PINコードを入力→[OK]

■ PINコードを変更する

SIMカードロックが有効に設定されているときのみ変更できます。

1 セキュリティ設定メニュー→[SIMカードロック設定]→[SIM PINの変更]

2 現在のPINコードを入力→[OK]

3 新しいPINコードを入力→[OK]

4 もう一度新しいPINコードを入力→[OK]

言語と入力に関する設定をする

1 設定メニュー→[言語と入力]

2	言語と地域	日本語と英語の表示を切り替えます。 ・起動中のアプリが終了する場合があります。
	デフォルトのキーボード	デフォルトのキーボードを設定します。
	Googleキーボード	Googleキーボードを設定します。
	iWnn IME	▶P.26「iWnn IMEの各種設定を行う」
	スペルチェッカー	スペルチェックを行うかどうかを設定します。
	ユーザー辞書	単語をユーザー辞書に登録します。 ・Googleキーボードでのみ使用できます。
	音声入力	音声入力サービスの各種設定を行います。
	テキスト読み上げの出力	Googleテキスト読み上げエンジン テキストを読み上げる言語や、Googleテキスト読み上げエンジンの設定ができます。 Google Playから標準装備以外の言語に対応した音声データをインストールすることもできます。
		音声の速度 テキストを読み上げる速度を設定します。
		音声のサンプルを再生 音声合成の短いサンプルを再生します。
		デフォルトの言語状態 デフォルトの言語の状態を表示します。
	ポインタの速度	ポインティングデバイス使用時の、ポインタの反応速度を設定します。

バックアップとリセット

1 設定メニュー→[バックアップとリセット]

バックアップとリセット設定メニューが表示されます。

データのバックアップ	アプリのデータや設定などをGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。
バックアップアカウント	Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
自動復元	アプリの再インストール時に、バックアップ済みのデータや設定を復元するように設定します。
データの初期化	▶P.82「本製品を初期化する」

本製品を初期化する

1 バックアップとリセット設定メニュー→[データの初期化]

2 [タブレットをリセット]→[タブレットをリセット]

・画面ロックの解除方法を設定している場合は、解除操作を行います。

memo

- ◎データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。データの初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。
- ◎「内部ストレージの消去」にチェックを付けると、内部ストレージのデータを消去できます。

割り込み制限の設定をする

特定の機能や時間、連絡先など、優先度の高い通知について通知音を鳴動させるかどうか(割り込み機能の制限)を設定します。

1 設定メニュー→[割り込み制限]→[割り込み制限]

無効	割り込み制限を無効にし、すべての通知を鳴動させます。
優先度の高い通知のみ許可	優先度の高い通知のみ割り込みを許可します。
すべての通知を制限	すべての通知を制限します。

3 「今すぐ有効」をオンにする

- ・「スケジュールで有効」をオンにする→時刻をタップして開始時間/終了時間を選択すると、割り込み制限を有効にする時間帯を設定できます。
- ・「優先度の高い通知」欄の各項目をタップすると、特定の機能や連絡先について割り込み制限を有効にするかを設定できます。

memo

- ◎各アプリの優先度を「通知設定」(▶P.82)で設定できます。
- ◎「優先度の高い通知のみ許可」に設定している場合にSMSの通知音を鳴らすには、「許可された連絡先」に連絡先を追加する必要があります。

通知に関する設定をする

各アプリからの通知を表示するかどうかを設定します。

1 設定メニュー→[通知設定]

2 [アプリの通知]→アプリを選択

ブロック	アプリからの通知を表示しないように設定します。
優先度	「割り込み制限」(▶P.82)で優先度の高い通知として設定します。

※表示される項目はアプリにより異なります。

ナビゲーションバーの設定をする

ナビゲーションバーの表示を設定します。

1 設定メニュー→[ナビゲーションバー]

2 ナビゲーションバーの組み合わせをタップ

日付と時刻の設定をする

1 設定メニュー→[日付と時刻]

日付と時刻設定メニューが表示されます。

日付と時刻の自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って、自動的に補正します。
日付設定	▶P.82「日付を設定する」
時刻設定	▶P.82「時刻を設定する」
タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って、自動的に補正します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選択します。
24時間表示	24時間表示にするかどうかを設定します。
日付形式	日付の表示形式を設定します。

memo

- ◎「日付と時刻の自動設定」をオンにするとネットワークから日付や時刻が自動で設定されます。お買い上げ時はオンに設定されています。
- ◎日付、時刻、タイムゾーンの手動設定をするには、あらかじめ「日付と時刻の自動設定」「タイムゾーンを自動設定」をオフにする必要があります。

日付を設定する

1 日付と時刻設定メニュー→[日付設定]

2 数字を上下にスライドして日付を合わせる

3 [OK]

時刻を設定する

1 日付と時刻設定メニュー→[時刻設定]

2 数字を上下にスライドして時間と分を合わせる

「24時間表示」をオフにしている場合は、「午前」/「午後」をスライドして切り替えます。

3 [OK]

ユーザー補助の設定をする

1 設定メニュー→[ユーザー補助]

2 TalkBack	ユーザーの操作に音で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にするかどうかを設定します。
スイッチアクセス	スイッチアクセスを利用するかどうかを設定します。スイッチアクセスを利用すると、1つまたは複数のスイッチで本製品を操作できます。
キャプション	字幕表示に対応したアプリの使用時に、字幕を表示するかどうかを設定します。
拡大操作	トリプルタップで拡大/縮小表示をするかどうかを設定します。
高コントラストテキスト	画面に表示されるテキストのコントラストを上げるかどうかを設定します。
パスワードの音声出力	入力したパスワードを音声で読み上げるかどうかを設定します。
ユーザー補助のショートカット	簡単な操作でユーザー補助機能を起動できるようにするかどうかを設定します。
テキスト読み上げの出力	▶P.81「言語と入力に関する設定をする」
押し続ける時間	ロングタッチの時間を設定します。
色反転	画面の色を反転表示するように設定します。
色補正	画面の色を補正するように設定します。

ユーザー補助プラグインを利用する

ユーザーの操作に音で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助プラグインを有効にします。ユーザー補助のプラグインは、Google Playからインストールすることができます。



◎ TalkBackを本製品にインストールしてオンにすると、タッチガイド機能がオンに設定されます。
タッチガイド機能とは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示することができる機能です。
タッチガイド機能をオンにすると、通常の操作とは異なった方法で本製品の操作ができます。項目を選択する場合は、一度タップしてからダブルタップをし、スライドをする場合は、2本の指で画面上を目的の方向へなぞりません。
タッチガイド機能のみをオフにする場合は、設定メニュー→[ユーザー補助]→[TalkBack]→→[タッチガイド]のチェックを外す→[OK]と操作し、「タッチガイド」を解除します。

印刷に関する設定をする

Googleクラウドプリントを利用したプリンタの設定を行います。

• 印刷の利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.17)をご参照ください。

1 設定メニュー→[印刷]

2 [クラウド プリント]→[クラウド プリント]をオンにする

使用できるプリンタの一覧が表示されます。

• をタップすると、プリンタの追加や設定を変更できます。

タブレット情報に関する設定をする

本製品のバージョンなどの情報を確認します。また、アップデートなどの操作を行います。

1 設定メニュー→[タブレット情報]

2 モデル番号	本製品のハードウェアやソフトウェア、Android OSについての情報などを確認できます。
ビルド番号	
CPU	
RAM	
端末ストレージ	
解像度	
Androidバージョン	
Androidセキュリティパッチレベル	
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
EMUIバージョン	
端末の状態	電池の状態や電池残量、電話番号などの情報を確認できます。
法的情報	個人情報保護方針やライセンス契約、利用規約などの法的情報を表示します。
システム更新	▶P.87「ソフトウェアを更新する」
認証情報	電波法や電気通信事業法に基づく技術基準への適合などの情報を確認できます。

付録.....	86
周辺機器のご紹介	86
故障とお考えになる前に.....	86
イヤホンを使用する	87
ソフトウェアを更新する.....	87
アフターサービスについて	87
利用できるデータの種類.....	88
SIMロック解除	88
主な仕様.....	88
データ通信端末の比吸収率(SAR)について.....	89
輸出管理規制.....	89
知的財産権について	89
索引.....	90

付録

周辺機器のご紹介

- 共通ACアダプタ05 (0501PWA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 (0301PQA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 ネイビー (0301PBA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 グリーン (0301PGA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 ピンク (0301PPA) (別売)
- 共通ACアダプタ03 ブルー (0301PLA) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (ホワイト) (L02P001W) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (レッド) (L02P001R) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (ブルー) (L02P001L) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (ピンク) (L02P001P) (別売)
- AC Adapter JUPITRIS (シャンパンゴールド) (L02P001N) (別売)
- microUSBケーブル01 (0301HVA) (別売)
- microUSBケーブル01 ネイビー (0301HBA) (別売)
- microUSBケーブル01 グリーン (0301HGA) (別売)
- microUSBケーブル01 ピンク (0301HPA) (別売)
- microUSBケーブル01 ブルー (0301HLA) (別売)

memo

- ◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ(<http://www.au.kddi.com/>)にてご確認ください。お客様センターにお問い合わせください。
- ◎ 上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。在庫状況によってはご購入いただけない場合があります。
<http://auonlineshop.kddi.com/>

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認ください。

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？ 電源ボタンを長く押ししていますか？	P.15 P.17
充電ができない	指定の充電用機器(別売)は正しく接続されていますか？ 本体または電池温度が高温または低温になっていませんか？ 温度によって充電を停止する場合があります。 指定の周辺機器(アダプタなど)で充電をしていますか？	P.16 P.15 P.16
操作できない/画面が動かない/電源が切れない	電源ボタンを10秒以上長押しすると強制的に電源を切り再起動することができます。	P.17
電源が勝手に切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.15
電源起動時のロゴ表示中に電源が切れる	内蔵電池は十分に充電されていますか？	P.15
「■」(圏外)が表示される	サービスエリア外か、電波の弱いところになっていませんか？ 内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？ au Nano IC Card 04 LE以外のカードが挿入されていませんか？	P.23 P.14 P.14
Wi-Fi®がつかまらない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？ Wi-Fi®の設定をしましたか？ 本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。 「機内モード」が設定されていませんか？	P.23 P.73 - P.79
通知ランプは点灯/点滅するか 通知音が鳴らない	通知音量が最小に設定されていませんか？ マナーモードに設定されていませんか？	P.80 P.80
ボタン/タッチパネルの操作ができない	電源は入っていますか？ ロック画面のセキュリティが設定されていませんか？ 電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.17 P.80 P.17
タッチパネルで意図した通りに操作できない	タッチパネルの正しい操作方法をご確認ください。 電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.20 P.17
「■」が表示される	au Nano IC Card 04 LEが挿入されていますか？	P.15
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	P.15
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？ 内蔵電池が寿命になっていませんか？ 「■」(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？	P.15 P.8 P.23
ディスプレイの照明がすぐに消える	「スリープ」が短く設定されていませんか？	P.79
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？ 本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって画面の輝度を落とす場合があります。	P.79 -
イヤホンが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか？ イヤホンマイク端子の奥までしっかり挿入してください。	P.87
動作が遅くなった/アプリの動作が不安定になった/一部のアプリを起動できない	メモリの空き容量がなくなると動作が安定しません。空き容量が少なくなったら、不要なアプリを削除してメモリの空き容量を確保してください。	P.57
microSDメモ리카ードを認識しない	microSDメモ리카ードは正しく取り付けられていますか？ microSDメモ리카ードのマウントが解除されていませんか？	P.68 P.69
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていないですか？ 本体または電池温度が高温になっていませんか？ 温度によって機能を停止する場合があります。	P.15 P.53

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客様サポートでご案内しております。

<http://www.au.kddi.com/support/mobile/trouble/repair>

イヤホンを使用する

- 1 本製品のイヤホンマイク端子にイヤホン(市販品)／イヤホンマイク(市販品)／ステレオイヤホンマイク(市販品)を接続



◎イヤホン(市販品)／イヤホンマイク(市販品)／ステレオイヤホンマイク(市販品)の種類によっては使用できない場合があります。

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を手でできます。本製品本体で、パケット通信やWi-Fi®を利用して、ソフトウェアをダウンロードして更新できます。

■ご利用上の注意

- ・パケット通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- ・ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター(157/通話料無料)までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- ・更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- ・十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新ができません。
- ・電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ・ソフトウェア更新中は操作できません。また、アラームなども動作しません。
- ・ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。
- ・ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

- 1 ホーム画面→[設定]→[タブレット情報]→[システム更新]

- 2 [更新の確認]

以降は、画面の指示に従って操作してください。



- ◎利用可能なネットワークを自動検索するために、ご契約内容によっては通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- ◎ソフトウェア更新後に元のバージョンに戻すことはできません。

アフターサービスについて

■修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。



- ◎メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ◎修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- ◎交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのauの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- ◎本製品を加工、改造、解析(ソフトウェアの改造、解析(ルート化などを含む)、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む)されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。

■補修用性能部品について

当社は本製品本体の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■安心ケータイサポートプラスLTEについて

auの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラスLTE」をご用意しています(月額380円、税抜)。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。



- ◎ご入会は、auの端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ◎ご退会された場合は、次回のauの端末のご購入時まで再入会はできません。
- ◎機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるauの端末のみが本サービスの提供対象となります。
- ◎auの端末を譲渡・承継された場合、「安心ケータイサポートプラスLTE」の加入状態は譲受者に引き継がれます。
- ◎機種変更時・端末増設時などにより、新しいauの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のauの端末に対する「安心ケータイサポートプラス」「安心ケータイサポートプラスLTE」は自動的に退会となります。
- ◎サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■au Nano IC Card 04 LEについて

au Nano IC Card 04 LEは、auからお客様にお貸し出したものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口へお問い合わせください。

お客様センター(紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて)

一般電話からは【0077-7-113(通話料無料)】
au電話からは 局番なしの113(通話料無料)
受付時間 24時間(年中無休)

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)

一般電話/au電話からは【0120-925-919(通話料無料)】
受付時間 9:00~20:00(年中無休)

オンライン交換受付(24時間受付)

※パソコン、スマートフォンからのみ受付可能

https://cs.kddi.com/support/n_login.html



- インターネット受付でのお申し込みは、「破損」「水濡れ」「盗難」「紛失」の場合が対象となります。自然故障(破損、水濡れなどの原因ではないが電源が入らない、画面が動かないなど)の場合は、問診が必要のためお電話での受付となります。
- インターネットでのお申し込みには、メールアドレスが必要です。

■auアフターサービスの内容について

サービス内容		安心ケータイサポートプラスLTE	
		会員	非会員
交換用携帯 電話機お届けサービス	自然故障	1年目 無料	補償なし
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失	2年目以降 お客様負担額 1回目:5,000円 2回目:8,000円 長期でご利用のお客様は2,000円割引となります*	
預かり修理	自然故障	1年目 無料	無料
		2年目以降	無料(3年保証)
	部分破損	お客様負担額 上限5,000円	実費負担
	水濡れ、全損	お客様負担額 10,000円	
	盗難、紛失	補償なし	補償なし (機種変更対応)

金額はすべて税抜

※3年目(25ヶ月)以上ご利用中のお客様、またはそのお客様が属する家族内すべての回線が対象です。データ通信端末、タブレットをご利用中のお客様は、セット割(WINシングルセット割、またはスマホセット割)に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年目以上の場合がございます。

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

◎auの端末がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用端末(同一機種・同一色*)をお届けします。故障した今までお使いのauの端末は、交換用端末がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

※同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用端末をご提供します。

◎本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎お客様の故意・改造(分解改造・部品の交換・塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

利用できるデータの種類

本製品は、次のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種類	ファイル形式
音	MP3、AMR、MIDI、OGG、AAC、3GP、APE、FLAC、M4A、WAV
静止画	JPEG、GIF、BMP、PNG
動画	WEBM、TS、3G2、MP4、MOV、AVI、MKV、FLV、M4V、DIVX、3GP

memo

◎サイズによっては再生できない場合があります。

◎著作権保護が設定されているデータは、再生できない場合があります。

SIMロック解除

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
 - 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
 - SIMロック解除後の設定は、ホーム画面→[設定]→[タブレット情報]→[端末の状態]→[SIMカードの状態]から行ってください。
 - 詳しくは、auホームページをご参照ください。
- <https://cs.kddi.com/support/simcard/>

主な仕様

ディスプレイ	約10.1インチ、約1,677万色、IPS 1,920×1,200ドット(WUXGA)	
質量	約486g	
充電時間(目安)	共通ACアダプタ 05(別売)	約320分
連続待受時間	国内	約1,050時間
連続テザリング時間	約1,260分	
Wi-Fiテザリング	8台	
最大接続数	約259×156×8.6mm	
サイズ(幅×高さ×厚さ)	約259×156×8.6mm	
内蔵メモリ容量*	ROM:約16GB RAM:約2GB	
アウトカメラ有効画素数	約800万画素	
インカメラ有効画素数	約200万画素	
無線LAN(Wi-Fi®)機能	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠**2	
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.1準拠**3
	出力	Bluetooth®標準規格Class 1
	通信距離**4	見通しの良い状態で10m以内
	対応プロファイル・機能**5	AVRCP、HOGP、PBAP、A2DP、OPP、HID、SPP、HSP
使用周波数帯	2.4GHz帯	

*1 データとアプリで保存領域を共有しているため、本体内の保存可能容量はアプリの使用容量により減少します。

**2 IEEE802.11b/gは2.4GHzのみ、IEEE802.11a/acは5GHzのみに対応しています。

**3 本製品およびすべてのBluetooth®機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth®標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

**4 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

**5 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のごことで、Bluetooth®標準規格で定められています。

memo

◎連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

データ通信端末の比吸収率(SAR)について

この機種Qua tab 02のデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準*ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、本データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。このデータ通信端末を本取扱説明書に記述する通常使用の場合のSARの最大値は1.719W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

データ通信端末は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。

通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

- 総務省のホームページ
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm>
- 一般社団法人電波産業会のホームページ
<http://www.arib-emf.org/O1denpa/denpa02-02.html>
- HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.のホームページ
<http://consumer.huawei.com/jp/tablets/support/information/quatab02-jp.htm>
- auのホームページ
<http://www.au.kddi.com/>

* 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。

また米国政府機関が定める米国輸出規制(Export Administration Regulations、およびその他の関連法令)、その他の国の法令等の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を直接的、または間接的とを問わず輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省、その他関係機関へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。



Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Google Play、Google Play ロゴ、Play ミュージック、Playミュージック ロゴ、Playムービー、Playムービー ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、ハングアウト、ハングアウト ロゴ、Google マップナビ、Googleマップナビ ロゴ、Google Chrome、Google Chrome ロゴ、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。

Microsoft®、Windows®およびWindows Vista®/Windows®7/Windows®8/Windows®8.1/Windows®10は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Microsoft® Windows® の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating Systemです。

Microsoft®、Windows Media®、Exchange®は、米国およびその他の国における米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C、LLCの商標です。

Bluetooth®およびBluetooth®ロゴは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。

WiMAXは、WiMAXフォーラムの商標です。

Wi-Fi®、WPA®、Wi-Fi CERTIFIED ロゴ、Wi-Fi Protected Setup ロゴはWi-Fi Allianceの登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected SetupはWi-Fi Allianceの商標です。

FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnn IMEを使用しています。iWnn IME©OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2015 All Rights Reserved.

©2014 Comic Communication Co., Ltd. All rights reserved.

本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。

その他社名および商品名は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

■ オープンソースソフトウェアについて

本製品には、GNU General Public License(GPL)、またはGNU Lesser General Public License(LGPL)に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。GPL、LGPLのライセンスの具体的な条件については、本製品の「タブレット情報」からご参照いただけます。詳細についてはHUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.のホームページをご覧ください。

索引

記号/数字/アルファベット

au ID	17
au Nano IC Card O4 LE	14
取り付け	15
取り外し	15
au Nano IC Card O4 LEスロット	14
au Wi-Fi接続ツール	65
auお客さまサポート	62
au災害対策アプリ	65
auスマートサポート	62
auスマートパス	66
au設定メニュー	78
Bluetooth®機能	72
機器登録	72
起動	72
注意	11
データの送受信	73
パスキー	72
ペアリング	72
Chrome	48
Webページの移動	48
Webページの表示	48
Webページのメニュー	48
ブックマーク	49
ブックマーク登録	49
履歴	49
Dock	20
Eメール	28
Eメールアドレスの変更	40
検索	35
作成	31
受信	34
設定	38
送信	31
デコレーションメール	33
添付	32
バックアップ	41
フォルダ作成	36
フォルダロック	37
振り分け条件	34, 37
迷惑メールフィルター	41
モード切替	28
Facebook	57
Gmail	45
更新	45
作成	45
受信	45
送信	45
転送	45
返信	45
メニュー	45
Google Play	56
Googleアカウント	17
Googleマップ	58
周辺のスポット	58
道案内	58
iWnn IME	24
Lookout for au	63
microSDメモ리카ード	68
初期化	69
取り付け	68
取り外し	68
microSDメモ리카ードスロット	14
microUSBケーブル	69
接続	69
PCメール	28
PINコード	11
変更	81
PINロック解除コード	11
Playミュージック	56
曲検索	56
再生	56
プレイリスト作成	56
Playムービー&TV	56
QRコード	55

Safeボックス	70
SAR	89
SATCH	55
SIMロック解除	88
SMS	43
SMSセンター	43
検索	44
削除	44
作成	43
受信	43
受信フィルター	44
設定	44
送信	43
転送	43
返信	43
USB接続モード	69
VPN設定	79
Wi-Fi®	73
安定制御機能	74
起動	73
スリープ設定	74
接続	74
切断	74
注意	74
ネットワークを追加	74
YouTube	57

あ

アウトカメラ	14
アカウント	80
アカウントを削除	80
アカウントを追加	80
同期	80
アフターサービス	87
アラーム	59
暗証番号	10
安心アクセス	63
安心ケータイサポートプラスLTE	87
安全上のご注意	6
位置情報の設定	80
イヤホンマイク端子	14
インカメラ	14
印刷	83
インターネット	48
ウィジェット	21
移動	21
削除	21
追加	21
音の設定	79
音量調節	80
マナーモード	80
音楽	56
音量	79
音量上下ボタン	14

か

カードスロットカバー	14
懐中電灯	61
外部接続端子	14
各部の名称と機能	14
壁紙	20
カメラ	53
画面の見かた	54
静止画撮影	55
設定	54
カレンダー	59
予定の作成	59
機内モード	79
基本操作	20
ギャラリー	55
静止画の編集	56
緊急速報メール	65
言語と入力	81
言語	81
テキスト読み上げの出力	81
故障とお考えになる前に	86

さ

災害関連情報	66
--------	----

災害用音声お届けサービス	66
災害用伝言板	65
充電	15
周辺機器	86
仕様	88
照度センサー	14
初期設定	17
ズームイン/ズームアウト	20
スクリーンショット	24
スクリーンショットシェア	61
ステータスアイコン	23
ステータスバー	20
ストレージ	69
ストレージの設定	80
スピーカー	14
スマートフォン自動診断	64
スライド	20
スリープモード	17
セキュリティの設定	81
ソフトウェア更新	87
ご利用上の注意	87
ダウンロード	87

た

タッチ撮影	55
タッチパネル	14
タップ	20
ダブルタップ	20
タブレット情報	83
通知アイコン	22
通知設定	82
通知パネル	23
通知ランブ	14, 23
ディスプレイ	14
ディスプレイの設定	79
データ通信端末の比吸収率(SAR)	89
データの初期化	82
データ表示	55
メニュー	55
テザリング	75
電源ボタン	14
電源を入れる	17
電源を切る	17
電卓	60
電池使用状況	80
動画撮影	55
時計	59
ドラッグ	20
取り扱い上のお願い	9

な

内蔵GPSアンテナ部	14
内蔵Wi-Fi®/Bluetooth®アンテナ部	14
内蔵サブアンテナ部	14
内蔵メインアンテナ部	14
内部ストレージ	68
ナビゲーションバー	82

は

バーコード	55
バーコードリーダー	55
バケット通信	48
注意	12
バックアップとリセット	82
ハンガアウト	58
日付と時刻	82
ビデオ	56
表記方法	6
ファイル	70
フォルダ	21
移動	21
作成	21
フラッシュ/フォトライト	14
フリック	20
ホーム画面	20

ま

マイク	14
-----	----

マップ.....	58
マナーモード.....	80
無線とネットワーク.....	78
メール.....	28
Eメール.....	28
Gmail.....	28,45
PCメール.....	28
SMS.....	28,43
メモ帳.....	60
文字入力.....	24
iWnn IME.....	24
英語・その他ユーザー辞書.....	26
絵文字入力.....	25
顔文字入力.....	25
キーボード切替.....	24
記号入力.....	25
切り取り.....	25
コピー.....	25
設定.....	26
日本語ユーザー辞書.....	26
貼り付け.....	25
フリック入力.....	25
ワイルドカード予測.....	25
モバイルネットワーク.....	78

や

ユーザー補助.....	83
-------------	----

ら

リモートサポート.....	63
レコーダー.....	61
連絡先.....	52
インポート.....	52
エクスポート.....	53
グループ.....	52
削除.....	52
登録.....	52
編集.....	52
ロック画面.....	17
ロングタッチ.....	20

わ

割り込み制限.....	82
-------------	----

■お詫びと訂正■

このたびは、「Qua tab 02」をお買い上げいただき誠にありがとうございました。
取扱説明書の記載内容に誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに、下記の通り訂正させていただきます。

● 15ページ:『充電する』

充電完了時の通知ランプ動作について

誤: 通知ランプが消灯したら充電完了です。

正: 削除いたします。

● 16ページ:『ACアダプタを使って充電する』、『パソコンを使って充電する』

充電完了時の通知ランプ動作について

誤: 充電が完了すると、通知ランプが消灯します。

正: 削除いたします。

● 42ページ:『■パソコンから迷惑メールフィルターを設定するには』

誤: auのホームページ内の「迷惑メールでお困りの方へ」の画面内にある「迷惑メールフィルターの設定に進む」を選択し、au IDとパスワードを入力してください。

※au IDをお持ちでない場合は、au IDを取得してください。

正: auホームページのリニューアルに伴い、記載を削除いたします。

● 66ページ:『auスマートパスを利用する』 手順2のmemo

誤: ◎サービスを解約された場合、すべてのサービスが利用できなくなります。ダウンロードしたアプリについてはサービス解約後、自動的に消去されます。解約後にご利用いただけません。

正: 削除いたします。

● 88ページ:『■アフターサービスについて』

「安心ケータイサポートセンター」の受付時間を変更いたしました。

● 90ページ:『au Wi-Fi SPOT利用規約』

削除いたします。

※本規約についてはご契約時にご案内させていただいております。

● 表3:『ご不要になったケータイや取扱説明書はお近くのauショップへ』

削除いたします。

● 裏表紙:『お問い合わせ番号』

「安心ケータイサポートセンター」の受付時間を変更いたしました。

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金・操作方法について (通話料無料)

受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

一般電話からは



0077-7-111

au電話からは

局番なしの157番

Pressing “zero” will connect you to an operator,
after calling “157” on your au cellphone.

紛失・盗難時の回線停止のお手続きについて (通話料無料)

受付時間 24時間 (年中無休)

一般電話からは



0077-7-113

au電話からは

局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、下記の番号にお電話ください。(無料)



0120-977-033 (沖縄を除く地域)



0120-977-699 (沖縄)

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について (通話料無料)

受付時間 9:00~20:00 (年中無休)

一般電話/au電話から



0120-925-919



有害サイトから
子供を守る!



キケン!
水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。



モバイル・リサイクルネットワーク
携帯電話やPHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再
利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機
・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず④マーク
のあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

2015年12月第1.1版

発売元：KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)

輸入元：華為技術日本(株)

製造元：HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.